# (受学管7-6)

## 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺 図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
M - 00	表紙・図面リスト	——— A -01	建築改修工事特記仕様書 1		E -01	電気設備工事特記仕様書 - 1	
M -01	共通特記仕様書	——— A -02	建築改修工事特記仕様書 2		E -02	電気設備工事特記仕様書 - 2	
M -02	機械設備工事 特記仕様書 - 1	——— A -03	建築改修工事特記仕様書 3		E -03	分電盤 結線図	
M -03	機械設備工事 特記仕様書 - 2	——— A -04	建築改修工事特記仕様書 4		E -04	空調電源設備 体育館1 F	1/100
M -04	付近見取図	1/2500 A -05	建築改修工事特記仕様書 5		E -05	北・南 立面図	1/100
M -05	配置図	1/600 A -06	現況 配置図兼仮設計画図	1/600	E -06	アリーナ展開図	1/100
M -06	機械設備工事 系統図	A -07	現況 地階・1階平面図	1/100	E -07	詳細図、配線系統図	
M -07	機械設備工事 機器表	1/100 A -08	現況 2階平面図	1/100			
M -08	空調設備 1階平面図	1/100 A -09	現況 屋根伏図	1/100			
M -09	空調設備 2階平面図	1/100 A -10	現況 北・東立面図	1/100			
M -10	換気設備 1階平面図	1/100 A -11	改修 配置図	1/600			
M -11	施工標準図・参考図	——— A -12	改修 地階·1階平面図	1/100			
		A -13	改修 2階平面図	1/100			
		A -14	改修 屋根伏図	1/100			
		A -15	改修 北・東立面図	1/100			
		A -16	改修 矩計図(防水改修)	1/30			
		A -17	改修 東・北展開図	1/100			
		A -18	改修 西・南展開図	1/100			
		A -19	改修 控室(南)・放送室等詳細図	1/50			
		A -20	コートライン配置改修1階平面図	1/100			
		A -21	収納台車新設詳細図	1/5•1/20•1/50	)		
		A -22	空調室外機置場詳細図	1/30			
		A -23	既存移設プレハブ倉庫詳細図	1/30 • 1/50			
		A -24	仮設計画 1階平面図	1/100			
		A -25	仮設計画 屋根伏図	1/100			
		A -26	仮設計画 北・東立面図	1/100			

備考		<sub>工事名</sub> - 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	図面番号
	吉村建築事務所	二至尸小子牧体月間至調改直は小牧修工事 	2025. 1.	— м — оо
	, 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫	図面名 まば、図面リフト	縮尺	- M - 00
	- IMACE TEMPS 2 4 0 2 3 0 3 11 13 mm	表紙・図面リスト		

A 工事概要				m官公庁その他への手続		おいて速やかに行うものと	:する。
1 工事名称	(受学管 7 - 6 ) 三室戸小学校	交体育館空調設置ほか改修工事		n 技術者及び現場代理人	なお、これに要する費用は受注者の負担とする。 受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について	、受注者と直接的かつ恒常	的な雇用関係にあ
2 工事場所	宇治市莵道岡谷16-2				ら選任し、配置しなければならない。		
3 工事期間	入札通知書による。			o工事完了時の整地	受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分に砂を搬入 ルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。	し、整地を行う。既設コン	'クリ <b>ー</b> ト舗装、ア.
4 規模構造	躯体:RC造2階建、屋根:S	造		p 解体等工事の事前調査		づき 改修工事対象とかる	・今ての部材につい
5 延床面積 6 工事範囲	654.00㎡ ・体育館空調設置工事に伴う機	: tot ÷1./供工事 →		D 解冲守工争の争削剛且	定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記	に説明する。	
	空調機器設置工事に任う機	做故闱工事 一式			調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。		
	換気設備設置工事				・ 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、	事前調査結果を公衆の見やす	すい場所に掲示す
	・上記に伴う建築工事 空調機器基礎新設工事 外構工事	一式					
	塗装改修工事 (屋根遮熱塗	<b>参装工事を含む)</b>					
	体育施設改修工事 ・上記に伴う電気設備工事	一式	2 発生材等処分	工事に伴う撤去材	・ 撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するも	のとし、「廃棄物処理計画	i書」及び「廃棄物
	空調機器の電源工事				告書」を適時提出する。なお、運搬にあたっては、運搬伝票		
	換気設備の電源工事	<del>-</del>			台毎の積載量・マニフェスト E 票日付等を記入した運搬管理 とを証明する書面(マニフェスト票等)については、監督職		
B 特記仕様書	・上記に伴う撤去・処分	一式			・ 再生資源利用計画書「実施書」及び再生資源利用促進計画書		
17 10 11 1水目					・ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の	収集運搬車に係る表示及び	『書面添え付けを行
1 共通事項	a 施工基準	本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様			・ 工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認	できる写真を提出する。	
		書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)により施					
		(機械設補工事編・电気設備工事編)(国工文題自入民旨房旨打昌譜部監修 マ和4年放)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。		産業廃棄物税	「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(	以下「産廃税」という)は	京都府内の最終処
	b監理基準	本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣			に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、		
		官房官庁営繕部監修令和4年版)により監理する。			サイクル後の処理残滓(ザンサイ)等が最終処分場に搬入される	場合は、最終処分場に搬入	、される量に対し <sup>-</sup>
	c 提出書類等	契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出			na.	74 +	
		する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。 また、施工体系図においても、すべての下請負人及び警備業者を記載する。			なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃	祝も本工事に含む)	
		なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。	3 仮設工事	工事電力・工事用水	現場説明書による。		
	d 建設業退職金共済制度	受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建		工事用電力設備	工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主	任技術者が専任されている	場合はその指示
		設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、		の保安責任者	持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。ま	た、仮設分電盤内に漏電遮	断器を取り付け
		「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度 加入を奨励する。		設置・維持管理	止に努める。 現場説明書による。		
	e 工事実績情報	ガスで炎励する。 受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確		仮囲い	施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。(フェン	スバリケード(シート貼り	共)等)
		認を受けた上で、それぞれ10日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービ			詳細については仮設計画図による。		
		ス入力システム(CORINS)の登録申請を行う。		内外足場・養生等	足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止	対策要綱その他関係法令に	従い適切な材料
		また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する(作成、登録等に伴う			造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。		
	f 建設工事保険等	費用は受注者の負担とする)。 受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込			近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシ ついては、手摺先行型枠組本足場(W = 900以上)とする。足場		
		まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。な			ドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1	日改正)」に基づく働きや	すい安心感のあ
		お、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。			し、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられ	た手すり先行専用足場型と	:するか、またはi
	g 労災補償に必要な 法定外の保険契約について	受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35 号)に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するた		墜落制止用器具の使用	機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。ま 受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(		
	及足がの体験关系について	めの保険(法定外の労災保険)に付する。		型洛剛正用 稲具の使用 について	「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき		
	h工事写真・完成写真	工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和 5年版)を参考に、着工					
		前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮					
		影し、着工前・工事中と共に工事用アルパムに整理の上1部提出する(データ共)。					
	i不正軽油使用防止の徹底	なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一対(左右または前後)として整理すること。 受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。		ホルムアルデヒド等の	「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において		
		また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調		放散量測定について	ルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチ る(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年・		米を監督職員に
		査員による燃料検査に協力しなければならない。			分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルラ		クロロベンゼン、
	j 一般事項	・ 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 ・ 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間			ン、エチルベンゼン及びスチレン用パッシブ採取機器(サンプラ・	一)一覧表(学校用)」によ	よる。(平成 2 1
		等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。			1日改訂版)		
		・ 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議		電気・機械設備工事	VOC測定 測定場所: 2箇所 工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器・放送設備・空調	機器・受信設備等)器具の機	幾能確認を行い、
		し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。			果を書面にて監督職員に報告する。	2 H 2 H 10 3 7 H 2 3 5 10	
		・ 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が					
		生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 ・ 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督					
		職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。	5 完成図書	完成に際しては以下の図	書を提出する。		
		・ 工事完成時には、社内検査を実施する。			内容	サイズ	 部 数
		・ 本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。	- 完成図(背張り製4	(5) 特記仕様書・第		A 3 版	1 部
		・ 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用	完成図書	機器完成図・棚	機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A 4 版	2 部
		低派動型機器・低燃真型機器の使用を促進する。また、	諸官庁提出書類	副本			一式
	k その他	・交通誘導警備員は、現場説明書による。	完成図データ	CADデータ(フ	ァイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	CD-R	2 部
		・ 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分					
		担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に					
		掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 ・ 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、					
		若しくは一部を下請、受託させてはならない。					
	1 過積載防止	若しくは一部を下請、受託させてはならない。 受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払う					

吉村建築事務所

1級建築士登録第248236号 吉村薫

設計年月日

2025. 1.

M — 01

三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事

共通特記仕様書

#### 機械設備工事特記仕様書 【工事概要】 宇治市菟道岡谷16-2 | )既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを 1 工事場所 営繕工事契約関係書類提出書類書式集 一覧表により提出。 工事関係書類 建物概要 宇治市ホームページ参照 < http://www.city.uji.kyoto.jp> 使用する。 構 造 階 数 延床面積 ( m² )消防法令別表第一耐震安全性の分類 備 建物名 履行報告 月報 2部 3部 毎月末に〆め、翌月の5日までに提出する。 2)復旧はモルタル補修までとする。 体育館 あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 R C 工事写真 1)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編(最新版) インサート及び 施工後確認試験 行う(国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築 アンカー 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 工事編)(平成31年度))による。 **H** │3)デジタルカメラで撮影可とする。 印をついたものを適用し、各一式とする。 工事科目 完成図書 名 称 大きさ 部 数 遠方復帰式 (電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) 防煙ダンパー及び 復帰方式は 金文字製本 建物名称 完成図 A 4 版 1 部 防火防煙ダンパー 手動復帰式 体育館棟 丁事科目 般 背貼り製本(版) A4ファイル止め 完成図 ダクト及びチャンバー、消音エルボの内貼り(箇所図示)は下記による。 消音内貼 空気調和設備 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2 部 ・消音内貼り部分の外部保温は 不要 換気設備 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A 4 版 2 部 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 排煙設備 保守指導案内書(機器取説書を含む) (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) 自動制御設備 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。 衛生器具設備 ドレン抜き 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー類に必要に応じ設ける。 事 給水設備 完 成 図 アルバム綴り 排水設備 完成写真 取付枠 防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。 給湯設備 電子納品については、現場説明書による。 アンカーボルト及びナットは、下記による。 機器の基礎 消火設備 著作権等 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委 ・屋外、多湿室等 ( 溶融亜鉛メッキ ) ピット内 ガス設備 譲するものとする ・その他 ( 一般品 厨房機器設備 付属品及び予備品 標準仕様書によるほか、別表による。 機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。 浄化槽設備 水量調整(測定共) 防火区画 総合試運転調整 風量調整(測定共) 室内外空気の温湿度測定 医療ガス設備 室内気流及びじんあいの測定 騒音の測定 別表2による (測定結果は報告書にて 機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。文字標識 掲示板 撤去工事 雑用水の水質の測定 室内温度測定(夏冬の切替による) ( )書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 地下オイルタンク 設ける 設けない 飲料水の水質の測定 天井仕上区分 )設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の 耐震施工 通 給油設備 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 【特記事項】 遠隔油量指示計 設ける 設けない 2)下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 1 一般事項 <u>設ける</u><u>設けない</u> 油面計 ゲージ式 ; 副指示計 1)特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書 特定の施設 事 オイルサービスタンク 設 置 場 所 油面制御装置の機能は下記による。 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 (機械設備工事編)令和 4 年版」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築設備工事標準図(機械設備 上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中 間 階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 工事編)令和 4 年版(以下「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和 給油ポンプの起動、停止制御用 4 年版」による。 返油ポンプの起動、停止制御用 項 2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。 1 階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6) 満油警報 遠隔警報(減油 満減油) 特定の施設 一般の施設 項目及び特記事項は、 印をついたものを本工事に適用する。ただし、 印のない場合は、 印を適用する。 設 置 場 所 油管(露出、トラフ内) 配管用炭素鋼鋼管(黒) 水 槽 水 槽 印と 印の付いた場合は、共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。 油管(地中) ポリエチレン被覆鋼管 上層階、屋上及び塔屋 1 . 5 2.0 標準図 施工 4 (a) ( フレキシブルジョイントを使用 ) 記 建物導入部配管 1.0 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 標準図 施工5(b) (ボールジョイントを使用) 設備機材等 (排気及び通気を除く) 1 . 5 標準図 施工 5 (c) (スリークッションを使用) ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。 屋外部分 溶融亜鉛めっき(2種35) 屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と <u>ステンレス鋼製(SUS304)</u> 乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 制御及び操作盤 構成 進相コンデンサー 注2 ( )内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 運転時間計 機材の承諾 機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監 注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 表示等 運転(赤色)及び停止(緑色)表示 修の機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるものとする。 |注4 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上階2階。 保護継電器の動作表示 機材の品質 使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設 |注5 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。| 接点及び端子 遠方発停用端子 備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章 •性能証明 湿度調節器用端子 第4節1、4、2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略すること 注 6 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、 運転時間表示用端子 ができる。 S A種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。 温水出入口温度用端子 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。 一般用弁 標準仕様書第2編2.2.1 (ア) ~ (シ) によるほか、下記による。 冷水出入口温度用端子 本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監 現場代理人 1)水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。 | 2 ) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。 給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 電気保安技術者 適用する 適用しない 機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはベローズ形、FRPに対し フレキブルジョイント 燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) 技能士(一級) 配管(配管工事) 各階ユニット) 全空気方式( 中央 ては合成ゴム製とする。 主方式 建築板金(ダクト製作及び取付け) 冷凍空気調和機器施工 ファンコイル・ダクト併用方式 伸縮管継手 | 鋼管用伸縮管継手は下記による。 工事用電力・水その他 本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット (鋼管用) ベローズ形 スリーブ形 主要熱源機器 吸収冷温水機 官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和機( EHP GHP 溶接接合 溶接部の非破壊検査は、 構内につくることが できる できない 工事用仮設物 適用しない 足場・作業構台 別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。 適用する(放射線透過検査 浸透深傷検査又は磁粉深傷検査) 設計時の温湿度条件 屋内(調整目標値) 設置する ( 本工事 別途) 監督職員事務所 屋外 設置しない \ 地中埋設標及び 1)給 水 管 地中埋設標(要 不要) 埋設表示用テープ(要 下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 監督職員事務所 時 期 温度(DB)湿度(RH)温度(DB)湿度(RH)温度(DB)湿度(RH) 埋設表示用テープ 地中埋設標(要不要)埋設表示用テープ(要不要) 2 ) 消 火 管 ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) に備え付ける図書 |3)ガス管 地中埋設標(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 冬期 0.4 67.2 % 19.0 40.0 % ・機械設備工事監理指針 ・機械設備工事施工チェックシート |4)油 管 地中埋設標(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) 夏 期 36.3 44.3 % 28.0 45.0 % 気 ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック機械設備工事 長方形ダクトの工法 5) ブライン管 地中埋設標(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要) アングルフランジ工法 ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 編(最新版) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせで使用する。 コーナーボルト工法 ( 共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) 建設副産物の処理 建設副産物の処理 引き渡しを要するもの 【 防食処理 土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。 ダクトの分岐方法 割込み工法 直付け工法 及び建設発生土の処理 右記のほか、 再生資源利用を図るもの【 1)保温材の使用は、下記による。 配管材料 配管用炭素鋼管(白) 冷温水管 現場説明書による。 特別管理産業廃棄物 (図面特記部分は除く)冷却水管 給水管・排水管 配管用炭素鋼管(白) P C B 使用機器 臭化リチウム 排煙ダクト・煙道、排気筒 ロックウール保温材 塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) 建設発生土の処理 構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 調 ロックウール保温材 その他 グラスウール保温材 配管用炭素鋼管(白)( ねじ接合 MDジョイントによる接合) 空調用排水管 右記のほか、 構外搬出適切処理 2)膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷温水管に準ずる。 水配管用亜鉛めっき鋼管 現場説明書による (運搬及び処分費は 本工事 3)鋼板製タンクの保温 必要 不要 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF - VP) 構内指示場所に敷き均し ビニル管(VP) 保温付VP管 ビニル管(カラーVP) 4)保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 必要 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 | 5)エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲| 補給水管 配管用炭素鋼管(白) 詳細は現場説明書「 特記事項 14 建設副産物の取扱い 2)再生資源利用(促進)計画・ 配管用炭素鋼管(白) はエア抜弁までとする。 膨張管 実施書について」による。 6)露出配管の保温外装種別は、下記による。 配管用炭素鋼管(白) エア抜き管 和 1)「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 銅管 断熱材被覆銅管(ガス管:ハイグレード仕様) 合成樹脂カバー1 合成樹脂製カバー2 カラー亜鉛鉄板 冷媒管 2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、【建設発生土処理報告書」及び「建設副産物 ・屋外 ステンレス鋼板 パッケージ形空気調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。 処理報告書」により監督職員に報告する。 7)弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 火無工法とする。(ファイアレスジョイント使用) 冷媒管接続方法 3)冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く) ・屋内 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 (積込: 本工事 別途、 処分費: 本工事 別途、 運搬費: 本工事 別途) 工業用バイメタル式温度計 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 温度計 ・屋外 ガラス製=重管温度計 ガラス製棒状温度計 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 1)次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 定風量ユニット 9)合成樹脂製支持受 硬質ウレタンフォームに準ずるもの メカニカルタイプ 風速センサータイプ (プロペラ形センサー 熱線センサー) 変風量ユニット ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの ダクトパッキン 含有 不含 要調査(分析資料数: ファンコイルユニット 風量分配ダクトは 亜鉛鉄板製 自己消火性のポリスチレンフォームなど 含有 不含 要調査(分析資料数: 塗装 標準仕様書による他下記の配管は塗装(指定色塗装)を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く 配管エルボ部保温材 屋外( ダクト 配管) 屋内 P S・E P S ( ダクト 配管) カセット形ファンコイルユニット 含有 不含 要調査(分析資料数: 煙道の断熱材 バーナー制御方式 屋内機械室・電気室(ダクト 配管) アスベスト成形板 含有 不含 要調査(分析資料数): オン・オフ制御 ハイ・ロー制御 比例制御 アスベスト成形板の処理等 吹出口及び吸込口 ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製と 電動機盤 進相コンデンサー (要不要) 排熱投入形再生器 する場合はJIS A 4009(空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、 ボックス 備 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項 |直だき吸収冷温水機に( 要する。 不要である。) 項 厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものとする。 高温再生器の構造 図面による。 について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。 原動機、発電機 燃料電池 ・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 コージェネレーション装置 排ガス熱交換機 ステンレス製ダクトの板厚は JIS A4009 2017による 熱回収装置 温水熱交換機 排ガスボイラー ・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認 ステンレス製ダクトの板厚 PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。 熱回収用ポンプ その他 確認範囲 成形板の製造年等の確認 X線解析法 ボックス 補機付属制御装置 冷却塔(放熱用) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び その他装置等 2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 容量等の表示 (ただし、調査費用は 本工事 別途 とする。。) 王力損失は、表示された数値以下とする。 電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JISC4213 誘導電動機 JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法一第2部試料採取及び 集中リモコン 屋外機吸込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 (低圧三相かご形誘導電動機 - 低圧トップランナーモータ)による。 アスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A1481-3「建材 室内温度 製品中のアスベスト含有方法ー第3部:アスベスト含有率の X線回折定量分析方法」による。 開放形膨張タンク等 開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による 屋外機吸込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 データー管理機能 3)アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 鋼板製 ステンレス鋼板製 室内温度 外部記憶媒体への出力 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。 電線及び電線管 電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による 設計年月日 図面番号 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事 吉村建築事務所 2025 . 01 M - 02縮尺 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫 機械設備工事 特記仕様書-1

備考

## 機械設備工事特記仕様書 2

- 1	鋼板製煙道	厚さ 3.2m	m 4.	5 m m			
	키게 ベグ도본	ばい煙濃度計の取付		<u>- ⅢⅢ</u> いじん量測定□	]		
		伸縮継手	掃	<u>除口</u>	-		
空	ばい煙濃度計		ァンなし				
- ⊦	 瞬間流量計	<u>(電源は熱源機器付属</u> ■ 固定形	<u>制御盤より取出</u> 個	し、配管配線共	本工事に含む	1)	
気	附旧加重Ⅱ			個 本	体 個)		
調	保温	1)冷媒管の保温外装	は下記による。		,		
即	(図面特記部分は除く)	・屋内隠ぺい部	不要	必要	11 1+1 nk ## \		
和		露出部	保温化粧ケ・カラー西	−ス(塩化ビニ 沿鉄板 ビニ		プ券き	
<u> </u>		   ・屋外 ステンレ		□ 並入 1/文		7 E C	
設				尌脂製	アルミ	合金製	
備				ステンレス鋼板			
		│ ・保温化粧ケースの │2 )ファンコイルユニ				の排水等による	
		2 ) クァクコイルユニ   3 ) 加湿用給水水槽の			가기자 M 그 チ	の肝が自じよる。	
		4)トラフ内の油管は		- プ1/2重ね	1回巻きとす	る。	
	ダクトの工法	アングルフランジエ		·»	/ IV >	· · · · · · · ·	
		コーナーボルト工法 スパイラルダクト	( 共阪ノラン:	ノ上法 スラ	1 トオンノラ	プラエ法)	
換		アルミフレキシブル	ダクト				
	ダクトの分岐方法	給気ダクト					
気		排気ダクト					
	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛	鉄板製とし、板	<b>享は下記による</b>	0		
设		ダ	クトの長	辺		板 厚	
		450mm以下	-			0 . 6 m m	
備		1 1	型え1200mm - t7 ラ 1 0 0 0 mm			0 . 8 m m	
		1200mmを   1800mmを	E 超え1800m E 超えるもの	m以卜		1.0mm 1.2mm	
		18001111112	に但んるもの			1 . 2 111111	
	排気フード	1)排気フードの補強・	支持金物・接合剤	削等は、亜鉛鉄	板製ダクトの	当該事項によるも	のとし、
		材質は下記による。	I+C / +++34 ++ ·	TF AD A4: 1-			
		│ ステンレス鋼 │2 )排気フード廻りに取	板(補強共)  付ける墓板は				
		2 )排気プート 廻りに取   本工事		ᆫᆔᄼᅟᆞᆫᄆᆘᄽ	見しりる。		
L		3)グリスフィルター		要 必要			
Γ	保温	浴室・厨房(多湿箇所	,			不要	必要
		外気取入ダクトの保温  全熱交換器までの外気			,	不要	必要
		主無交換器よどの外気  全熱交換器以降の外気		_ (		,	必要 必要
		保温を行う場合の仕様					20.3
	44 km 1.1.5 ±0.7						
_	排煙対象部分		÷		+		
F	ダタトの種則	廊下 事務			大面積	m²	
# -	ダクトの種別 ダクトの1法	<ul><li>廊ト 事務</li><li>高圧 1 ダクト</li><li>アングルフランジエ</li></ul>	高圧 2 ダク		大面積	m ~	
-	ダクトの <u>工法</u> ダクトの材料	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製	<b>-</b>			
雪	ダクトの工法	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 - 状	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・	トース形パ	ネル形	ダンパー形	
世 上 設	ダクトの <u>工法</u> ダクトの材料	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 (	ト - ス形 パ 機械式 電	ネル形 気式)	ダンパー形 煙感知器連動	
世 上 設	ダクトの <u>工法</u> ダクトの材料	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 ( 手元復帰式 (	ト - ス形 バ 機械式 電 手動式 電	ネル形 気式) 気式)	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式	∶別途工事
世 上 設	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 手元復帰式( 操作箱との渡り	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と	ネル形 気式) 気式) し、それ以降	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式	別途工事
<b>煙</b>	ダクトの <u>工法</u> ダクトの材料	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 手元復帰式( 操作箱との渡り	ト - ス形 バ 機械式 電 手動式 電	ネル形 気式) 気式) し、それ以降	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式	別途工事
<b>建设着</b>	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 手元復帰式( 操作箱との渡り	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と	ネル形 気式) 気式) し、それ以降	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式	別途工事
煙 設 備 自動	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 手元復帰式( 操作箱との渡り	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と	ネル形 気式) 気式) し、それ以降	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式	別途工事
<b>建设着</b>	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 復帰式() 操作箱との渡り 不要	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と必要(図	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示)	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は	別途工事
煙 段 備 自動制御	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 状 2 ) 排煙口の開放 3 ) 復帰装置 4 ) ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ・ 手動 集作第との渡り 操作第との変り 不要	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と必要(図	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示) 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は	別途工事
煙段構画動制御	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフェ 手手元復帰式は 操作箱との一要 不要 A C 電源 無し	- ス形 パ機械式 電手動式 電記線は本工事と必要(図	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示)	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は	別途工事
で 没 着 自動制御	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 状 2 ) 排煙口の開放 3 ) 復帰装置 4 ) ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。 電気供給方式 電気供給方式	高圧 2 ダク 法 普通鋼板製 スリットフィ 手手発復のの 操作箱とのの要 不要 A C 電電 無し 手動式	- ス形 パ機械式 電手動は本工事と必要(図 ・ 数電池 ・ 必要(図 ・ 数電池 ・ 数でである。	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示) 水流発電充 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池	別途工事
で 没有 「自動制御」 (新生器員设)	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 状 2 ) 排煙口の開放 3 ) 復帰装置 4 ) ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式	高圧 2 ダク 法 普通鋼板 型 エ 手手手箱 と 操作箱 で で 電電 し エ 動源 不 要 A C C 電電 し エ 頭源 エ の で で の で の で の で の で の で の の で の	- ス形 パ機械式 電手動は本工事と必要(図 ・ 数電池 ・ 必要(図 ・ 数電池 ・ 数でである。	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示) 水流発電充 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池	別途工事
要の 日本	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 状 2 ) 排煙口の開放 3 ) 復帰装置 4 ) ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイ式 手・洗器 ・ 体型	高圧 2 ダク 法 普通鋼板 型 エ 手手手箱 復の 不要 不不要 A C C 電電 し式開器分離 手電気洗離型	ース形 パ機械式 電手 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ネル形 気式) 気式) し、それ以降 示) 水流発電充 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池	別途工事
要の 日本	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁	高圧 1 ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1 ) 形 状 2 ) 排煙口の開放 3 ) 復帰装置 4 ) ダンパー本体及び する。 床下及び暗渠内の保温 図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式	高圧 2 ダク 法 普通網板フェ( 手手手作 操作作 不 要 A C C 電電 し式開器かっ 系 無動気洗ン 手電手と エカリ 取 式離 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	- ス形 パ電電 機動は 事を記 必要(図 整電電 り センサー式 タッチス	ネル形 気式) し、それ以降 示 水流発電充 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池 レバー式	
要の 日本	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙の開放 3)復帰装での開放 3)復帰装での開放 3)復帰状での開放 すする。 床下及面による。 電気供給方式 電気供給方式 電気大式 手動ス式 手動ス方式 手動ス方式 手続による。 1)洗便器の水が直による。	高圧 2 ダク 法 普リ動元箱 音リ動元箱 書り動元箱 書り動元箱 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	トース形 ボ電電と 機動は 上海 (図 整電電力) インサー エス ブーダー ボス ブーダー ボース ブーダー ボース ブーダー ボース ブーダー ボース ブーダー アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・	ネル形 気式) し、それ以降 示 水流発電充 水流発電充	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池	
で 没有 「自動制御」 (新生器員设)	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙物類 3)復帰数 (	高に 音リ動元箱 音リ動元箱 子手作作 ス手手作作 操作 名 C C C U 別 別 別 別 の 不 電電 し式 開 器 サ と ン ユ エ が 別 別 式 離 式 る 方 っ 次 が 置 が が こ の 式 か ト で で か こ が い か こ が ト で で で か こ が ト で で か こ が ト で で か こ が ト で か こ が か こ が ト で か こ が か こ か こ	トース形 ボス ボス ボス ボス 本	ネル形 気式 (水流発電充 水流発電電充 イッチズ イッチズ	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池 レバー式	
煙段 備 自動制御 衛生器具設	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙の開放 3)復帰装での開放 3)復帰装での開放 3)復帰状での開放 すする。 床下及面による。 電気供給方式 電気供給方式 電気大式 手動ス式 手動ス方式 手動ス方式 手続による。 1)洗便器の水が直による。	高 音リ動元箱 音リ動元箱 音リ動元箱 をできる。 本でも、大学作 をできる。 をできる。 をできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。	トース形式 電電と が電電と が電電と がででである がままれる が要で (図をを変す) サー・ボース がままり サー・ボース がままま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま	ネル形 気気・それ以降 示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 配電池 マイッチ式 ) レバー式 直結加圧形ポンプニ	ユニット)
で 没有 「自動制御」 (新生器員设)	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙物類 3)復帰数 (	高 音リ動元箱 音リ動元箱 音リ動元箱 をできる。 本でも、大学作 をできる。 をできる。 をできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。	トース機手線 一ス機手線 が電電と 必数電電電有 と数を では、 が電電と がででである。 がででである。 がでできる。 がでできる。 がでできる。 がでできる。 がでできる。 ができる。 ができる。 ができる。 がいでできる。 がいまる。 がしる。 がいまる。 がしる。 をしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 はる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 はる。 はる。 はる。 を。 はる。 はる。 はる。 はる。 はる。 はる。 はる。 はる	ネル形 気気・それ以降 示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ダンパー形 煙感知器連動 遠方復帰式 の制御配管配線は 電池 電池 レバー式	ユニット
で 没有 「自動制御」 (新生器員设)	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙物類 3)復帰数 (	点上上 <t< td=""><td>- ス機手線 一 ス機手線 が電電と 図 ・ ででである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でのようでは、 ・ でのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでのでのでのでは、 ・ でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの</td><td>ネル形 (対対対) (大力) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大</td><td>ダンパー形 煙感知線は 遠方復配管配線は この制御配管配線は 電池 マイッチ式 ) レバーポンプニ 直結加圧上は溶接接 SGP-FPB)</td><td>ユニット</td></t<>	- ス機手線 一 ス機手線 が電電と 図 ・ ででである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でのようでは、 ・ でのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでのでは、 ・ でのでのでは、 ・ でのでのでのでのでのでは、 ・ でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	ネル形 (対対対) (大力) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	ダンパー形 煙感知線は 遠方復配管配線は この制御配管配線は 電池 マイッチ式 ) レバーポンプニ 直結加圧上は溶接接 SGP-FPB)	ユニット
煙段 備 自動制御 衛生器具設	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙物類 3)復帰数 (	A A A	ト - ス機手線 ・ 大概動は ・ 大概動は ・ 大変 ・ でででででできる。 ・ では、 ・ ででででできる。 ・ では、 ・ では、	ネル形 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	ダンパー形 煙感知線は 遠方復配管配線は この制御配管配線は 電池 マイッチ式 ) レバーポンプニ 直結加圧上は溶接接 SGP-FPB)	ユニット
要 设 着 自動制御 一章主器具设着	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	A A A E 電手セ水置がス呼ビポ塩保   知動元箱	- 人機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大型 一 大型 一 大型 一 大型 一 大型 一 大型 一 大型 一 大型 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大 の 大	ネル形 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	ダンパー形 煙感知線は 遠方復配管配線は この制御配管配線は 電池 マイッチ式 ) レバーポンプニ 直結加圧上は溶接接 SGP-FPB)	ユニット)
要 设 着 自動制御 一章主器具设着	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧1ダクト アングルフランジエ 亜鉛鉄板製 1)排煙物類 3)復帰数 (	大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大	- ス機手線 形械動は	ネ気気し、 水流気の 水流流 タ ボ ( び ・ E ・ E ・ E ・ E ・ E ・ E ・ E ・ E ・ E ・	ダンパー形 煙感知線は 遠方復配管配線は この制御配管配線は 電池 マイッチ式 ) レバーポンプニ 直結加圧上は溶接接 SGP-FPB)	ユニット
空 设 備 自動制御 一衛生器具设備	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	大大   大大   大大   大大   大大   大大   大大   大	- 人機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大成式本	ネ気気し 示 水流流 タ ボ )呼 P V で ・ A で で で で で で で で で で で で で で で で で	ダンパー形 煙感方配 連動 遠の制御配管配線は 電池 エイッチズー式ンプニ を	ユニット) i合)
要 设 着 自動制御 一章主器具设着 给	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	法A A A 手電手セ水置がス呼どが塩保入呼水が開かり、 は ス手手作A A A 手電手セ水置がス呼どが塩保入呼水がり で  で  で で で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で   で  で   で   で        	- 機手線 形械動は	ネ気気し 示 水流流 タ ボ )呼 P V で ・ A で で で で で で で で で で で で で で で で で	ダンパー形 煙感方配 連動 遠の制御配管配線は 電池 エイッチズー式ンプニ を	ユニット
要 设 着 自動制御 一章主器具设着 给	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	大A A A 手電手セ水置がス呼どが塩保ス呼水ポビータ 製ェ((り) 要高普リ動元箱 電電し式開器サとンプン径にリビ温気でび道リニースの でではリニースの でではリニースの でではリニースの でではリニースの ででは、の以レ(スの以レ(水) が 型。式り網S H インに網S エン H	- 人機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大成式本	ネ気気し 示 水流流 タ ボ )呼 P V で 気 を	型型 型型 型型 型型 型型 型型 型型 型型 型型 型型	ユニット 合)
で設備 自動制御 衛生器具設備 給水	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	法A A 手電手セ水置がス呼どが塩保ス呼水ポビポーク 製ェ((り)高普リ動元箱 田 通り 傷と 電電し式開器サとンプンとは 電電し式開器サとンプンとので フンスの で で の スートーンを は の で の く で  で  で で で で で で で  で   で で  で  で  で  で   で  で  で  で  で  で        	- 機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大機手線 ・ 大成式本	ネ気気し 示 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水	型型 デンパ知線 が で で が で の 制御配 で の 制御配 で の に の の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に	ユニット) 合)
煙 段 備 自動制御 衛生器具段備 給 水	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	法A A 手電手セ水置かス呼どが塩保大呼水ポビポ塩高 普リ動元箱 C C 無動気洗ン栓タンテびニリビ温テび道リニリビ 通卵ト 帰の 不 電電し式開器サとンプンセル粉ラ付ン径用エル粉ラ では、10 以レ (ラニリン径) 大型 では、10 以レ (ラニリンでは、10 以上では、10	- 機手線 一 機手線 一 大機手線 一 大機手線 一 大人 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大	ネ気気し 示水水 イ 方 4、 G - 管 6、5 G - N式式、 、	型型 デンパ知線 が で で が で の 制御配 で の 制御配 で の に の の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に	ユニット) 合)
煙段備・自動制御・衛生器具設備・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 ダクト アングル製 1)排煙 大	A	- 機手線 一 機手線 ・ でである。 では、 いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	ネ気気し 示水水	型型 グンパ知線 煙速方御配 であり であり であり であり であり であり であり であり	ユニット) 合)
排煙設備(自動制御)(衛生器具設備)(給水)設備(1))(一))(一))(一))(一))(一))(一))(一))(一))(一))	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧グリーランジエ 1) 排復 2) 排復 2	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	No.   No	ネ気気し 示水水 イ 方 4、 G - 管 6、5 G - 6、 ル式式、 、 流流 タ チ ( び - A で以気 P、 径以気 P、 径以融 P、 径以融 P、 径以融 P、 径以融 P、 径 P、 径以融 P、 径 P、	型型 が が が が が が が が が が が が が	ユニット) 合) 合)
煙設備・「動制御」「衛生器具設備・「給水」・ 記	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカリ (グ)) (グリカリ (グリカ	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	No.   No	ネ気気し 示水水 イ 方 4、 G - 管 6、5 G - 6、 ル式式、 、 流流 タ チ ( び - A で以気 P、 径以気 P、 径以融 P、 径以融 P、 径以融 P、 径以融 P、 径 P、 径以融 P、 径 P、	型型 が が が が が が が が が が が が が	ユニット) 合) 合)
煙段備・自動制御・衛生器具設備・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカリ (グ)) (グリカリ (グリカ	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	Name	ネ気気し 示水水 タボ () 呼 P V () 呼 O E P V () 呼 O P P V () P () P () P () P () P () P ()	ボース が	ユニット) 合) 合)
煙 段 備 自動制御 衛生器具段備 給水 設	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高圧 グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカラン (グリカリ (グ)) (グリカリ (グリカ	法	Name	ネ気気し 示水水 タボ (A) 呼 P V (A) 中の で P V (A) 中の P V (A) P	ボース が	ユニット) 合) 合)
更 设 備 自動制御 一衛生器具設備 給水 設	ダクトの ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けんれ 身障者 用器具 給水方式 配管材料 (図面断特記部分は除く)	高アングリーション (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	Name	ネ気気し 示水水 タボ (A) 呼 P V (A) 中の で P V (A) 中の P V (A) P	ボース が	ユニット) 合) 合)
更 设 備 自動制御 一衛生器具設備 給水 設	ダクトの工法 ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けん入れ 身障者用器具 給水方式 配管材料	高アングリーション (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	No.   No	ネ気気し 示水水 タボ (A) 呼 P V (A) 中の で P V (A) 中の P V (A) P	ボース が	ユニット) 合) 合)
更没着。 自動制御 《新主器具设带 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	ダクトの ダクトの材料 排煙口 保温 小便器用節水装置 自動水栓 大便器用洗浄弁 水石けんれ 身障者 用器具 給水方式 配管材料 (図面断特記部分は除く)	高アングリーション (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	大   大   大   大   大   大   大   大	Name	ネ気気し 示水水 タボ (A) 呼 P V (A) P C V (A	ボース が	ユニット) 合) 合)

章		特 特	記事項
	項  目 		元 ⇒ 項 7 0 × 7 0 × 1 3 0 0 H )
		ステンレス製 (	)
給		アルミニウム合金製(	)
<b>м</b> н	жашта <u>т</u>	特記なき場合、水栓取付け	
水	管の埋設深さ	1)一般敷地 2)構内車両通路	3 0 0 mm 6 0 0 mm
±π.		2	
設	加入金・負担金	不要 必要( 別	
備	本管引込工事	本工事 別途工事	
	排水方式	汚水と雑排水 [屋内	
$\rightarrow$		汚水・雑排水と雨水[屋外  ポンプ排水	] 分流式 合流式 有り(雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽 2 次側) な
		W > 2 145 W	13 7 ( WEITH 13 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
	放流式	汚水	直放流下水管    浄化槽
		雑排水	直放流下水管
		雨水ポンプアップ 湧水ポンプアップ	直放流下水管雨水側溝雨水桝
排	配管材料	屋内雑排水管	■ 直放流下水管 雨水側溝 雨水桝 排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA)
146	(図面特記部分は除く)		鋼管(SGPW)( ねじ接合 MDジョイントによる接合
			ビニル管(VP)
			耐火二層管
		屋内汚水排水管	排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA)
			ビニル管 (VP) RF-VP   耐火二層管
ا با			
水		通気管	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)
		`	鋼管(SGPW)( ねじ接合 MDジョイントによる接着
			ビニル管(VP)
			耐火二層管
		  地中配管「屋内 ]	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU)
ŧπ			リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)
設			リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF・VP)
			ビニル管(VP) ビニル管(VU)
		地中配管[屋外]	リサイクル硬質ポリ塩化ビエル管(REP-VU)
		心下町長 [ 注 ]	リサイクル硬質ポリ塩化ビニルミ層管(RS-VU)
			ビニル管(VP) ヒエル管(VU)
,++			コンクリート管
備			K用の配管は、塩ビライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA
		(地中配管はSGP-VD  する。	O、SGP-FVD)とし、継手はフランジ又はハウジング形継手と
ŀ		9 0。    必要(図示箇所に取付け	ける) 不要
		·	
	負担金		別途 本工事)
	本管接続工事 一給湯方式	本工事 別途工事 中央式 局部式	
給	配管材料		ガス海冲器 ける場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。)
		ステンレス鋼管	圧縮・プレス接合
湯		耐熱性塩ビライニング錚	
設		保温付き(保護材)ポリス	プデン管
備		架橋ポリエチレン管 ガス浸沸器の排気筒の隠蔽部	箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
1113	<b>小</b> 血		<b>当川の水温は、15千江水首先を贈り、1、5の衣と・り、5により。</b>
	消火設備の種類	屋内消火栓	スプリンクラー
	消火設備の種類	屋内消火栓	スプリンクラー 不活性ガス消火 ( )
消		屋内消火栓 泡消火 連結送水管	不活性ガス消火( )
消	表示灯	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が	不活性ガス消火( ) )
		屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が 一般配管	不活性ガス消火( )
消火	表示灯配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が 一般配管 地中配管	不活性ガス消火() パンプ運転表示灯取付用口を設ける。 配管用炭素鋼管(白) 圧力配管用炭素鋼管(白) 消火用ポリエチレン管(PE)
火	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が 一般配管 地中配管 屋内外地中配管	不活性ガス消火( ) パンプ運転表示灯取付用口を設ける。 配管用炭素鋼管(白) 圧力配管用炭素鋼管(白) 消火用ポリエチレン管(PE) 外面被覆鋼管(SGP-VS) 消火用ポリエチレン管
	表示灯配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が 一般配管 地中配管 屋内外地中配管	不活性ガス消火( ) パンプ運転表示灯取付用口を設ける。 配管用炭素鋼管(白) 圧力配管用炭素鋼管(白) 消火用ポリエチレン管(PE) 外面被覆鋼管(SGP-VS) 消火用ポリエチレン管
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火柱 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> </ul>
火	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が 一般配管 地中配管 屋内外地中配管	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(齢水管の保温仕様に準ずる)</li> </ul>
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋外露出管の保温を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> </ul>
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用死水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋外露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を	不活性ガス消火( )  ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。 配管用炭素鋼管(白) 圧力配管用炭素鋼管(白) 消火用ポリエチレン管(PE) 外面被覆鋼管(SGP-VS) 消火用ポリエチレン管 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる)
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋内露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工する(ト水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> </ul>
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋内露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を	不活性ガス消火( )  ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。 配管用炭素鋼管(白) 圧力配管用炭素鋼管(白) 消火用ポリエチレン管(PE) 外面被覆鋼管(SGP-VS) 消火用ポリエチレン管 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(膨張タンクによる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 施工しない 施工する(給水管の保温仕様に準ずる)
火設備	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 屋内露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工する(ト水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> </ul>
火設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼ば管の保温を 屋内の保温を 屋内ンチ内の保温を トレンチ内の保温を 都市ガス (発素 液化石油ガス (発素	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> </ul>
火設備	表示灯配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用死水タンクの保温を 消火用露出管の保温を 屋内ンチ内の保温を トレンチ内の保温を あ市ガス 液化石油ガス (発素 親メーター	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> </ul>
火設備	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用呼ば管の保温を 屋内の保温を 屋内ンチ内の保温を トレンチ内の保温を 都市ガス (発素 液化石油ガス (発素	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> </ul>
火設備	表示灯配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用飛呼管クの保温を が水タンクの保温を 屋内の保温を 屋内レンチ内の保温を 屋内ンチ内の保温を を屋内ンチ内の保温を を屋内ンチ内の保温を を屋内ンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を を屋内・レンチ内の保温を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> <li>貸与品</li> <li>購入</li> </ul>
火設備	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 屋内外地中配管 消火用死水タンクの保温を 消火用露出管の保温を 屋内ンチ内の保温を トレンチ内の保温を あ市ガス 液化石油ガス (発素 親メーター	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> </ul>
火設備	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 一般配管 地中配管 声外地中配管 消火用呼吸管 クの保温を が水タンクの保温を 屋内ルルのの保温を 屋内レンチ内の保温を 屋内ンチ内の保温を を屋内ンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上している。	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(総水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>税量 45,000kJ/N m³ KJ/N m³</li> <li>る0kg 本立 20kg 本立)</li> <li>貸与品 購入</li> <li>配管用炭素鋼鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管</li> </ul>
火設備ガス	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 一般配管 地中配管 声外地中配管 消火用呼吸管 クの保温を が水タンクの保温を 屋内ルルのの保温を 屋内レンチ内の保温を 屋内ンチ内の保温を を屋内ンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上レンチ内の保温を を屋上している。	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> <li>貸与品</li> <li>購入</li> </ul> 配管用炭素鋼鋼管(白) <ul> <li>ポリエチレン被覆鋼管</li> </ul>
火 設 備 ガ ス 設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスかーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火を連結送水管 一般配管 一般配管 一般中配管 消火用のの保温を 消火用のの保温を が水タンクのを 屋内が地中のの保温を 屋内があるのの保温を を屋上がある。 が、カカス (発素) が、カカス (発素) が、カカス (発素) が、カカス (発素) が、カカス (大きな) の場合は、供給者	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>税量 45,000kJ/N m³ KJ/N m³</li> <li>る0kg 本立 20kg 本立)</li> <li>貸与品 購入</li> <li>配管用炭素鋼鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管</li> <li>番仕様による。 大阪ガスネットワーク(株)</li> </ul>
火設備ガス	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火 連結送水管 一般配管 型内別配管 地中配管 消火性和配管 消火用の保温を が出来するの保温を 屋内のの保温を 屋屋のの保温を 屋屋があるのの保温を を屋上があるのの保温を を屋上があるのの保温を を屋上がある。 一般配管 屋内外地中配管 のの保温を を屋上がある。 一般配管 をのの保温を ををををををしたがある。 第25年のの保温を ををををををををきませた。 第35年のの保温を をををををきませた。 第35年のの保温を をををををきませた。 第35年のの保温を をををををきまます。 第35年のの保温を ををををきまます。 第35年のの保温を をををををきまます。 第35年のの保温を をををををきまます。 第35年のの保温を ををををきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を ををををきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をををををきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきまます。 第35年のの保温を をきままする。 第35年のの保温を をををををををををををををををををををををををををををををををををを	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>税量 45,000kJ/N m³ KJ/N m³</li> <li>る0kg 本立 20kg 本立)</li> <li>貸与品 購入</li> <li>配管用炭素鋼鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管</li> <li>番仕様による。 大阪ガスネットワーク(株)</li> </ul>
火 設 備 ガ ス 設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスかーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火を連結送水管 一屋内消火栓箱には、消火が一般配管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 消火用のの保温を 屋屋内のの保温を 屋屋トレンチのの保温を 屋屋トレンチカスカス (発素) があれ、一ター 一般配管 屋内外地中配管 の保温を をを をを をを をを をを をを をを をを をを をを をを をを を	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>・施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
火 設 備 ガ ス 設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火を連結送水管 一屋内消火栓箱には、消火が一般配管 屋内消火栓箱には、消火が一般配管 地中配管 消火用のの保温を 屋屋が水タンクのをを 屋内が出りのの保温を 屋屋があるののののののののののののののののののののののののののののののののののの	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> <li>貸与品</li> <li>購入</li> <li>配管用炭素鋼鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管</li> <li>活仕様による。大阪ガスネットワーク(株)</li> <li>工法</li> <li>アE管工法</li> <li>別途</li> <li>本工事)</li> </ul>
火 設 備 ガ ス 設	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓 泡消火を連結送水管 一屋内消火栓 11 地中配管 20 一般 11 中中配管 20 11 11 12 12 13 14 14 15 16 16 16 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li></ul>
火設備ガス設備さ	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く) 地中埋設管の接合法 ピット内施工法 負担金 本管接続工事 掘削工法	屋内消火栓 泡消火が管 地中 一般 記憶 一般 記憶 一般 中中 記憶 一般 中中 記憶 一般 中中 のの保温を 一般 中中 ののの保温を 屋屋 ククク温温を 屋屋 ククク温温を を 一般 のの保温を を 一般 のの保温 を (、	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>消火用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP-VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>20kg</li> <li>本立)</li> <li>貸与品</li> <li>購入</li> <li>配管用炭素鋼鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管</li> <li>活仕様による。大阪ガスネットワーク(株)</li> <li>工法</li> <li>アE管工法</li> <li>別途</li> <li>本工事)</li> </ul>
火設備     ガス設備       さく	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料(図面特記部分は除く) を対料(図面特記部分は除く) 地中埋設管の接合法 ピット内施 負担金 本管接続工事 掘削工保護管	屋内消火栓 泡消火水管 地内消火を 地中の 一般 配管 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一度 一次 のの 一般 内外 用用露露 チークのの をを 上ののの保温 を 一般 内のの に 一を 内のの に 一を 内のの に のの に のの に のの に のの に のの に のの に のの	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>ポンブ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>近人用ポリエチレン管(PE)</li> <li>外面被覆鋼管(SGP・VS)</li> <li>消火用ポリエチレン管</li> <li>施工する(膨張タンクによる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(総水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>施工しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>なんとのの保温仕様に進ずる)</li> <li>ない</li> <li>ない</li> <li>が上する(給水管の保温仕様に進ずる)</li> <li>ない</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準ずる)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に進する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温仕様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温性様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>施工する(給水管の保温性様に準する)</li> <li>を対しない</li> <li>を対しない</li> <li>を対しまする(とは、を対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、を対しまする)</li> <li>を対しない</li> <li>を対しない</li> <li>を対しない</li> <li>を対しまする(とは、を対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、対しまする(とは、対しまする)</li> <li>を対しまする(とは、対します</li></ul>
火設備ガス設備さ	表示灯 配管材料 (図面特記部分は除く) 保温 ガスの種類 ガスメーター 既設 配管材料 (図面特記部分は除く) 地中埋設管の接合法 ピット内施工法 負担金 本管接続工事 掘削工法	屋内消火栓 泡消火水管 地内消火を 地中の 一般 配管 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一般 中中の 一度 一次 のの 一般 内外 用用露露 チークのの をを 上ののの保温 を 一般 内のの に 一を 内のの に 一を 内のの に のの に のの に のの に のの に のの に のの に のの	<ul> <li>不活性ガス消火( )</li> <li>パンプ運転表示灯取付用口を設ける。</li> <li>配管用炭素鋼管(白)</li></ul>

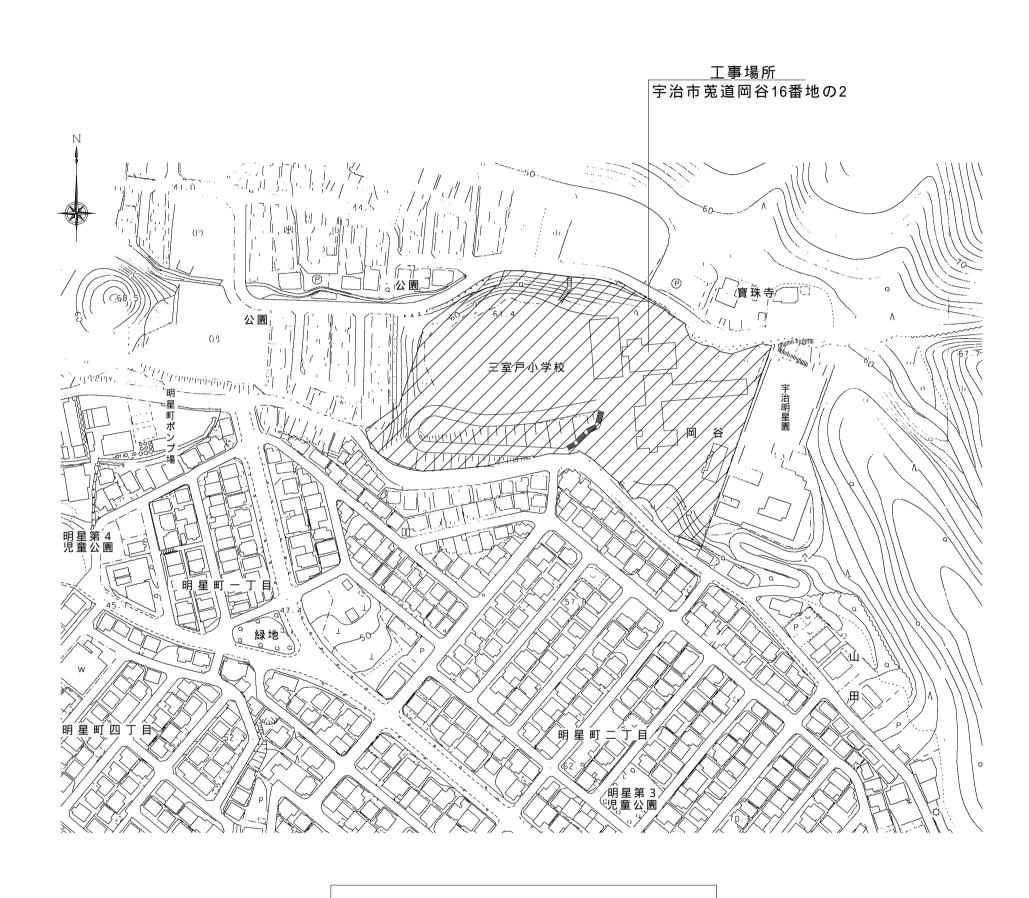
	コア抜き	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
	(ダイヤドリル穴明け)	参考メーカー 日本無機㈱ ハンディサーチRCレーダー NJJ-105型同等品
_ [	校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
その	交通誘導員	機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。
他	保安器材	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
. [	鉄板敷き	1,524×6,096×厚22mm
	アンカーボルト	中庭外壁に配管する冷媒管用支持金具取付はケミカルアンカーを使用すること。

鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

盤類予備品(ランプ及びヒューズの100%)

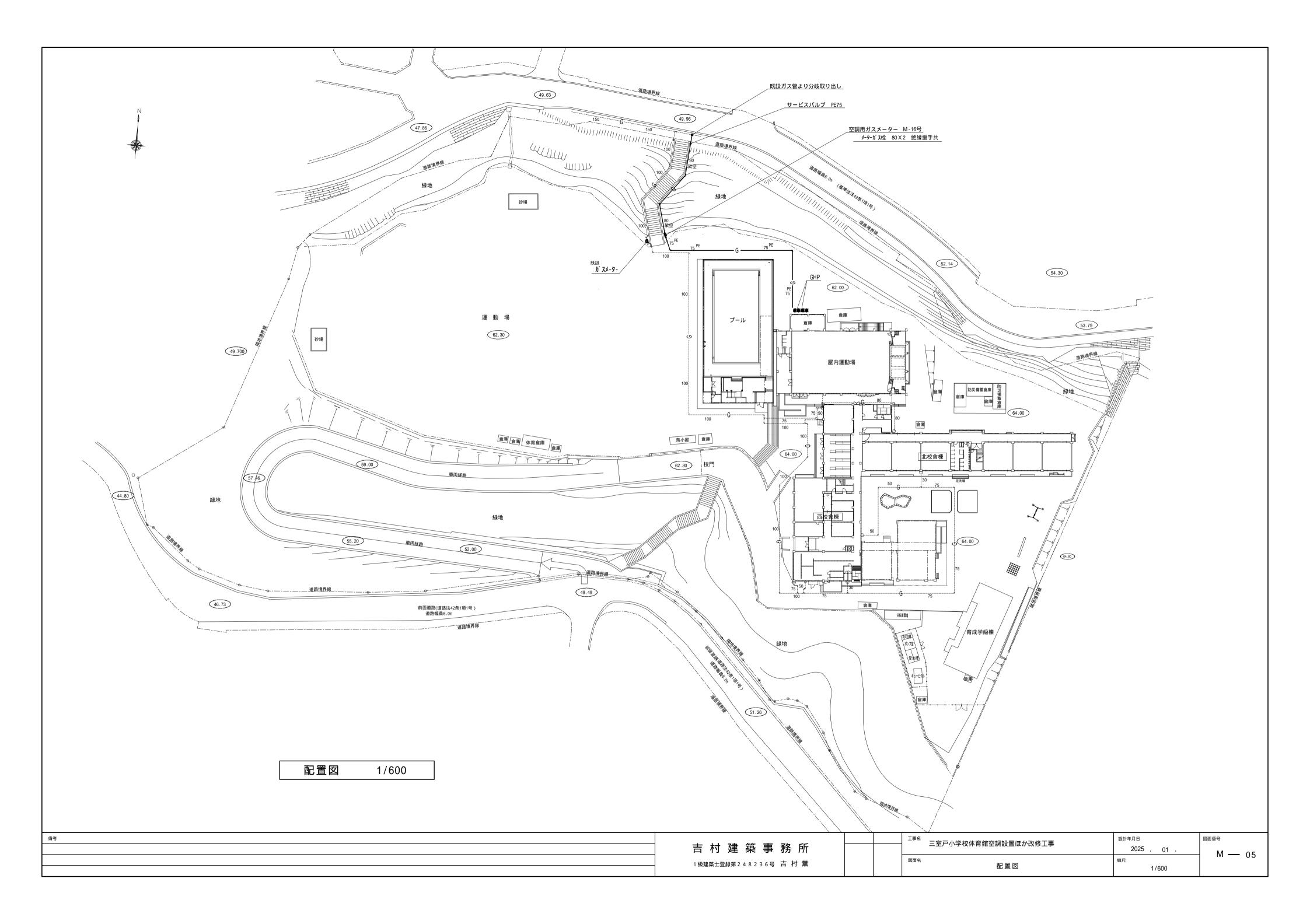
試験・検査						
水圧試験	排水満水試験	排水通水試験				
気密試験	点火試験	機器類動作試験	風量測定	吹出口温原	度測定	
騒音測定	振動測定	絶縁試験				
消防設備試験	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験(有	資格者)	(屋外機、	屋内機)

備考			<sub>工事名</sub> 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	図面番号
	吉 村 建 築 事 務 所		二至广小子牧仲月昭王嗣改且はか议修工争	2025 . 01 .	- M $-$ 03
	1級建築士登録第248236号 吉村 薫		図面名	縮尺	7 W — 03
	,		機械設備工事 特記仕樣書-2		1



付近見取図 S=1/2500

備考		工事名	設計年月日	図面番号
	吉村建築事務所	三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	2025. 01 .	M — 04
	1級建築士登録第248236号 吉村 薫	付近見取図	縮尺 1/2500	IVI — 04
	· MAZAZZZZZANIA Z O Z O Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	门匹先取囚	1/2300	



凡 例

記号	名	称	SGP(白)	V P	保温付 - V P	PΕ	C U P - L	大阪ガス仕様	大阪ガス仕様	備考
					- 4 F			7 2 7		
R	冷媒管	国土交通省仕様								ファイアレス ジョイント使用
D	ドレン管	(屋外立管、屋外露出部分)								屋外は カラ - VP
D	ドレン管	(室内露出、化粧カパ-内部分)								屋内は 保温付きVP
——— G ———	ガス管	(地中埋設、土間下部分)								
——— G ———	ガス管	(一般、露出部分)								塗装仕上
	空気搬送ファン	(新設 天井吊型)								
8	壁付換気扇	(既設 24時間換気用他)								
	雑排水桝 雨水桝									
(D)	浸透桝	(樹脂製 200 )								

1)上表中 印を適り	ー 用する
2 ) 管材は下記の通	りとする
C U P - L	リン脱酸銅継目無銅管(空調用断熱被覆銅管)
S G P (白)	配管用炭素鋼鋼管
V P	硬質塩化ビニル管
保温付-VP	保温付硬質塩化ビニル管
PΕ	ガス用ポリエチレン管
PLP	ガス用外面ポリエチレン被覆鋼管
ELP	ガス用塩化ビニル被覆鋼管

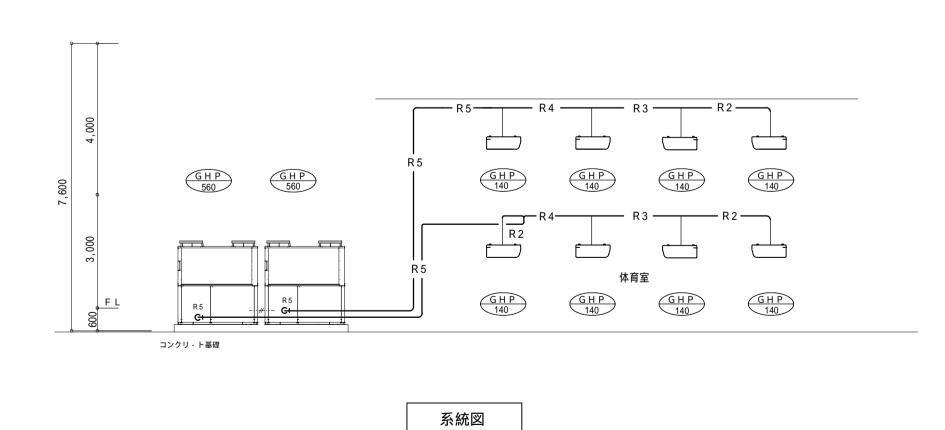
接着系(SUS製)アンカー

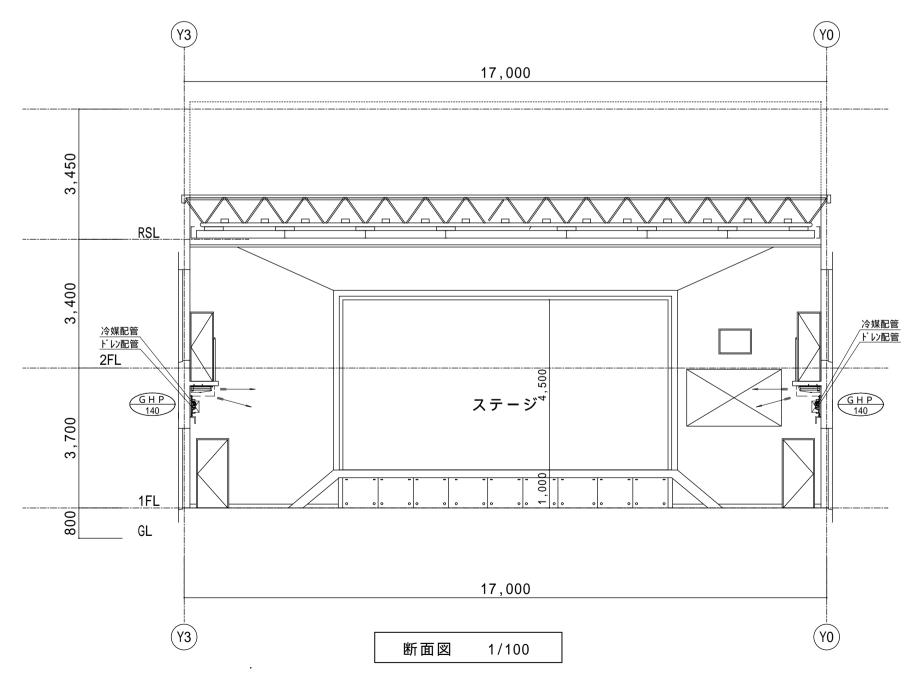
) 水田水(				
ボルト呼径	L(mm)	穿孔径(mm) d2		
M - 10	80	13.5		
M - 12	90	14.5		

## 冷媒配管サイズ表

記号	ガス管サイズ	液管サイズ
R 1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R 4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88

渡り配線は冷媒共巻きとする。





備考	古村建築事務所	<sup>工事名</sup> 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 2025 . 03 .	図面番号
	1級建築士登録第248236号 吉村 薫	<sub>図面名</sub> 機械設備工事 系統図	縮尺	M — 06

## 機器表

記号	名称型式台71.6	冷房能力 (Kw)	暖房能力 (Kw)	圧縮電動機 (KW)	送風電動機 (KW)	電源 ( v)	消費電	力(W) 暖房	本体寸法(mm) W×D×H	製 品 重量(kg)	冷媒管 (m/m)	<b>風量</b> m3/m in	燃料 (kw/H)冷房	燃料 (kw/H)暖房	参考品番	備考
G H P 560	ガスエンジン パッケ - ジエアコン	56.0	63.0		0.75×2	3 × 200	1330	1190	2026 880 2228	870	28.58 15.88		46.1	42.7 2	ABGP560F2ND同等品	地上 コンクリート基礎 接着系アンカー M12×4本
	ビルマルチ型 室外機 ハイパワープラス						非発電時	非発電時			R 5		非発電時	非発電時	AGLS3A同等品	自立ユニット
	電源切替盤バッテリー100V変換トランス														GECBAT70A同等品	バッテリー
	自立運転スイッチ盤 (屋外用)														AGLS-TR同等品	100V変換トランス
	防振パッド														K-KSVP10B1同等品	防振パッド
GHP 140	ガスエンジン パッケ - ジエアコン 天井露出型 屋内機	14.0	16.0			1 × 200V		84	1595 680 210	33	15.88 9.52 R2			8 2 2 2	AXHP140NA同等品 ABRC1G3同等品 ADST301B1同等品	体育室 ギャラリー     接着系アンカー M12×6本       控室     リモコンスイッチ       控室     スケジュールタイマー       ギャラリー 防球ガード     接着系アンカー M12×6本
(F-1)	エアー搬送ファン		1450m3		400 指定色 <u>第</u> 集電力 1				50H 格子ピッチ 10					8	参考図同等品  AH-2009SA2同等品	ギャラリー 防球ガード 接着系アンカー M12×6本 体育室 ギャラリー
		コン	トロール	スイッチ	FS-08AHS	53								6	AH-G30A同等品	ギャラリー 防球ガード

- 1、室外機と室内機の制御渡り操作線は冷媒管と共巻き。本工事 制御ケ ブルは E M C E E 1.25 X 2 C とする。
- 2、室外機と室外機の渡りリモコン用配管、配線(ЕМ-СЕЕ1.25Х2С 2本)結線調整は本工事。
- 3、ガスエアコン屋内ユニットリモコンスイッチは4台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 4 、ガスエアコンウィクリータイマースイッチは4台で1系統運転とする。
- 5 、エアー搬送ファンのコントロールスイッチは3台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 6 、エアー搬送ファンのコントロールスイッチは電気設備業者に支給する。機器運転調整は本工事。
- 7、ガスエアコン屋外ユニットは、マルチマウント防振パット敷きとすること。

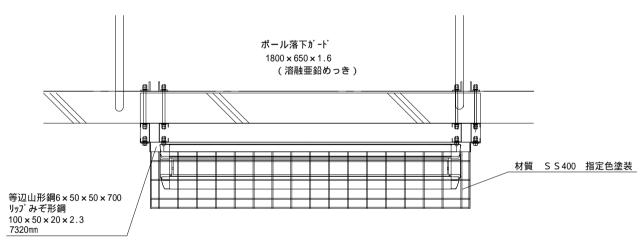
### 注記 1 フィルタ - の予備は室内機器と同数を納品する。

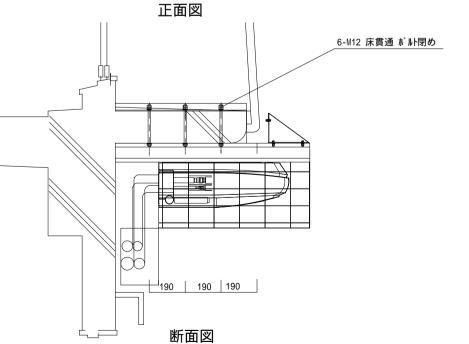
11×8か所

NO	品目	製 造 者 名 簿
1	ガスエアコン	アイシン精機(株) ダイキン工業(株)
		ヤンマ・エネルギ・システム(株)
2	換気扇、ファン類	三菱電機(株) パナソニック(株)
		日立アプライアンス(株)
3	保温付硬質塩化ビニル管	積水化学工業(株) ACD型
		因幡電機産業(株) NDD型
4	屋内機用防球金具	ホーコス(株) 因幡電機産業(株)

#### 屋内機防球ガード等 仕様

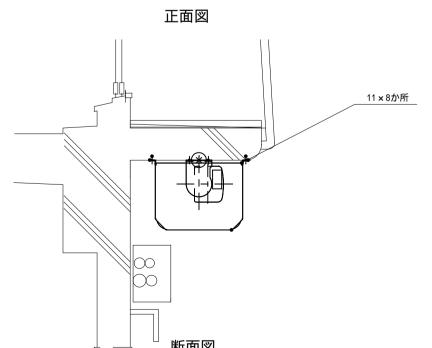
防球ガード	材質 SS400 指定色塗装
	参考寸法 1800 X 800 X 350 H
	格子ピッチ 100 X 100
上部吊架台	リップ。溝形鋼
	C×100×20 SS400メッキ仕上げ
ボール落下ガード	材質 S S 400 SS400メッキ仕上げ
	アンク゛ルフ゛ ラケット+フ゜ レート
	寸法 2000×230×100H
吊り用アングルブラケット	L50×50×6 SS400メッキ仕上げ
	700L×4本
	製作図面作成承諾を得ること







エアー搬送ファン防球ガード取付参考図 1/20

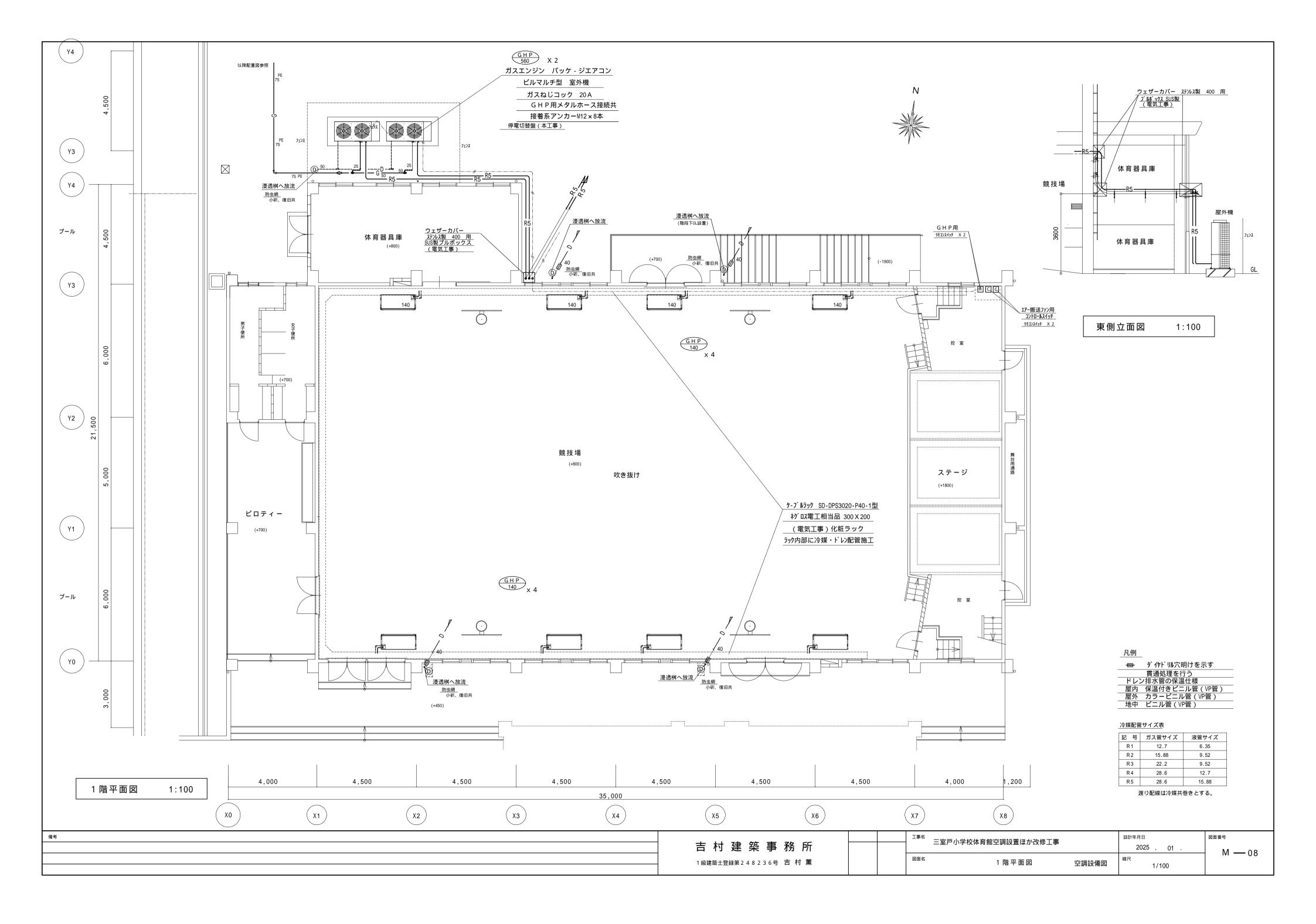


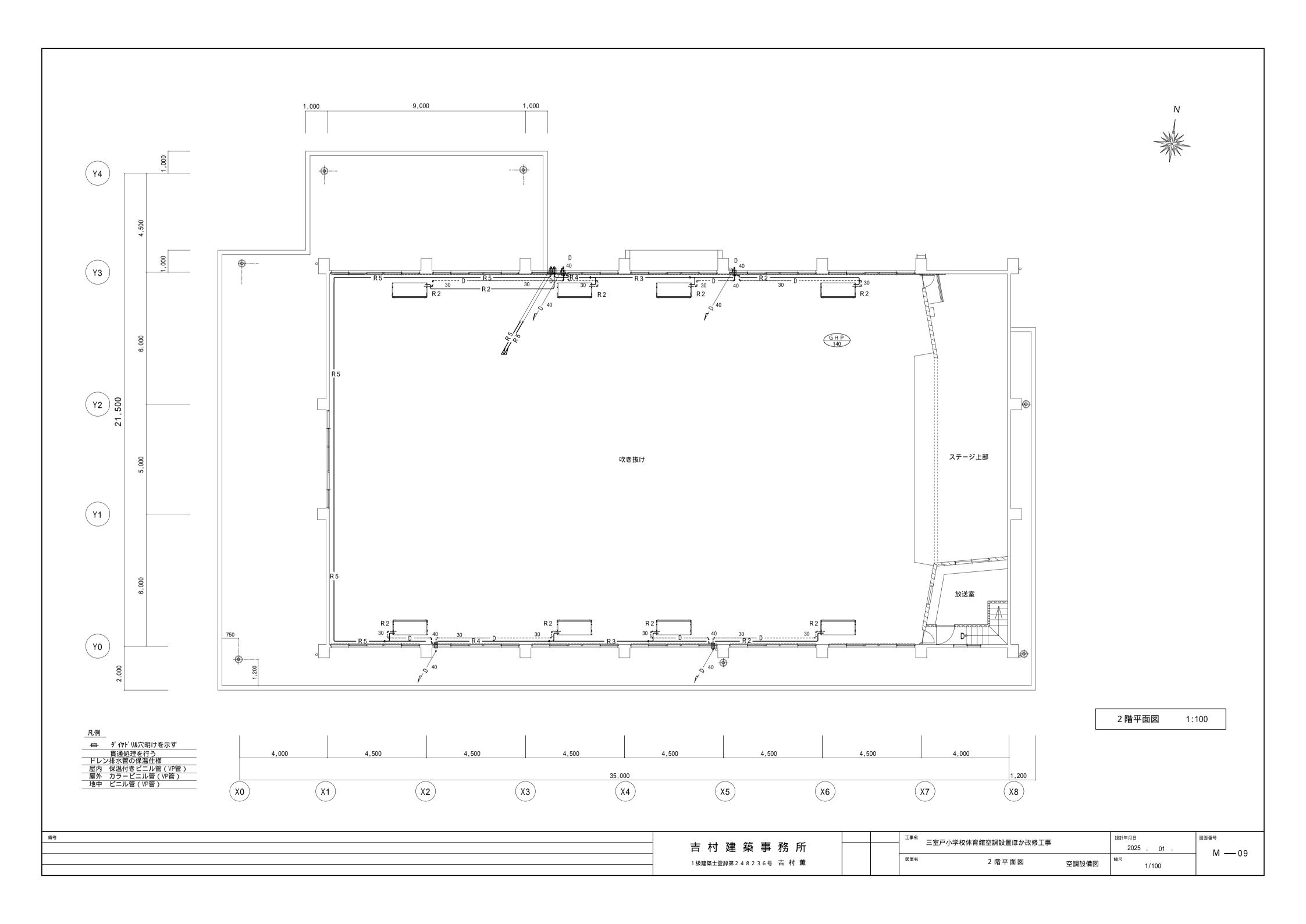
屋内機防球ガード取付参考図 1/20

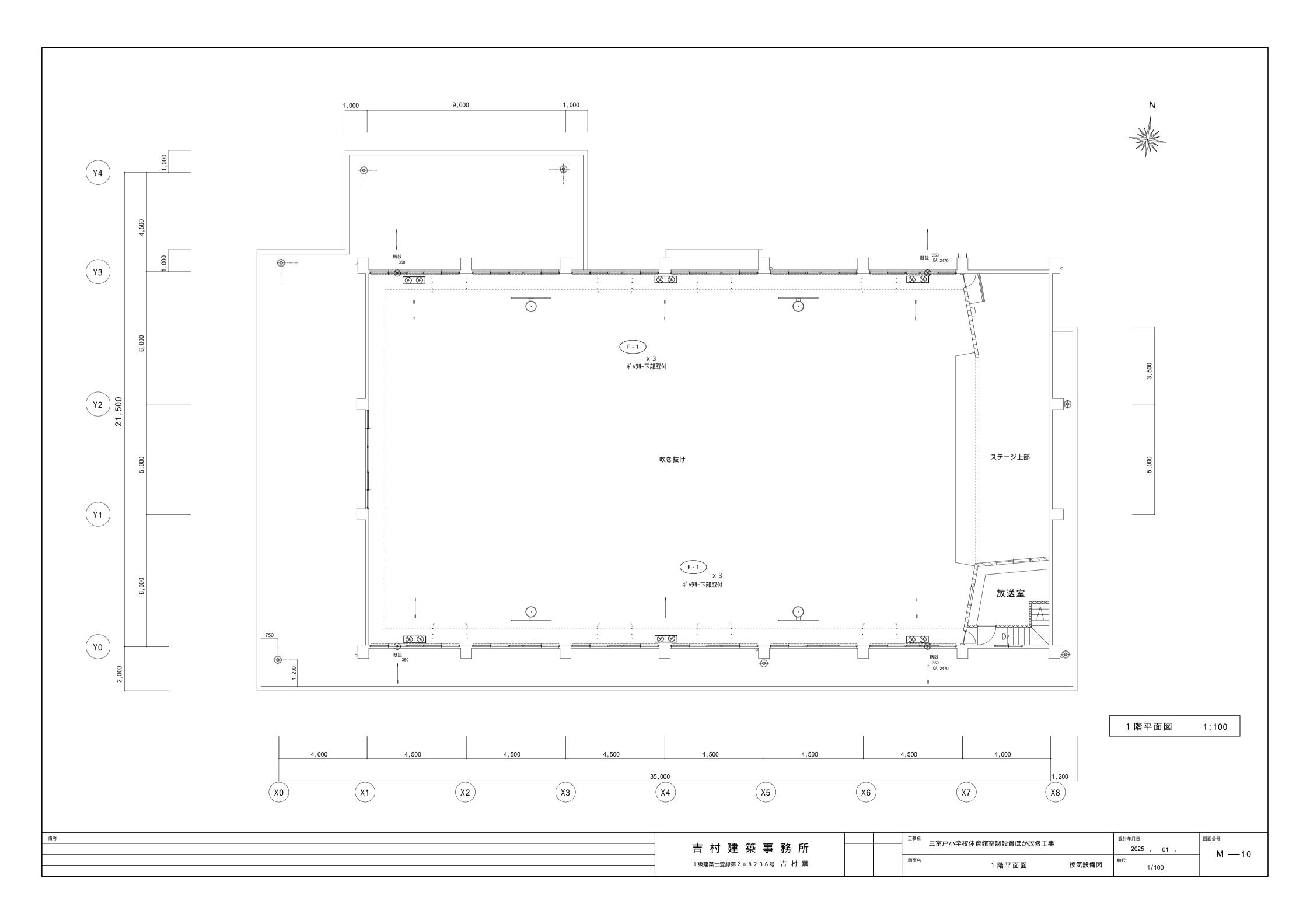
備考	

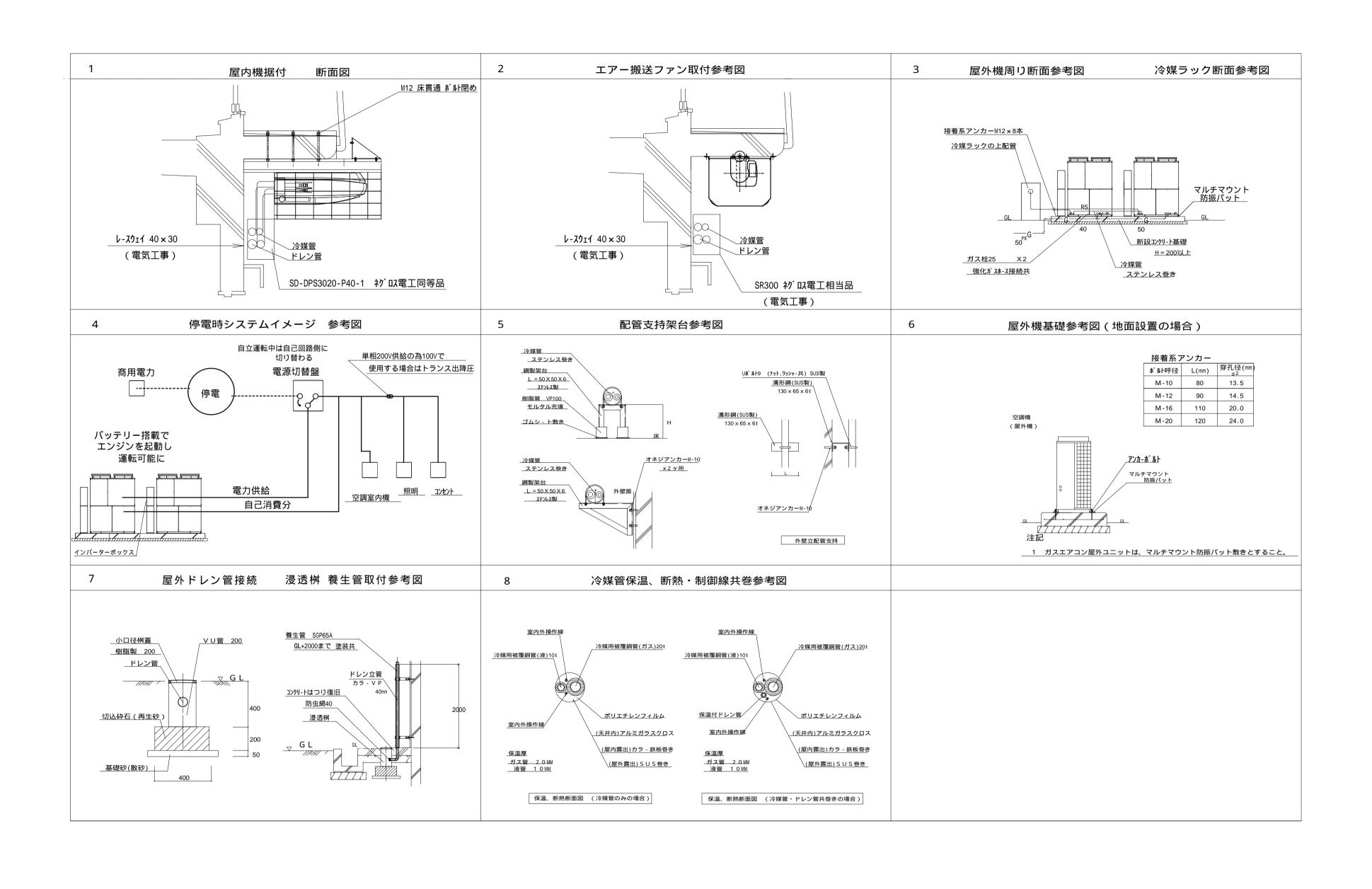
吉	村	建	築	事	務 所	
1級建	建築士登	發第 2	4 8 2	3 6 号	吉 村 薫	

工事名	三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 2025 . 3 .	図面番号
図面名	機械設備工事 機器表	<sup>縮尺</sup> 1/20	M — 07









備考		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	設計年月日	図面番号
	吉村建築事務所	二重广小子牧仲月昭王嗣設直はが以修工事	2025 . 03 .	- M $-$ 11
	1級建築士登録第248236号 吉 村 薫	<sub>図面名</sub> 施工標準図、参考図	縮尺	
	· MACATIMAN I OF 30 3 H 13 M	ルニホーロ、ショロ		

March   Marc		· 改修工事特記仕様書	章 項 目	<b>特</b>	記 	_				特 	記			章 項	目	特	記 		
Part			10 構造体強度補正値	気温による構造体強	鱼度補正値(S)		(表6.3.2)			断熱材(屋根保護防水路	<b>「熱工法)</b>					」接着工法の場合で、P	C コンクリート部材下地の場合		
Control   Cont	工 事 仕 様					期 間 (打	丁設日)			厚さ mm									
## 1	計図書による。設計図	図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。	, ,	普通 早強	(8) 南部地	也域 中部地域	北部地域												よる
**************************************			(2)	8以上 5以上				3		○ 断熱材(屋根露出防水	<b>听熱工法</b> )			3		絶縁用シート及び可塑剤	移行防止用シート	発泡ポリエチし	
Table   Tabl																			
The content of the						3/5   11/ 6~ 3/	10   11/ 1~ 3/10	7.		種類				F-1					
The content of the	ロ及び特別で記事	第60 ( ) F3 秋小田 518 以下派正 3 のコ 欧央 日、コ 欧 四 人 18 コ 欧 代 で か テ 。	土				の声町村)			リーコピレン原の及び立ち	の対象を表れる。	<b>走1717年17</b> 位果		り				:上法を品質計画	により定めるこ
Part			• ♦#		. ,		/ ניונייינויל	水						小				この比面茶してし	+市あに掛肥を建
Application	項目	特 記 事 項	並				ļ	似么		四小による -				修				3の万面石しく16	
Section   Continue			*   BJJ	, ,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ļ			絶縁用シート ポリエチ	· レンフィルム厚0.15	imm以上(保護防水工法)	,				20.411119人工07000		
A		本章の項目及び特記事項の( )内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修					ļ	事		フラット	ヤーンクロス(70g/	'㎡程度 )		事					
		· · · · ·	ン ① コンクリートの	フレッシュコンクリ	ートの試験		ļ												/L \%
The content of the				省略する			ļ					×15×2.0						防水層 施工館	新 <u>工工學</u>
An in control   An in contro		「8 耐震改修工事」によるものとする。	~(6.9.5)				ļ			立上がり部の保護					` ,	P 0 X 工法	V 411 V 611	±0.04	
Martin   M				****   5	+ 2 <sup>27</sup> /		ļ								~ (3.6.3)	O I 4 X T:+	1	20.0	
# 1	押め戻し及び	Δ 種 - 砂質+(山砂の類)を水焼め∇け機器による焼用め (表3.2.1)				可 个可	ļ			3						O L 4 X Lix	X   X		
A			<u> </u>				ļ					,	3 K 1230)			P 1 Y 工法	Y-2		
Martin	(0.2.0)		<del>                                    </del>			_	ļ											長3.6.3	
Manual   M		D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め					ļ									ポリマーセメント系	赤膜防水 アクアシャック	ターFVA 字!	『興産建材(株)
Table   Tabl		その他(材料工法)					ļ				床	タイル張り等仕上げ	mm					, E 4 V 3-B	P. 在 注 的 (
Marria   M		建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量( m3)	13 寒中コンクリート	予想平均気温が表6.	.3.2に示す予想平均気	記書未満の場合には標何	仕第 6 章第 1 1 節			コンクリート仕	上がりの平たんさ	a種 b種	c 種 (表8.1.5)			脱气类署(X-1)	設ける 材種(	) 設置数量	(1箇所/ )
Part		発生場所 (	(6.11.1)	(寒中コンクリート	ト)による。					脱気装置 設ける			)			. ,		, *A=XA=	· ====================================
Martin   M										<b>在梅豆</b> 地————————————————————————————————————		箇所 / ㎡ )							
A	建設祭生士の加頭	T 되는 무사 2 ほんけ 祖根科四妻 는 ト 2	14 星由コンクリー 5	星曲にもはっ様が生	*冷安进正德(6)														
## 1						£ +7 ≥ → #888 · !=:=								7 漏水試験	<del></del>	水張り試験を行う	(屋内 〇屋外)	)	
## 1	(0.2.0)		(0.12.2)	地域	日平均気温が25度を	を超える期間(打設日 ——	) 補正値				. <del>-</del>					I			
Part		,,		北 部 地 域			6 N /mm2							(O) (D=T=		四汁土 14-1-1	\$ <b>**</b> ********* * * * * * * * * * * * *	7.浦夕に ヒュ (7.5)	また担山士マー
Part		京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例						4 改質アス	スファルト				<b>仕上淦型</b>	後   1   1   1   1   1   1   1   1   1					音で旋山するこ
Part				南部地域	7月1日	日~9月10日				種	別	防水層 施工箇所	種類 使用量			ᅥᆍᅩᆈᄶᆘᆉᆒᄭ	*************************************	, ~ L L J & . )	
Mary							ļ		` ′	M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2	表3.4.1				ı			
### 1			(15 m.hu 15th # 6		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	TIM = 0 + + 1/4 + 1 + 1		_	~ (3.4.4)		45-J2			9 施工標語	钱	工事完了後に監督職員の	D指示する位置へ取り付げ	ける。	
Note		構内指示の場所にたい横								尼坦震中院水绝缘下注						材質 真鍮	製エッチング仕上 150×	100	
No.   No.		(表5.2.1)	<b>迎惧蚁的止</b> 刈束寺								別	防水層 施工箇所	仕上塗料 使用量			設置数量 ( 1	) 箇所		
# 2	鉄筋の種類			領邦里が101座(こる座)	放告年代で快重時に従	EM 0'41) 1 (14 4 5 4 )	'0			M 3 A S 工法	AS-T3 AS-T4		性别	10 > - 11	ノグ	シーリング材の種類	改修標仕 表3.7.1によ	る	
Part	11	異形鉄筋 SD295 D16以下					ļ			P 0 A S 工法	AS-J1 AS-J3	表3.4.2		_					
Part	, , , , , ,	SD345 D19以上													` ,	シーリング改修工法及7	び施工箇所 		
### (1.5.1)							ļ			屋根露出防水絶縁断熱			<b>什上渝</b> 率		~ (3.7.8)			施工	箇 所
Math			① 既存防水の処理				ļ			種		防水層 施工箇所 —	種類 使用量						
Part			` '		図示による	)	ļ					表3 / 3						-リンク 部(PC版・RC	沙雪化水建具廻
1	溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 <u>150×150</u> 鉄線の径 <u>6</u> mm	l <b>-</b>   ` '				ļ				ASI-J1	283.4.3							
1			~ (3.2.5)		図示に トス	`	ļ									フリック工法			
Martin   M	コンクリートの	種類 普通コンクリート (表6.2.1)			DANICS D	,	ļ			立上り部の押え金物の材質	形状及び寸法					L			
Part			防		仕上塗装の除去		ļ			アルミニウム製 L-3	80×15×2.0(mm)程度					仕上げを行わない施工f	<b>箇所( 図示による)</b>	, <u> </u>	
1			水	行う( M4AS	S M4ASI M4C M4D	DI L4X) 行	jわない			断熱材(屋根露出防水絶縁	<b>新熱工法</b> )					目地寸法 コンクリー	rの打継ぎ目地及びひび <b>ぎ</b>	剧れ誘発目地	
Rad   Rad			改				ļ			厚さ mm						幅20	mm以上、深さ10mm以上		
(2.4)	11						ļ			種類									
(2.4   1   1   1   1   1   1   1   1   1	, , ,		= - //// //	既存ト地の修止箇所の制	形状、長さ、数量等	図示による				时气壮军 / <i>他</i> 想丁汁 >   =	□ ++ 1手 /	、 :0. 栗 *** 是 / 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	**************************************						
1	` '		<del>3</del> (3.2.6)				ļ						固 <i>m /m )</i>						
特別	` ′ [ [	土間コンクリート     18     15     18     側溝・犬走り	3 アスファルト防水	屋根保護防水工法			ļ				如無土/4)	170 1217/601				iγi IOi	·····································		
	, , ,	捨コンクリート 18 15 18			別	防水層 施	工 箇 所									シーリングの試験	簡易接着性試験 (デ	部位	
### 18 15 16 排除したには			~ (3.3.5)	P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3				1-2	753	防水層施工箇所	世上塗料 種類 使用量			· I			
### (5.3.1)		無筋コンクリート 18 15 18 標仕6.14.1による		D	DI 4	<b>J</b>		フィング・シー		,	•	7° L±+7				I			
F (F ・ 報告の数据を指揮的 1) Nav2 (5.16.11によるもの点が相当プリートは暗音検索権能出行わなけ) 1		48.46.45.25.45.11		P1 B I 工法	BI-2	表3.3.4			` '			トコンクリート			-145				
A 1				P 2 A T T法	AI-1 AI-2				~ (3.5.4)	,		"'		,	,	<u> 外とい(外気に接す</u>		<b></b>	Z A 11
P2 A 工造 A1 A2		. , , , , ,				表3.3.5				S 3 S 工法 S(I	)-F1				` ,	ルーフドレン	17 13	301)	
(6.3.1)		/・・・・・・ため のの次の上回コンソン 「は得た平江及間上は114/41」		P 2 A 工法		<b>事</b> 2.2.0				S 3 S I 工法 PC部	・ 材入隅増張 ( 有り 無	表3.5.2 プレキャス 無し ) まっこっ トフンカリート			(0.0.3)		. '	. ,	************************************
### 10   10   10   10   10   10   10   1					A-3	নহও.ও.চ				S(I	)-F2	下地				,	1		下げ、周囲の隙間
(6.3.1)   無常セステト目離(藤田南州   12が9+1	セメントの類別	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種									)-M1 S(I)-M	12 7°1+-7						;	モルタルを充填す
	(6.3.1)	,		屋根露出防水工法	Di.	7t-V = 4t4t-	上 什上涂料			M 4 S I 工法		トコンクリート				軒どい	硬質塩化ビニル製(倉	-	前高) 巾120m
				種 M A C 工汁	別 0-1 0-2		種類 使用量			P 1 C T2+ 0.0	1		□ ★ mm				TESS 15- 11-1 A		カラー)巾150m
骨材 (6.3.1)		フライアッシュセメント B 種(施工箇所)		W14 C 上法		表3.3.7				「	<u> </u>	ロルグル空リ!	FC			たてとい	一 健質塩化ビニル管(V'	۲) (۱	カラー)径 75m
骨材 (6.3.1) 粗骨材 砂利(JIS A5308),种砂(JIS A5308),和砂(JIS A5308)				M 3 D 工法			+			S-F1 S-M1 S-M2の仕垟						谷どい			
展刊材料 形式 A5308) 発砂(JIS A5308) 表が正立クリート用防錆剤(JIS A5308) というには をいって は かって は は かって は は かって は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	骨材 (6.3.1)	相骨材 砂利(JIS A5308),砕石(JIS A5005) 高炉スラヴ 雷気炉酸化スラヴ				表3.3.8													多雪地域の軒と
編骨材 砂(JIS A5008) 森砂(JIS A5008) AND A5008 AND A5008 AND A	(	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																	取付間隔 0.5m
再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A(無害)  「混和材料 混和剤 AE剤、AE剤、AE剤、AE剤、AE剤、MA GOZ5) 混和材 フライアッシュ(JIS A 6201) 種 種古しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用ラリカフューム(JIS A 6207)  「関さ 〇mm 種類 機械的固定工法の場合 「		細骨材 砂(JIS A5308),砕砂(JIS A5005) 高炉スラヴ 電気炉酸化スラヴ		屋根露出防水絶縁断												, L			
アルカリシリカ反応性による区分 A(無害)				種		防水層   施工箇所	種類 使用量									I			
渡和材料						表3 3 0					ım					I			
混和材料	'	アルカリシリカ反心性による区分 A (無害)			01-1	120.0.8					の担合					I			
混和材料 (6.3.1)	I															I			
(6.3.1)     防錆剤     鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025)     種     別     防水層     施工     箇所       混和材     フライアッシュ(JIS A 6201)     種     日本		混和剤 AE剤、AF減水剤▽は高性能AF減水剤の 種(IIS A 6204)		屋内防水工法												I			
混和材 フライアッシュ(JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用シリカフューム(JIS A 6207)		こうしょう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		種	別	防水層施	工 箇 所			J× 日工/40/物口						I			
コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206)       P 2 E 工法       SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム       設置する         コンクリート用シリカフューム(JIS A 6207)	混和材料	防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025)		5 . 5 . 74	F-1 F-2											ı			
	混和材料	` '				表3.3.10	1.1												
コンクリート用膨張材(JIS A 6202)	混和材料	混和材 フライアッシュ(JIS A 6201) 種、 種若しくは 種				表3.3.10				S I - M 1及びS I - M 2	の場合の防湿用フィノ	ルム 設置する				I			
	混和材料	混和材 フライアッシュ(JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用シリカフューム(JIS A 6207)				表3.3.10				S I - M 1 及びS I - M 2	の場合の防湿用フィノ	ルム 設置する				l			

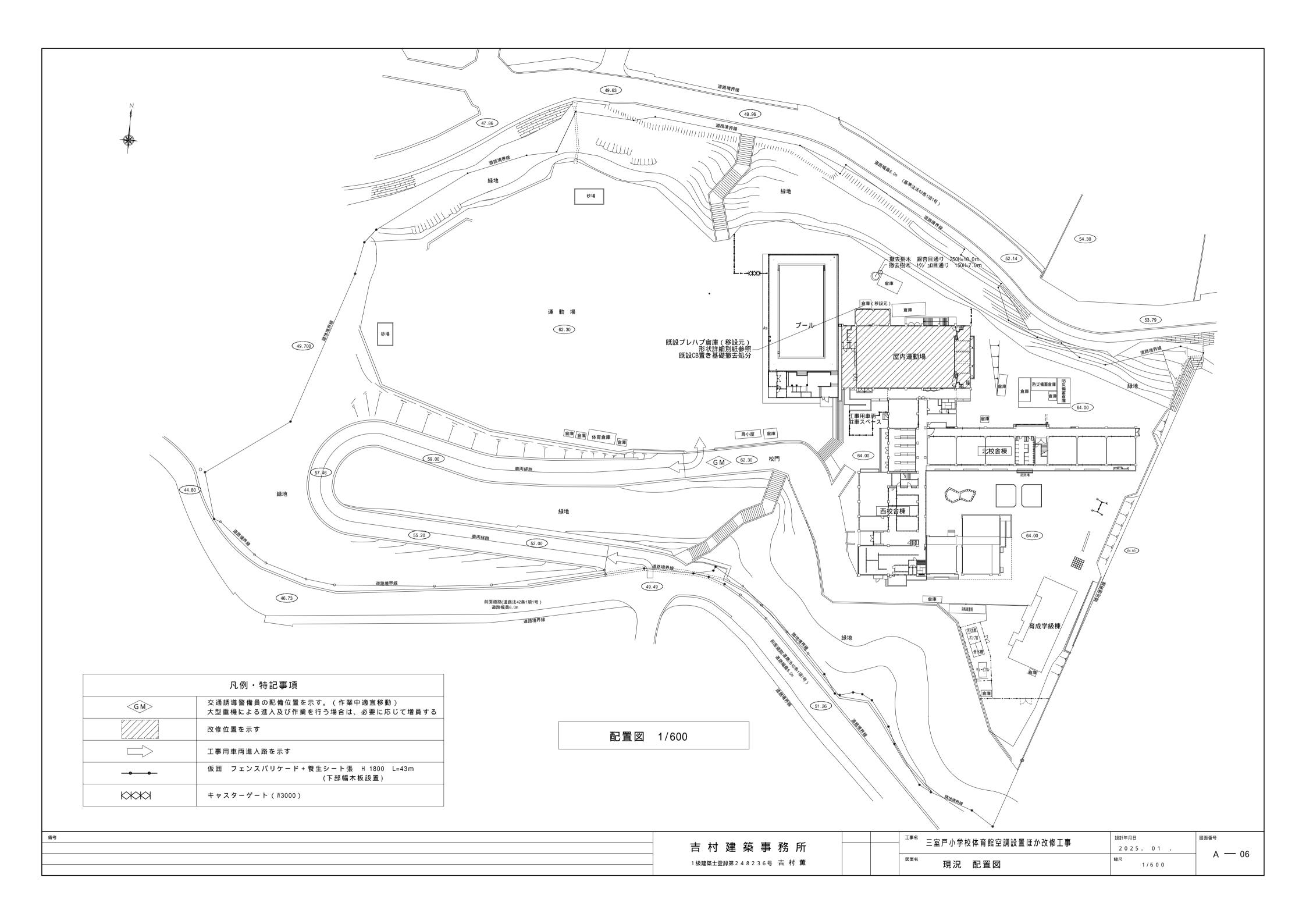
1級建築士登録第248236号 吉村薫

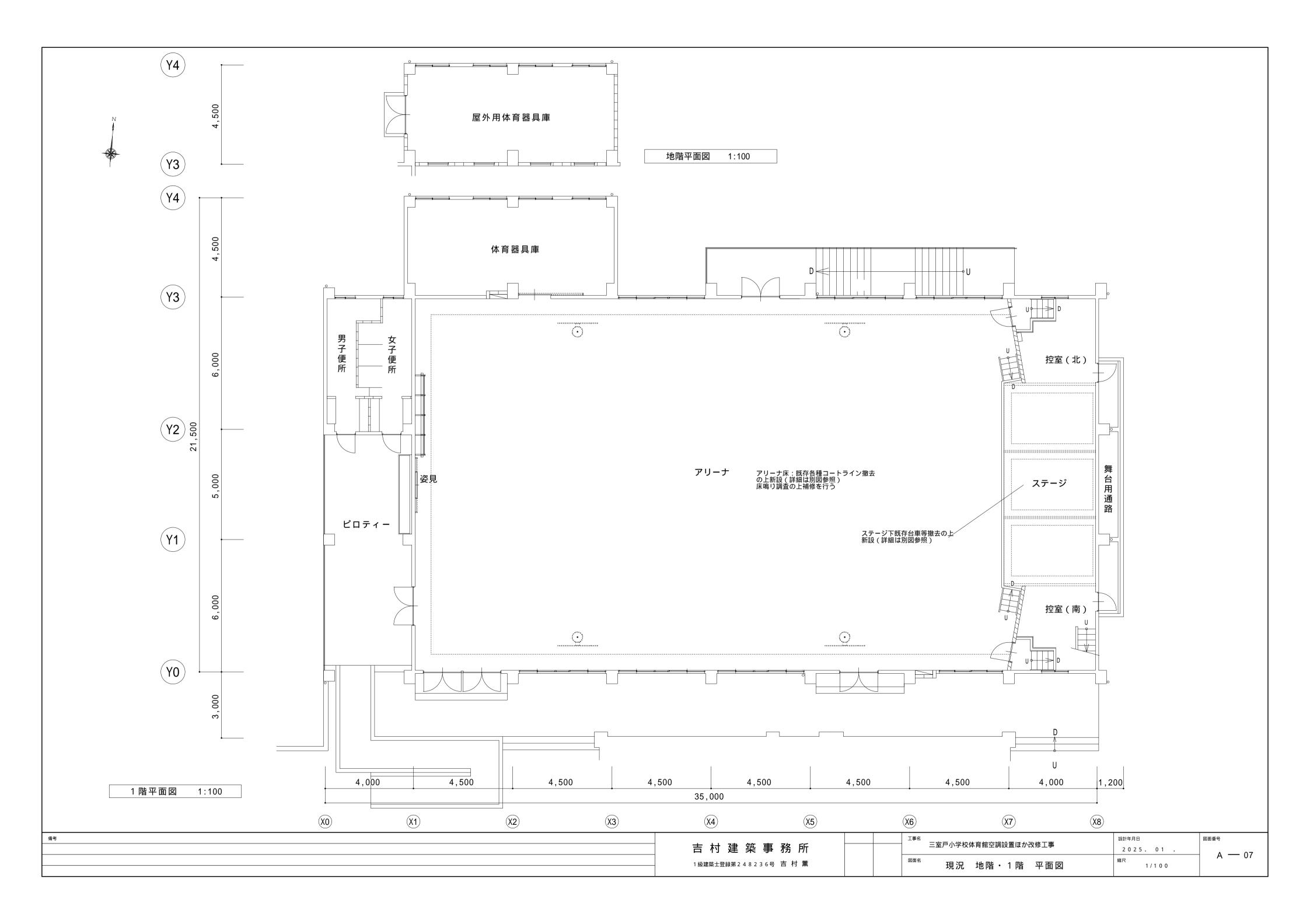
建築改修工事特記仕様書 1

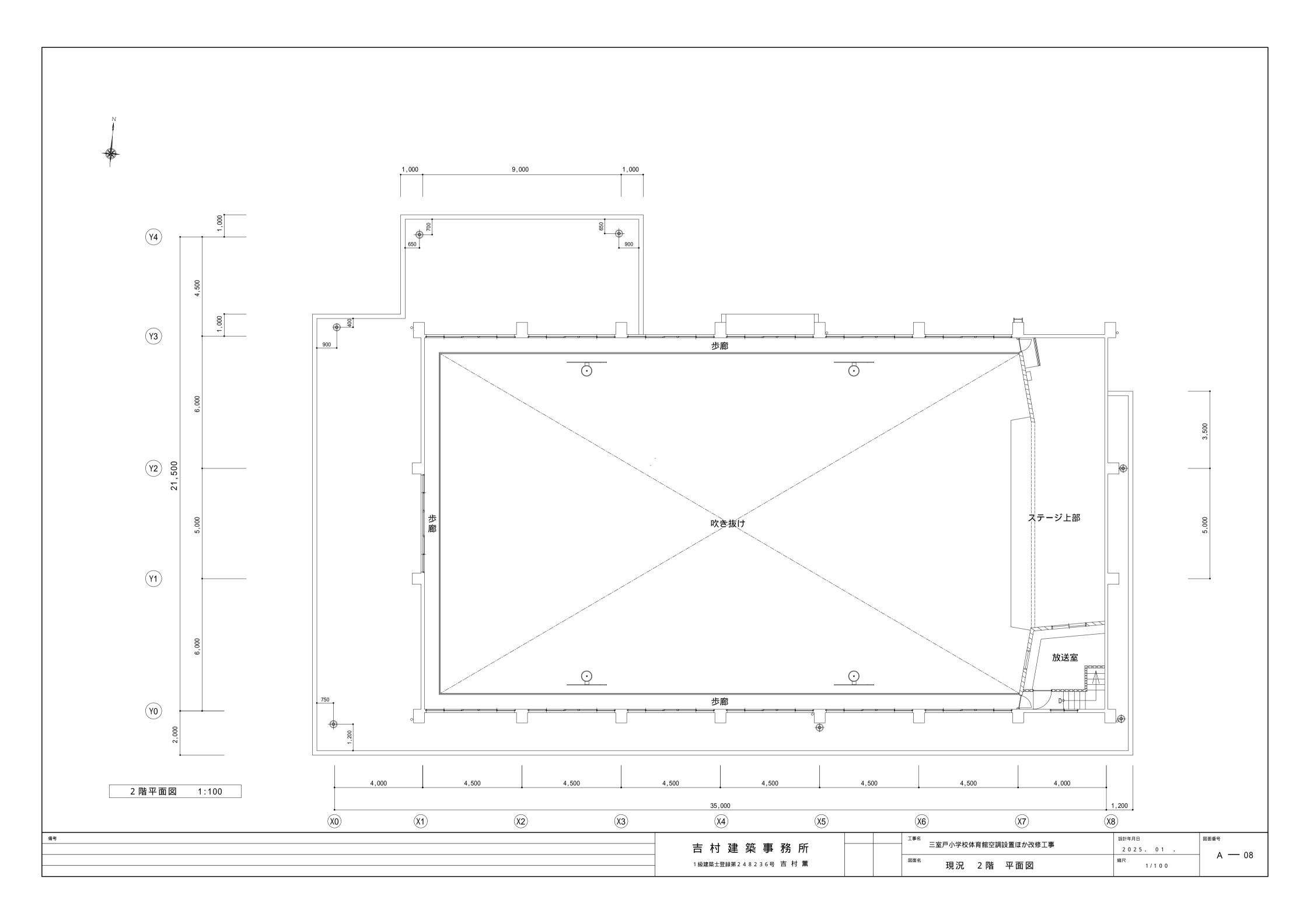
章 項 目 特 記 事 項	章 項 目 特 記 事 項 章	項 目 特 記 事 項 章	項 目 特 記 事 項
4     11 9 / ル部分張替え工法 及び9 / ル張替え工法 (4.4.5)     施工箇所及び タイルの種別 形状寸法 (mm) 生 地 釉 薬 役 物 色 耐凍害性 り性 その他 図示 磁器 無釉 有り 標準 有り せっ器 施釉 無し 特注 無し 販調合モルタル (       4     (4.4.8)		8 網戸等 (5.2.3) 防虫網 網の種別 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 形 式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16~18メッシュ 5 防鳥網 設置する	TV   TU   TU   TU   TU   TU   TU   TU
外壁       タイルの試験張り       行わない       行う(施工箇所	外壁       15 マスチック塗材 塗り (4.1.5)       (本.6.1)       建具 改修 (表4.6.1)         工事       17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.2) (4.7.3)       小壁用塗膜防水塗り 仕上げ塗材の耐候性 (4.7.3)       大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大	9 樹脂製建具       (5.3.2)         (5.3.2)       (5.3.5)       (5.3.5)       (表5.3.1)       性能等級	## (表5.8.1)  金物の種類 見え掛り部の材質 その他  シリンダー箱錠 握り玉: ステンレス  レバ・ハンドル: アルミニウム合金, ( ステンレス, 黄銅)  実用性能項目 がレード 3 以上 (鋼製建具、綱製軽量 建具、ステンレス建具)  本締り錠 シリンダ・カラー: ステンレス 実用性能項目 がレード 3 以上 (鋼製建具、編製軽量 建具、ステンレス建具)
外装薄塗材Si     砂壁状     ゆず肌状     吹付け       ゆず肌状     さざ波状     ローラ・塗り       可とう形外装薄塗材Si     砂壁状     ゆず肌状     吹付け       ゆず肌状     さざ波状     ローラ・塗り       ・ かず肌状     吹付け       平たん状     凹凸状     こて塗り       ・ゆず肌状     で付け       可とう形外装薄塗材E     砂壁状     ゆず肌状     吹付け       ・でたん状     凹凸状     こて塗り       ・の型状     ゆず肌状     吹付け       ・アたん状     凹凸状     こて塗り		10 鋼製建具	空錠   握り玉: ステンレス   取付位置
ゆず肌状     さざ波状     ローラ・塗り       防水形外装薄塗材 E     ゆず肌状     さざ波状     ローラ・塗り       (増塗材)     凹凸状     吹付け       外装薄塗材 S     砂壁状     吹付け       厚付け仕上塗材     (JIS A 6909)     (表4.5.1)       種類(呼び名)     仕上げ     工法     備考       外装厚塗材 C     吹放し     凸部処理     吹付け	改修       (3) 改修工法       既存建具を新規建具に改修する場合         水がせ工法(カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法( はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による	鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による  11 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの気密性 適用する(A - 3) 適用しない	丁番 ステンノス( 黄銅 )  ビボットヒンジ
( 上塗材 )     でき起こし かき落とし かき落とし か装厚塗材Si 吹放し 凸部処理 吹付け 外装厚塗材E 平たん状 凹凸状 こて塗り (上塗材 )       ( 上塗材 )     で放し 口一ラ-塗り (表4.5.1)       種類(呼び名)     仕上げ 工法 備考	4 防火戸 (5.1.4)       図示による         防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動連動させる (建具表による)         す動させない         5 見本の製作等 (5.1.5)       建具見本の製作 行う (建具番号)         特殊な建具の仮組 行う (建具番号)	(5.2.2) 防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級	P-Δ部:鋼(焼付け塗装) 閉鎖順位調整器 ステンレス、( 鋼 ) 押棒・押板 ( ステンレス、黄銅 , 合成樹脂 ) 取付位置 ( ) 上げ落し
複層塗材 C E	(5.1.6) イオルな建築の版記 17 9 (建築電号 7 ) ブラインドボックス等の再使用 (	2 ステンレス製建具	引戸     (表5.8.1)       金物の種類見え掛り部の材質 その他       引戸用錠       クレセント     建具製作所の仕様による。       引手類     大製建具の場合:ステンレス       水製建具の場合:ステンレス       水製建具の場合:ステンレス       木製建具の場合:ステンレス
防水形複層塗材 R E ゆず肌状 ローラ・塗り 参考メーカー: エスケー化研(株)、菊水化学工業(株)、日本ペイント(株) 可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) 種 類(呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 可とう形改修塗材 E 可とう形改修塗材 R E 可とう形改修塗材 C E ゆず肌状 吹付け	7 アルミニウム製建具の性能等級     (表5.2.1)       建具 (5.2.2)     (5.2.5)       で(5.2.5)     大部に面するアルミニウム製建具の性能等級     B種       大部に面するアルミニウム製建具の性能等級     C種       耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6     S - 6       気密性 A - 3     A - 4       水密性 W - 4     W - 5       枠見込み(mm)     図示       7 0 1 0 0     図示	(5.4.2) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) (5.6.2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3 ) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2 ) ステンレス網板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差	戸車 (上吊りの場合を除く)     ( 黄銅)       レール (上吊りの場合を除く) ( アルミニウム合金 黄銅 )     黄銅は木製建具用のみ (表5.8.1)       窓     (表5.8.1)       金物の種類見え掛り部の材質。その他
防火材料の指定 なし ○ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: 製造所:) 行わない 仕上塗材の耐候性 耐候形3種 耐候形1種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系	表面処理	製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ H L 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	クレセント・調整器 ・ヒンジ等  金属製建具用丁番 表 5.8.2による 樹脂製建具用丁番 表 5.8.3による  「お 自動ト・7開閉装置 を動装置及び検出装置の性能
(4.5.4) (4.5.5)   (4.5.5)   (4.5.4) (4.5.5)   (4.5.4) (4.5.5)   (4.5.4) (4.5.5)   (4.5.4) (4.5.5)   (4.5.5)   (4.5.5)   (4.5.5)   (4.5.6)   (	防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級		(5.9.2)
備考			検討年月日   図面番号   図面番号

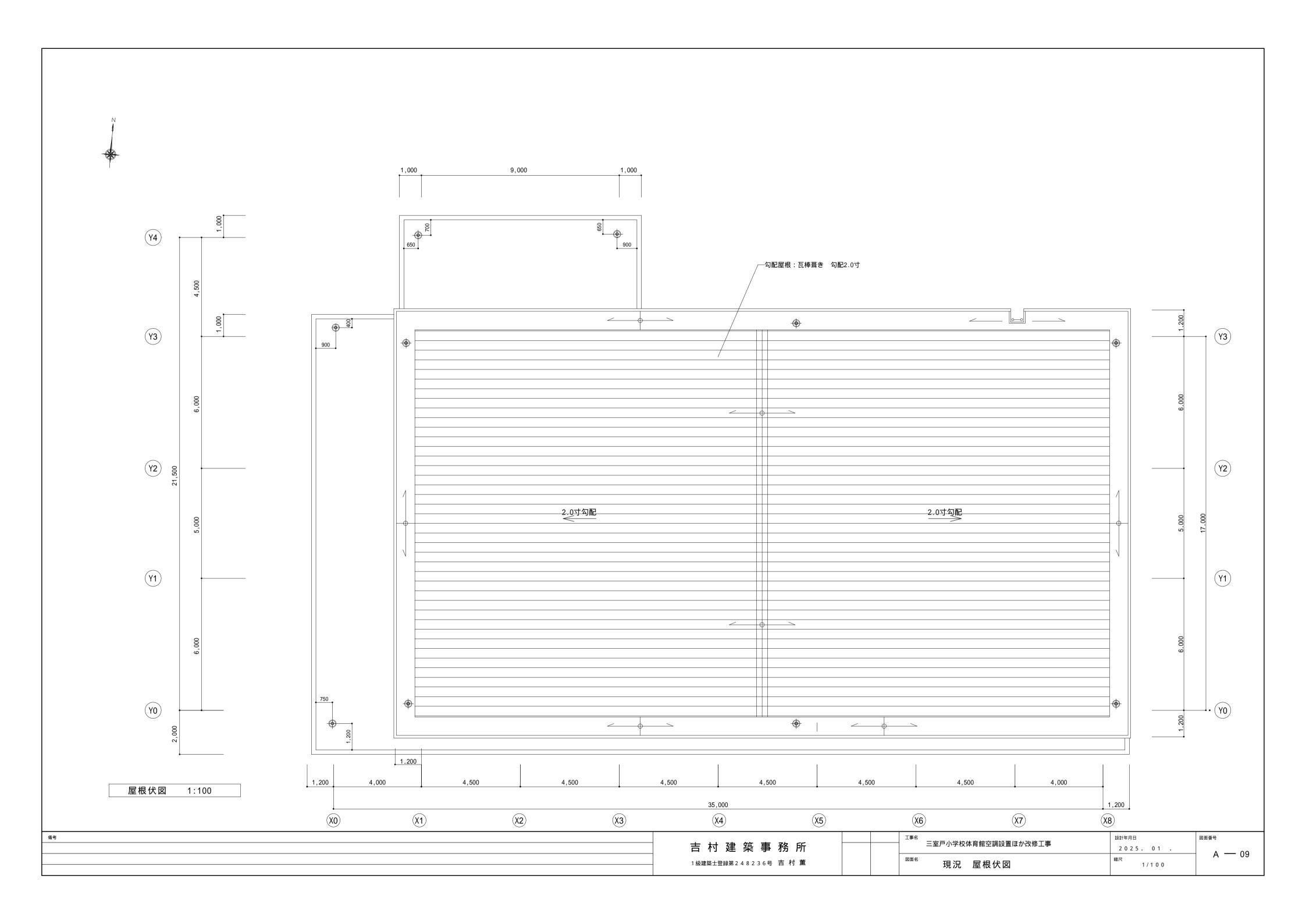
章 項 目	特 記 事 項	項 目	特	記事	項	章	項目	特	記	事	項	章 項	目	特	記	事	頂	į
5	引き戸用検出装置性能値 <u>改修標仕表5.9.3による</u> 放射無線周波数 電磁界耐性 耐電圧 防 錆 防 滴 電 源	20 ガラス留め材 (5.14.2)	建 具 の 種 類       アルミニウム製       樹脂製       鋼製・鋼製軽量・ステンレ       木製			6	対策	木材、木れんが、ピニル床シート タイル、断熱材の接着に使F 接着剤のホルムアルデヒドが F	用する	-^゚ット、合成樹脂塗床、	フローリング、ボード類。	6	ß	マイレージCO2計算書	、ウッドマイレージC02京ホ 髻)(注1)を提出 <sup>・</sup> 場合には、京都の木	府産木材とする。 都の木認証書(京都府 する事を原則とする。 証明書(京都府産材	当該認証を受	でけた木材 (
建 具 改修 工 事	戸の開閉方式       建具表による         引き戸検出装置の種類       表 5.9.4 (	≥ 21 ガラスブロック (5.14.5)	防音仕様、断熱仕様及で 寸 法 (mm) 厚 さ × 図が 品質規格はJIS A5212 に 建築基準法に基づき定ま	クリア	よる。	内装改修工事	(6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4) ② 他の部分との 取り合い等 (6.1.3)	木材塗料、フローリング材、 F	の取り合う天井、壁、	、床の改修範囲 :げを行う。	ヒド放散量	内装改修工事		一般財団法人京 TEL: 075-802-29 注1)認証書 注2)証明書は集 でなければ 詳細は上記法人の 工事完成までに、	都府木材組合連合会 991 製材助、流通業者の ば発行されない。 のホームページを参 、京都府産木材の産	全てが取扱事業体又に ・照すること。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は認証機関登釒	
(5.10.3)	手動閉じ力(N)     15以下     20以下       性能等		壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 寸法・形状 シーリング 化粧目地モルタルの色 金属製化粧カパー	SUS304 径5.5mmのはしご形状複筋	及び単筋 SR-1 PS-1			天井内の既存壁の撤去に伴 壁面より両側600mm和 図示による 範囲( 天井の撤去に伴う取合部の	程度とし、既存仕上I ) 仕上け	ブに準じた仕上げを行	う。		,	(発行機関:(一 「集成材の日本農林規札 ○ 造作用集成材	社)京都府木材組合		法見付	
(5.11.2) ~ (5.11.4)	外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける ) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける ) 屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける ) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける		目地幅の寸法 平積みの場合 曲面積みの場合 伸縮調整目地の位置	8mm以上、15mm以下 外側15mm以下、内側6n (曲率半径はガラスプロックの 6m以下ごとに幅10~25mmの	mm以上     幅寸法の10倍以上) 		③ 既存床の撤去等	既存のまま 図示による 範囲( 種別 ビニル床シート等	) 仕上け 工 法 法	が ( 施 工 図示による	) 箇 所			「集成材の日本農林規札	樹種 寸法			材面の品質
	設置箇所       図示による         スラット及びシャッターケース用鋼板         材質       めっきの付着量         JIS G 3302       Z12又はF12を満足するもの         JIS G 3312       Z12又はF12を満足するもの	(5.7.2)	建具材の加工、組立時の含2 代用樹種の適用 接着剤のホルムアルデヒド)	可	B種 不可 ————		(6.2.2)	合成樹脂塗床材	機械的除去工法目荒し工法	図示による				化粧ばり造作用		寸法 化粧薄板厚 見	15%	含水率 以下 含水率 15%以下
	開閉方式     電動式(手動併用)     手動式       電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所     図示による       耐風圧強度     Pa       スラット     材質     めっきの付着量     形状       JIS G 3312     Z06又はF06を満足するもの     インターロッキング形       JIS G 3322     AZ90を満足するもの     オーバーラッピング形		フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒ 表面材の合板の種類 合板の種類 普通合板	こド放散量等 改修標 規格 表面の樹脂				ビニル床タイル ニードルパンチ カーペット コンクリート又はモルタルロシ樹脂モルタルは、4章外型		るポリマーセメントモ	ルタル及びエポキ		J	AS 0701(単板積層材) 造作用単板積 使用箇所 品	層材	板積層材 表面の品 表面化粧加工なし 1等 2等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工	3 等	防虫処理 適用する 適用しない
18 オーバーヘッド ドア (5.13.2) ~(5.13.4)	耐風圧性能Pa		天然木化粧合板 特殊加工化粧合板 MDF 表面板の厚さ 引き戸の召合せかまちの	プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度(1種	2種 ) 2種 ) (表5.7.6) 適用しない 適用する		(6.3.2) (5) 木下地等 (6.5.1)	(塗り厚25mmを超える場 	るモルタル塗り 場合の補修 行う 	)による B種(20%以下) B種(18%以下)			J	AS 0701(単板積層材) 造作用単板積 使用箇所 寸 JAS 3079(直: 施工箇所 品名	層材 方法 表面化粧加 表面化粧加 天然木化	表面の品質 コエなし コエあり ※粧加工 塗装加工	含水率 14%以下	適用する適用しない
19 ガラス (5.14.2) ~(5.14.4)	材料     種 別 種類等     種 別 種類等       70-ト板がラス     強化ガラス       型板ガラス     熱線吸収板がラス       網入板ガラス     複層ガラス       線入板ガラス     熱線反射がラス       合わせガラス     倍強度ガラス		かまち戸 かまち樹種( 見込み寸法 ふすま 張りの種別 上張り(押入等の裏側以 見込み寸法 戸ぶすま 表面板の仕上 見込み寸法	36mm 型	() 型 新鳥の子又はピニル紙程度 			JAS 1083 (製材)に基づく 下地用製材 使用箇所 樹 種 壁、天井 杉、松 造作用製材 使用箇所 樹 種 額縁、巾木 米つが	寸 法 等級 1 級 2 級 寸 法 等級 無節	含水率 保存好			É			名 接着程度 A ニヤ 1類 広 2類	葉樹	その他処理 防虫処理 難燃処理 防炎処理
	ガラス溝の大きさ       (図5.14.1)         種別       面クリアランス       エッジクリアランス       掛り代         アルミニウム建具       建具製造所の 仕様による       建具製造所の 仕様による       仕様による         ステンレス建具        ・		紙張り障子 見込み寸法 種類 m	30mm				広葉樹製材 使用箇所 樹 種  JAS 1083 (製材)以 使用箇所 樹 種	特等 1等 2等 外の製材 重 寸 法 材面	10%以下	長12.2.2)			「合板の日本農林規 使用箇所 品名 量床下 地材、刀ー リカ・張 リア・地材 「合板の日本農林規 使用箇所	等級 厚さ 樹和	重名 接着程度 板面 の品質 1類 C-C 以上 特類 以上 1 単板の樹種名 単板の樹種名 4 年 6 板 4 年 6 板	0	防虫処理強度等級
														「合板の日本農林規 使用箇所 品目	単板の樹種部 単板の樹種部	工化粧合板 程度 単板の樹種 2類	1類 2類 名 化粧加工 の方法	防虫処理
<b>\$</b>						-		建築事務			図面名	□小学校体育館3 				年月日 0 2 5 . 1 . —————————————————————————————————		<sup>面番号</sup> A —— 0

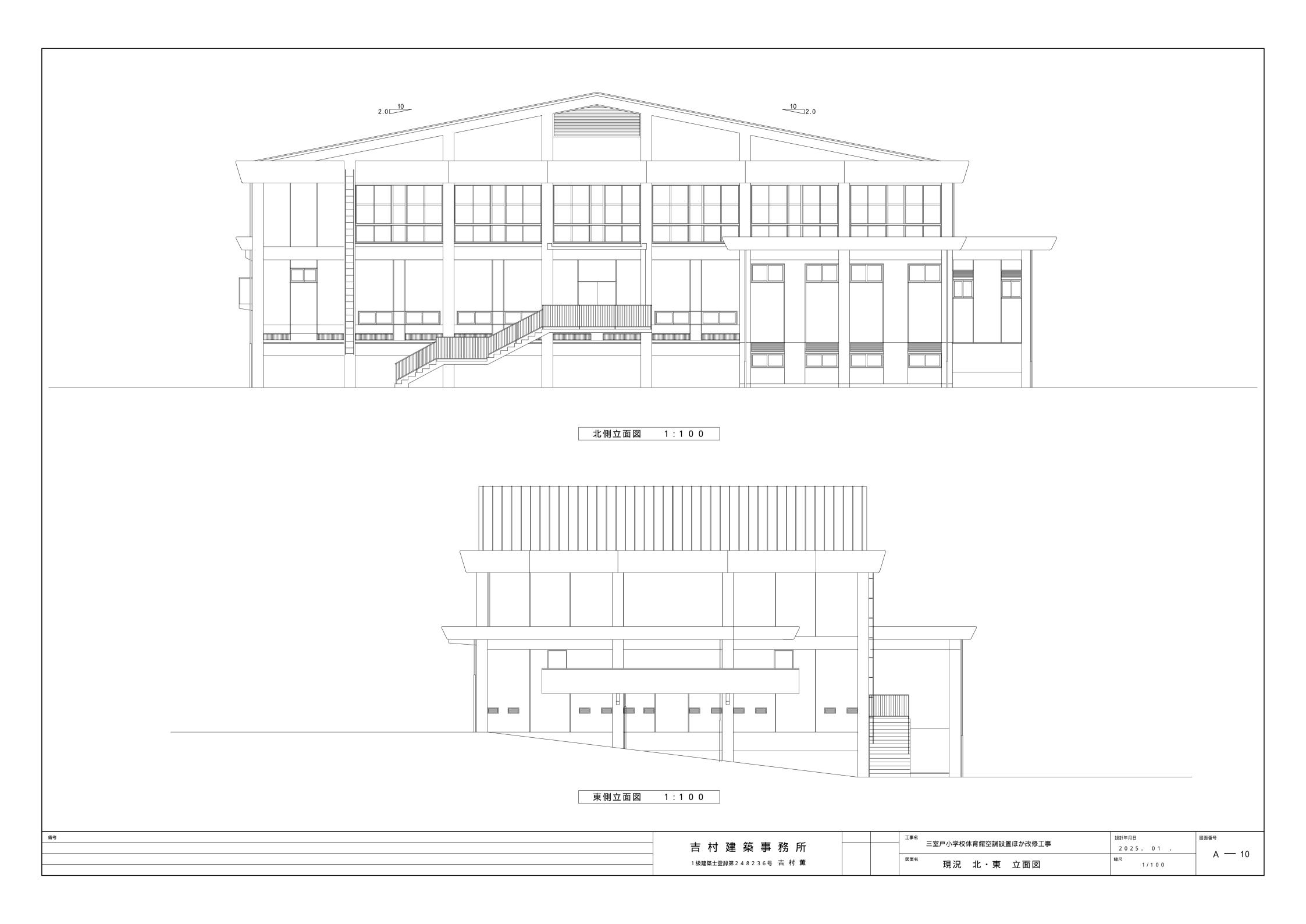
	パーティクルボード     厚さ     各種区分       15mm      13 Pタイプ又は13 Mタイプ	ビニル床タイル       区分     種     類     記号     厚さ(mm)     色     柄     寸 法     施工箇所       接着     コンボ・ジ・ション化・ニル床タイル     K T     2.0     放送室前廊下	11 フローリング張り (6.11.2) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F (6.14.2) (6.14.3) 防火性能・種類・規格・施 (6.14.3) (6.14.3) (6.14.3)	<u>図示による 下表による</u>   防火性能   品質・規格
		形   単層ビニル床タイル   T T   2.0   300×300	単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.6) 6 種 類 樹 種 厚さ(mm) 大きさ エ 法 備 考 70-リング なら 釘留め工法	
	JAS 0360 に基づく構造用パネル       使用箇所     等級     厚さ	内     複層ビニル床タイル     F T     2.0     柄物       は     2.5	* - ド1 等 15 表6.11.1 根太張り工法 内 素地ごしらえ モルタル及で	
	MD F	表 改 体 (A)		ト面 A種 B種 (表7 ード面及びその他のポード面 A種 B種 (表7
	MDF     使用箇所     厚さ     表裏面の状態     曲げ強さ     接着剤     雑燃性に       による区分     による区分     による区分     よる区分	T	7 ロック 1 等 15	! 塩化ビニル製
		帯電防止床シート 帯電防止タイル	複合フローリング	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	種類性能厚さ(mm) 体積抵抗値 1.0×10 <sup>9</sup> 以下	種類     類 樹種 厚さ(mm)     工法 種 別 備 考     1 × 6 タイプ 8     3 野留め工法 (6.15.2)     5 既調合材料 (6.15.6)       フローリング なら 15 根太張り工法 A種     4 根太張り工法 A種     16 モルタル塗り (6.15.2)     5 既調合材料 (6.15.6)	
	造作材化粧面の釘打ち	視覚障害者用床タイル	ポードタイプ B種 設ける (形状_	
	諸金物の形状、寸法及び材質	イス	直張り工法 直張り工法 目地の種類 押目	]地
	かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の 市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、 表8.20.1[鉄鋼の亜鉛めっきの種別]のF種程度の亜鉛めっきを施したもの	レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はせっ器質タイル		程度程度
	防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位	耐動荷重性床シート 種 類 厚 さ (mm) 備 考	接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート 17 タイル張り (6.16.2) 伸縮調整目地等 床面 (6.16.2)	縦・横とも 4 m以内ごと 図示による
	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理   適用部材   保存処理性能区分		仕上げ塗装     ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形)B種     ~(6.16.4)     タイルの試験張り       オイルステインの上ワックス塗り     生地のままワックス塗り     タイルの見本焼	行わない 行う 行う 行う 行う でう でき かんじゅう かんしゅう かんじゅう かんしゅう かんしゅう かんじゅう かんしゅう かんじゅう かんしゅう かんじゅう かんしゅう かんしゅん かんしん かんし
	K 2 K 3 K 4 K 2 K 3 K 4	防滑性床シート   防滑性床タイル	施工後の確認及び試験	打診による確認を行う
	薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理         適用部材       処理の方法       薬剤の種類	種類寸法厚さ(mm)		力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わた
	薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品		<ul><li>衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2 )</li><li>施工箇所・形状・ 生</li></ul>	地 釉薬 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 _
	薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位		91/I/の種類   寸法(mm)	器 無釉 有り 有り 標準
	合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位	軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0	及び合板張り     合板のホルムアルデヒド放散量     改修標任6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか	器 施釉 無し 無し 特注 つ器 カスター カスター カスター カスター カスター カスター カスター カスター
	防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない	ゴム床タイル張り       色 柄 種 類 厚 さ (mm) 寸 法 (mm)	(6.13.3) 表面への化粧張り等の加工 図示による <u> </u>	
		単層品 積層品	種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1) 磁	っ器 器 無釉 有り 有り 標準 器 施釉 無し 無し 特注
6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~(6.6.4)	野縁等の種類     屋内     19型     25型     (表6.6.1)       屋外     19型     25型	9 カーペット敷き 織じゅうたん		器 施釉 無し 無し 特注 つ器
(* - ,	野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 mm	(6.9.2)     権別 織り方 パイル形状 帯電性 色柄 接合方法 施工 箇所       ~(6.9.3)     A種 B種     適用 無地 ヒートポント・工法       つづり縫い	トラバーチン模様	
	周辺部の端からの寸法      mm        mm       はずれ留め補強     有り	C種	大怒積層せっこうボード(GB-NC)   トラバーチン模様   9.5(不燃)   内装タイル   密着張り   内装タイル以外のユニッ	
	既存の埋込みインサートの使用       再利用しない       再利用する         あと施工アンカーの引抜き試験       行う(箇所以上、N/箇所 )	タフテッドカーペット       パイル形状 パ 1 1 1 1 長さ (mm)     工 法     帯電性     施 工 箇 所	シージングせっこうボード(GB-S)15(不燃)12.5(準不燃)9.5(準不燃)9.5(準不燃)マスク張り強化せっこうボード(GB-F)21(不燃)15(不燃)12.5(不燃)	モザイクタイル張り 質接着剤のホルムアルデヒド放散量
	行わない	グ リッパ - 工法 適用 全面接着工法	ロックウール吸音ボード(RW-B)     25       グラスウール吸音ボード(GW-B)     25       既調合モルタル	
	開口補強 つりポルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による	タイルカーペット       種別     パイル形状     寸法(mm)     総厚さ(mm)     施工 箇 所	吸音あなあきせっこうボード(GB-P)     9.5(準不燃)       ロックウール化粧吸音板(DR)     内部用       フラット     12(不燃)       立体模様     15(不燃)   12(不燃) 12(不燃) 12(不燃)	ンクリート素地面の処理 目荒し工法
	天井のふところの補強       (1.5m以上3m以下)       改修標仕6.6.4(8)による	イルルル	軒天用     フラット     12(不燃)     9(不燃)       18 セルフレベリング     塗厚 (mm)     10	15
	(3m超える) 図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない	タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き	立体模様   15(不燃)   12(不燃)   材塗り (6.17.2)	
	屋外の軒入弁、 にロチュ入弁寺にのける前風圧住を考慮した補強 1.1.2 1.1.4.7.4.11	階段部分 模様流し	難燃木毛セメント板     30 25 20 15       断熱木毛セメント板     30 25 20 15	
	スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類	下敷き材		の放散量 F
(31113)	スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による	普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種	RB種の場合の既存塗膜の除去範囲
		ニードルパンチカーペット 施工場所:放送室		活膜部分は残す 図示(表7.2.1)~(表
8) ビニル床シート、 ビニル床タイル	ビニル床シート       区分 種 類 記号 厚さ(mm) 色 柄 工 法 施工箇所	10 合成樹脂塗床     厚膜型塗床材       (6.10.2)     弾性ウレタン樹脂系塗床材	特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 🏂 地 素 地	種 別 備 考 R A 種
	発     単層ビニル床シート     TS       泡     複層ビニル床シート     FS     2.5     無地     熱溶接     仕上表に	(6.10.3) 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚 (mm)		不透明塗料塗りの場合はRB種 R C種
	無	エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのベエ法 ( 平滑 防滑 )	A種 B種 B種 <b>事</b>	R A 種 R B 種 R C 種
	泡	厚膜流しのベエ法 ( 平滑 防滑 ) 樹脂モルタル工法 ( 平滑 防滑 )	せっこうボードの目地処理 (表6.13.5)	RC種
		薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材	ベベルエッジ スクェアエッッジ せっこうプラスター面	R A 種     R B 種     ひび割れ部の補修       R C 種     適用する     適用しない
		塗床材料のホルムアルデヒド放散量	A L C パネル面	R A 種     R B 種     ひび割れ部の補修       R C 種     適用する     適用しない
			押出成形セメント面	R A種     R B種     ひび割れ部の補修       R C種     適用する     適用しない
			せっこうボード及び その他ボード面	R A 種 R B 種 R C 種
			T事名   T事名   E室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 図面番号
			AN JE JAN JE JAN DIT	2025. 1.

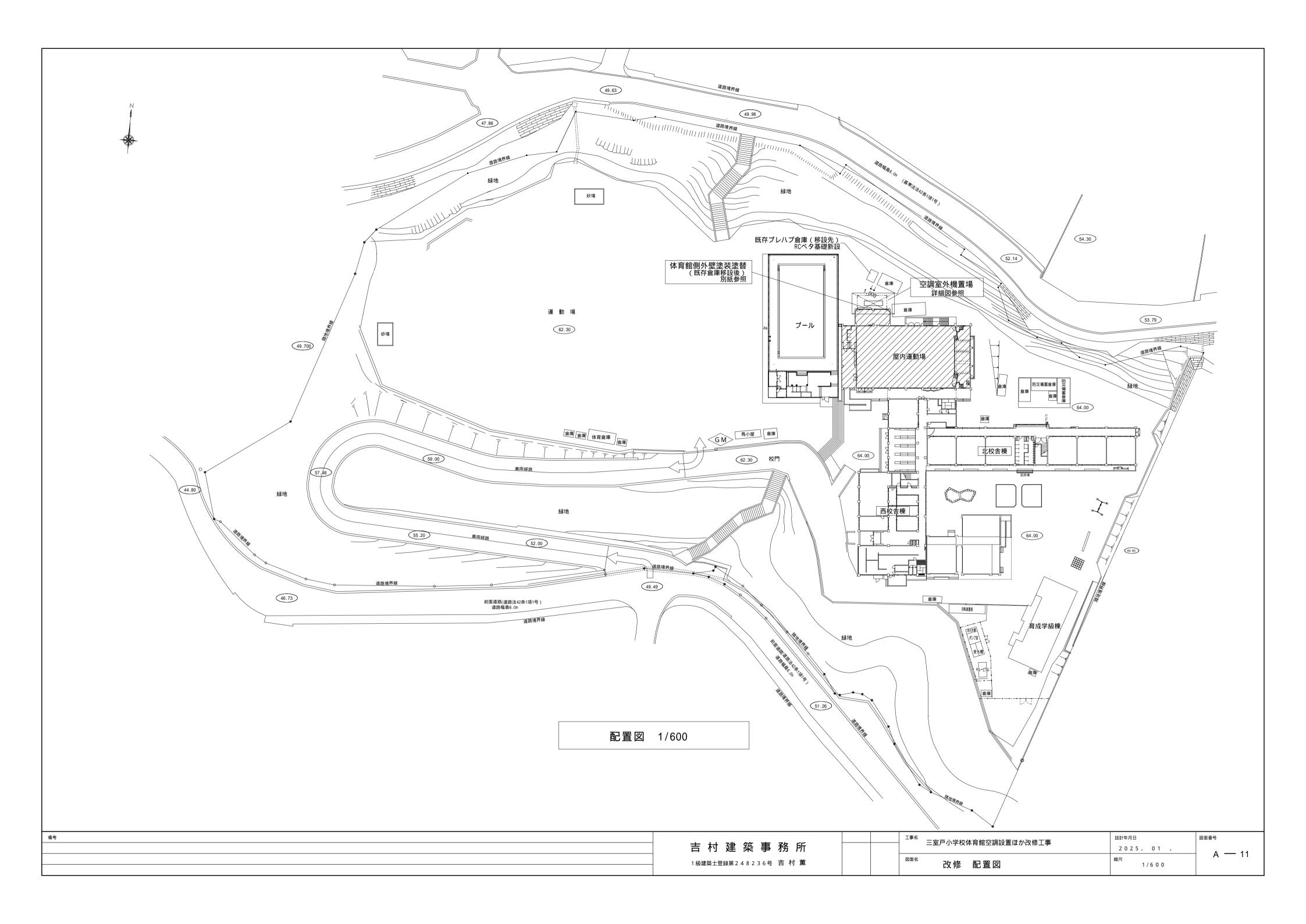


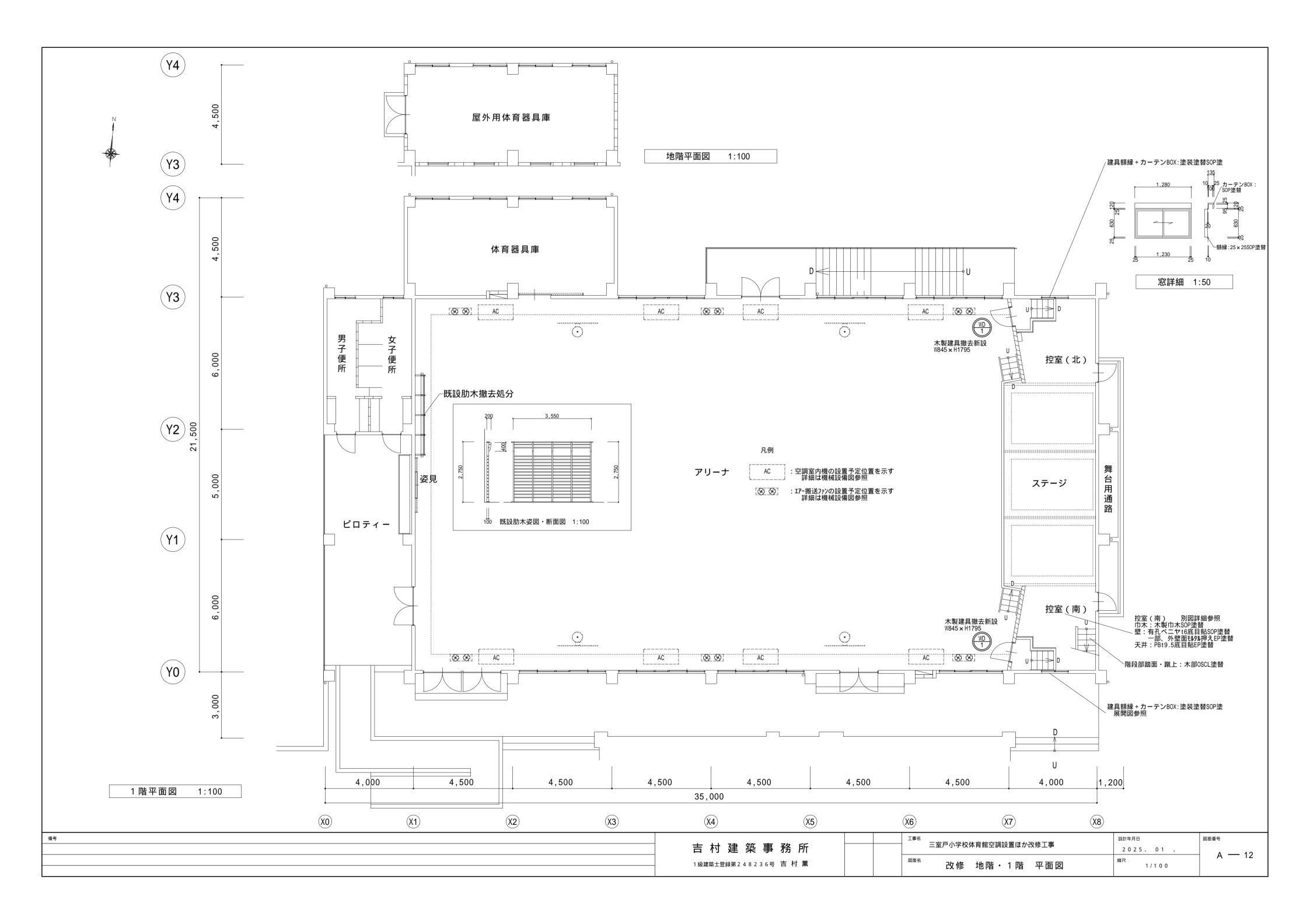


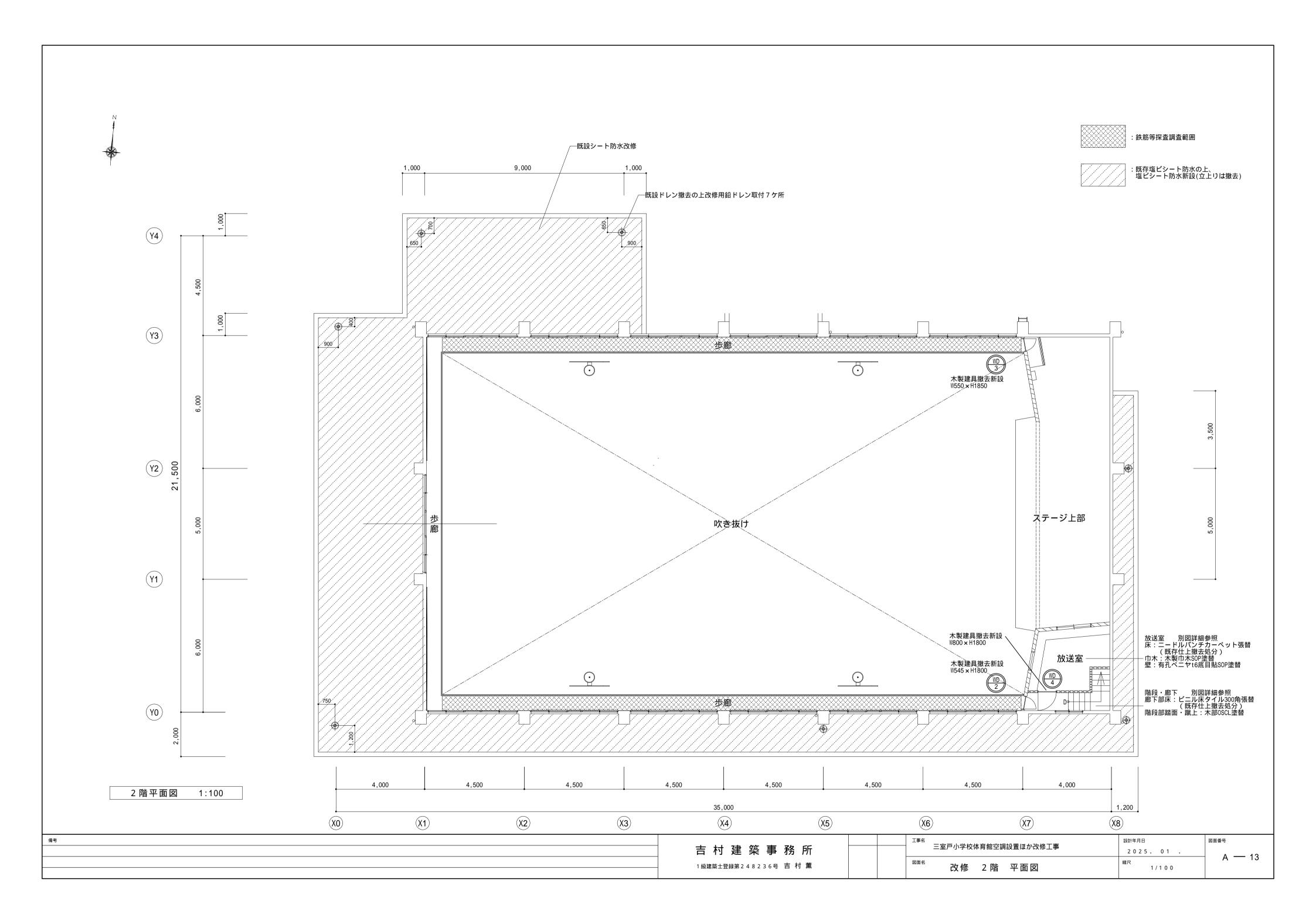


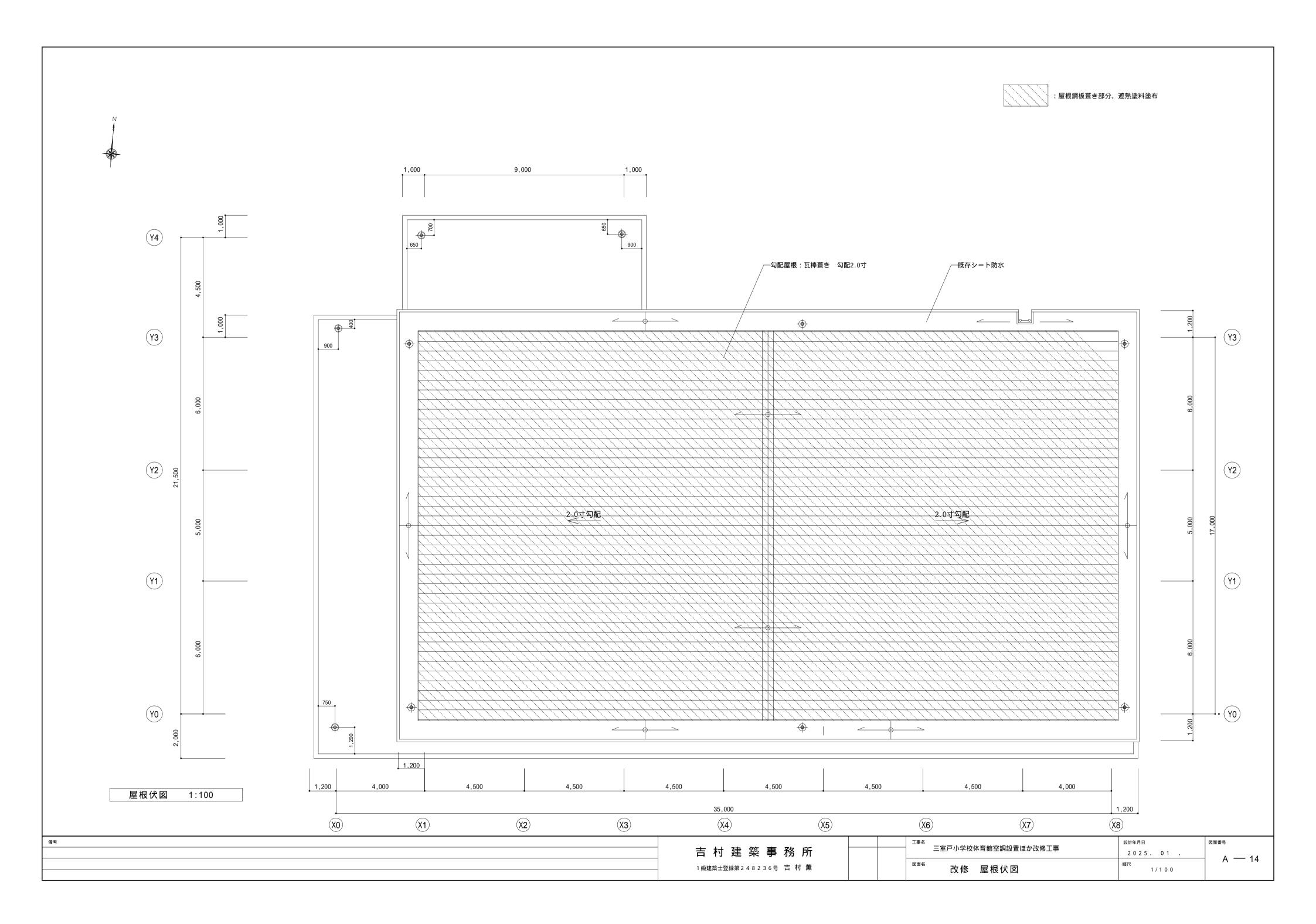


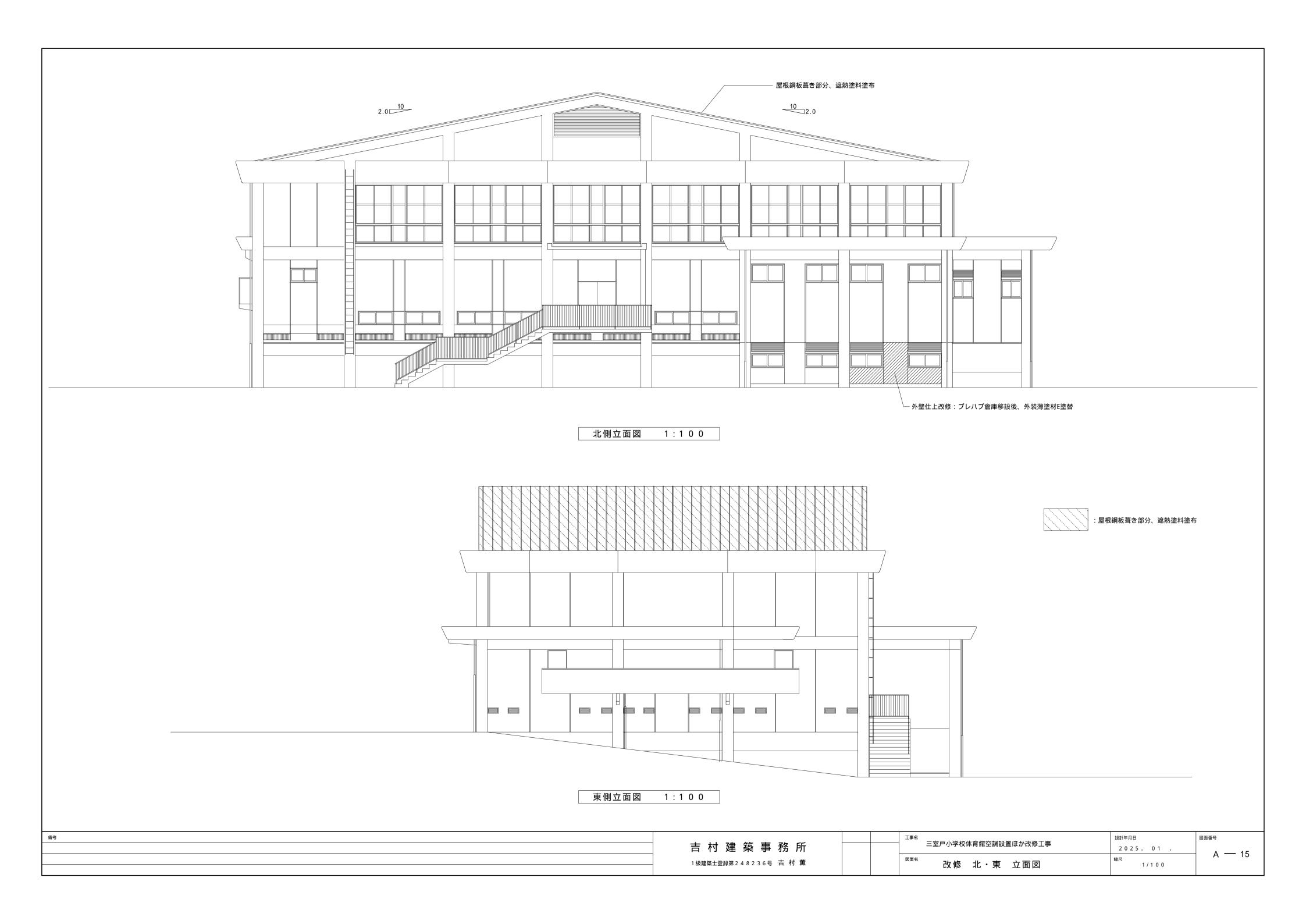


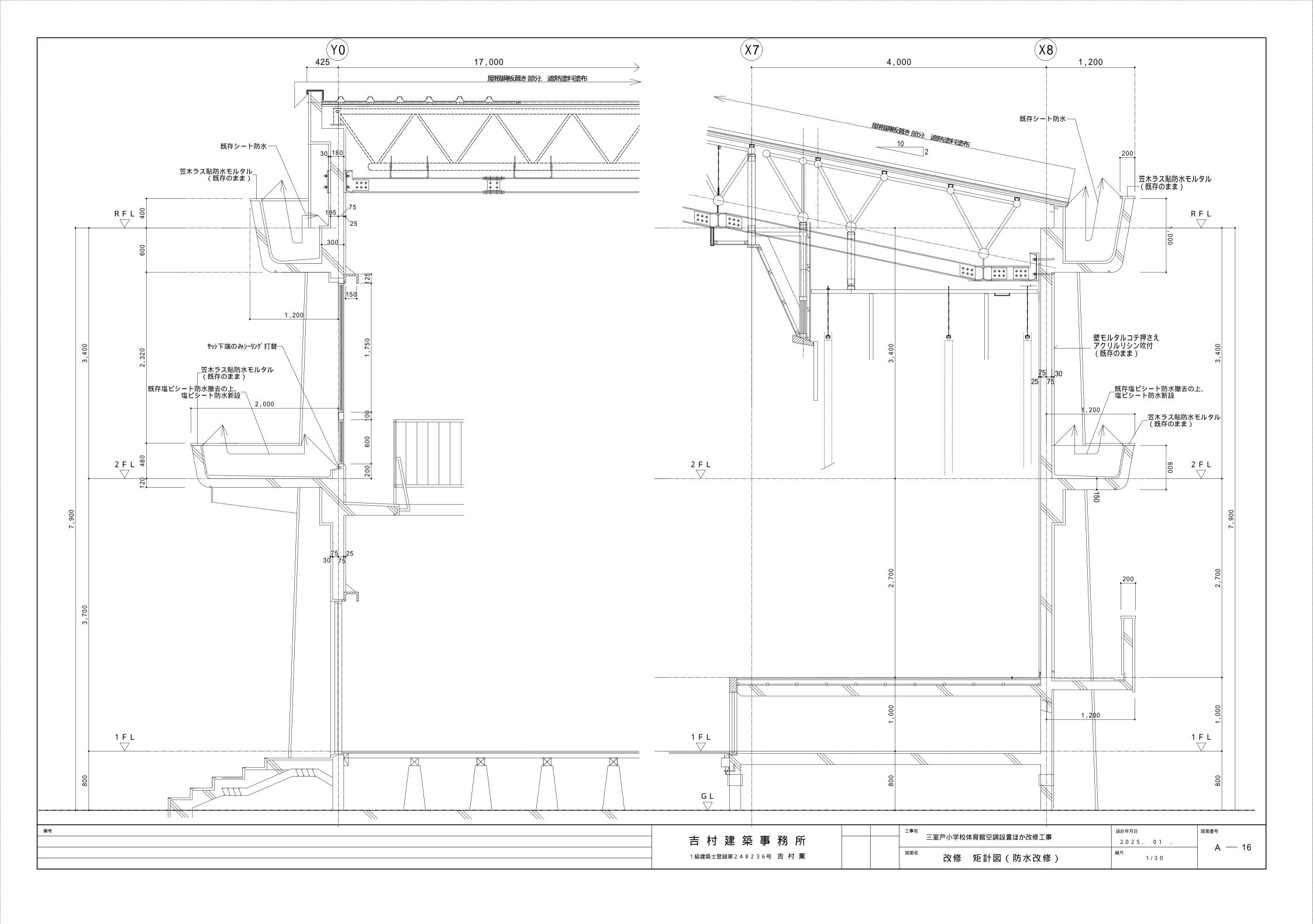


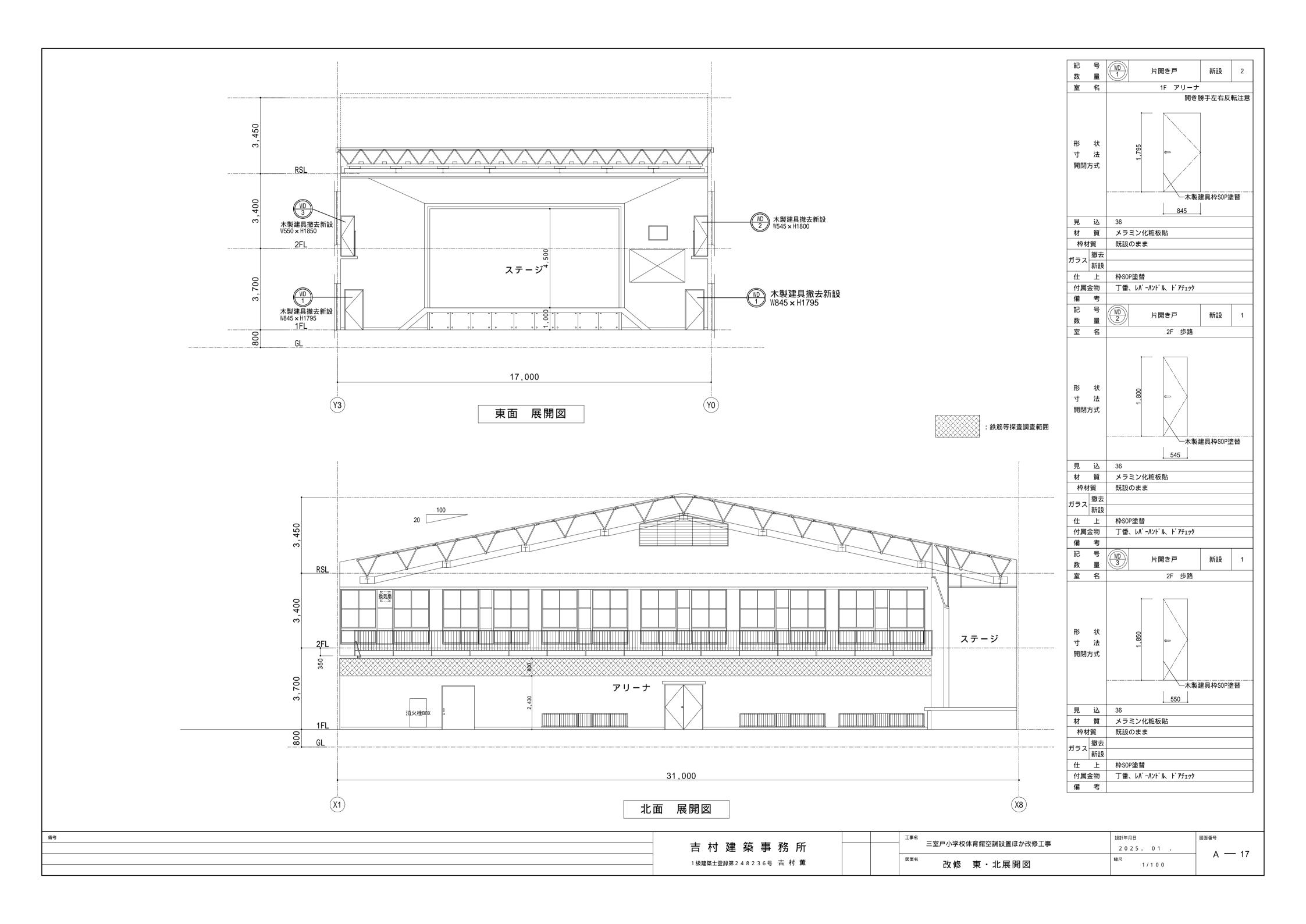


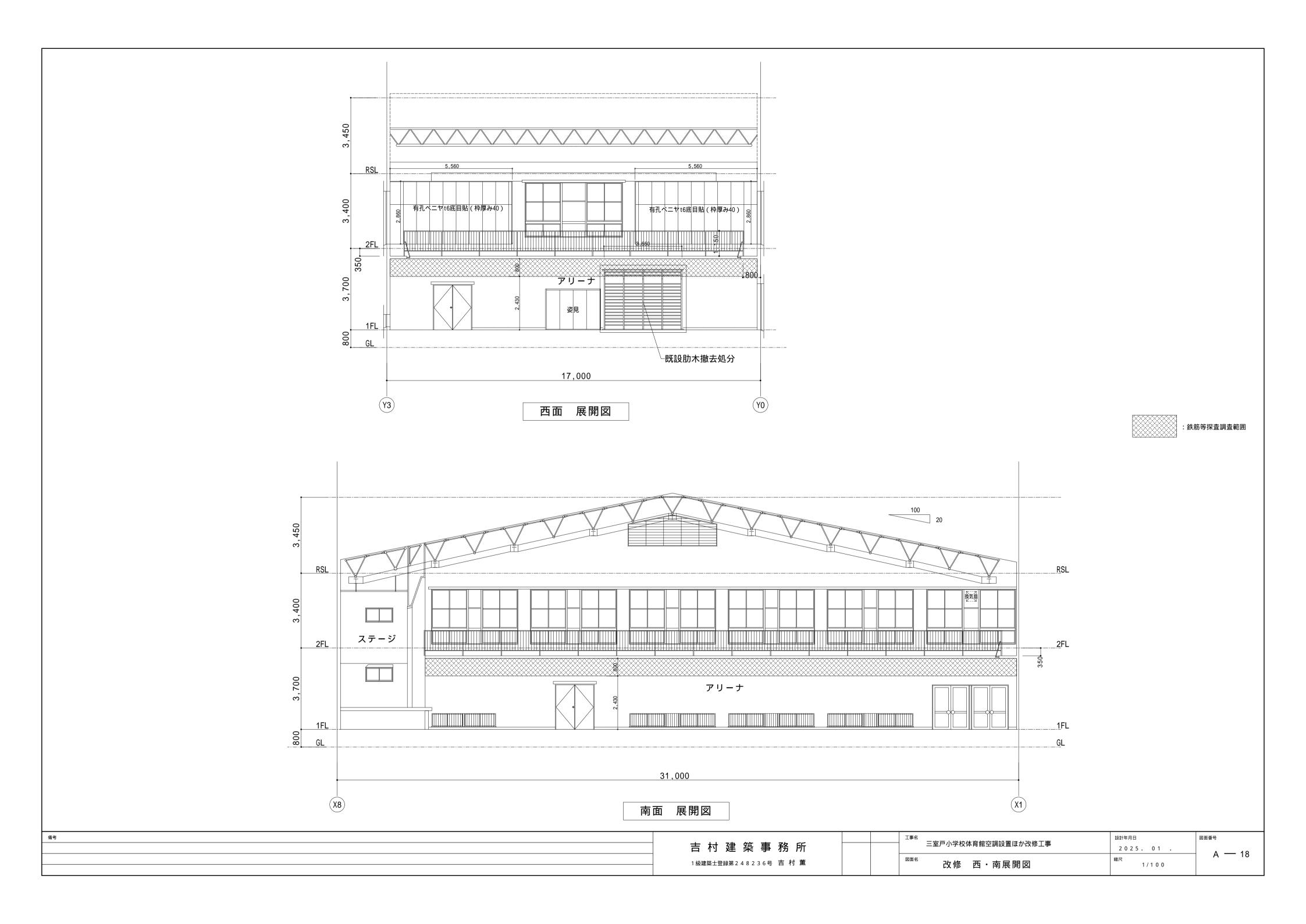


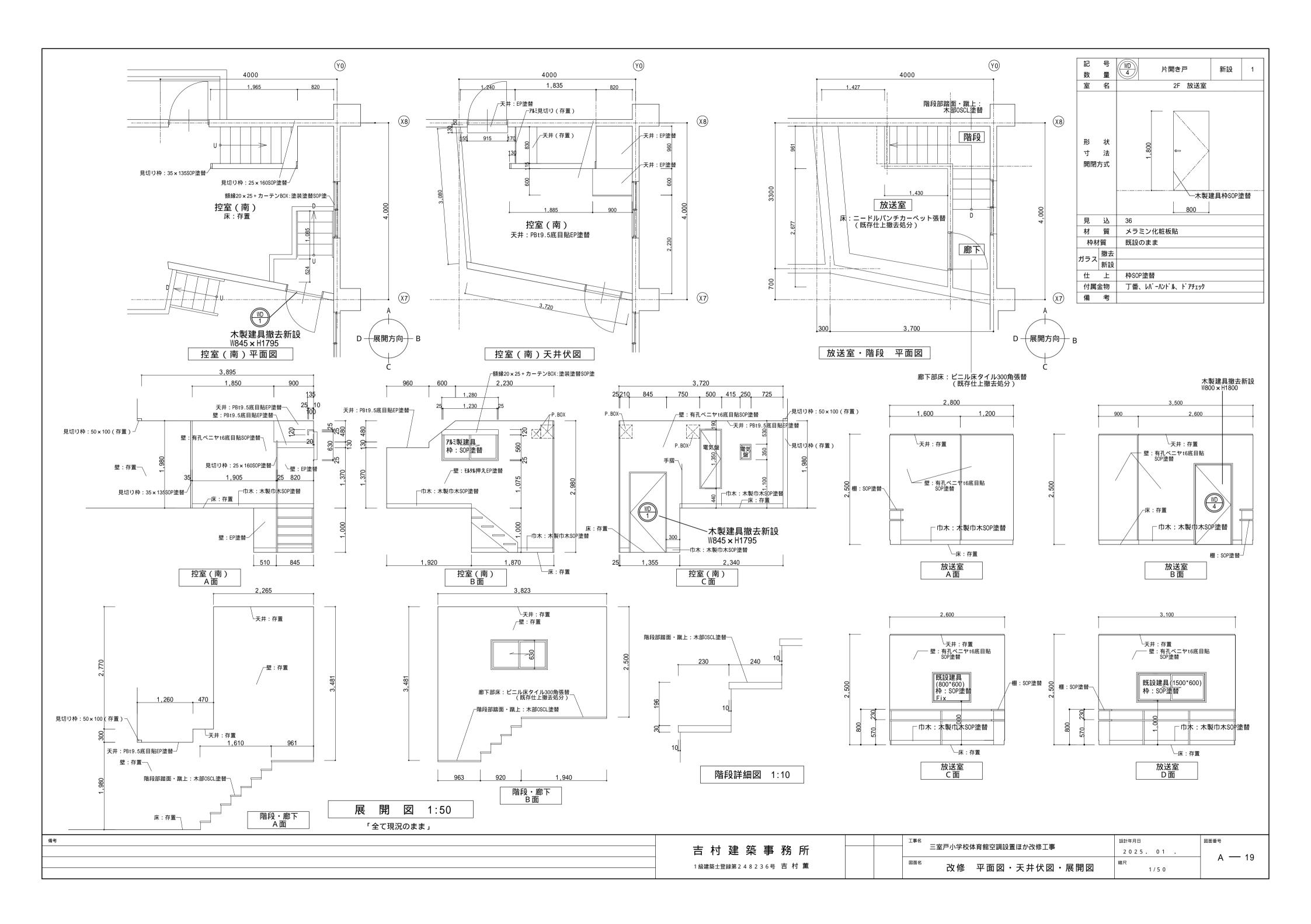


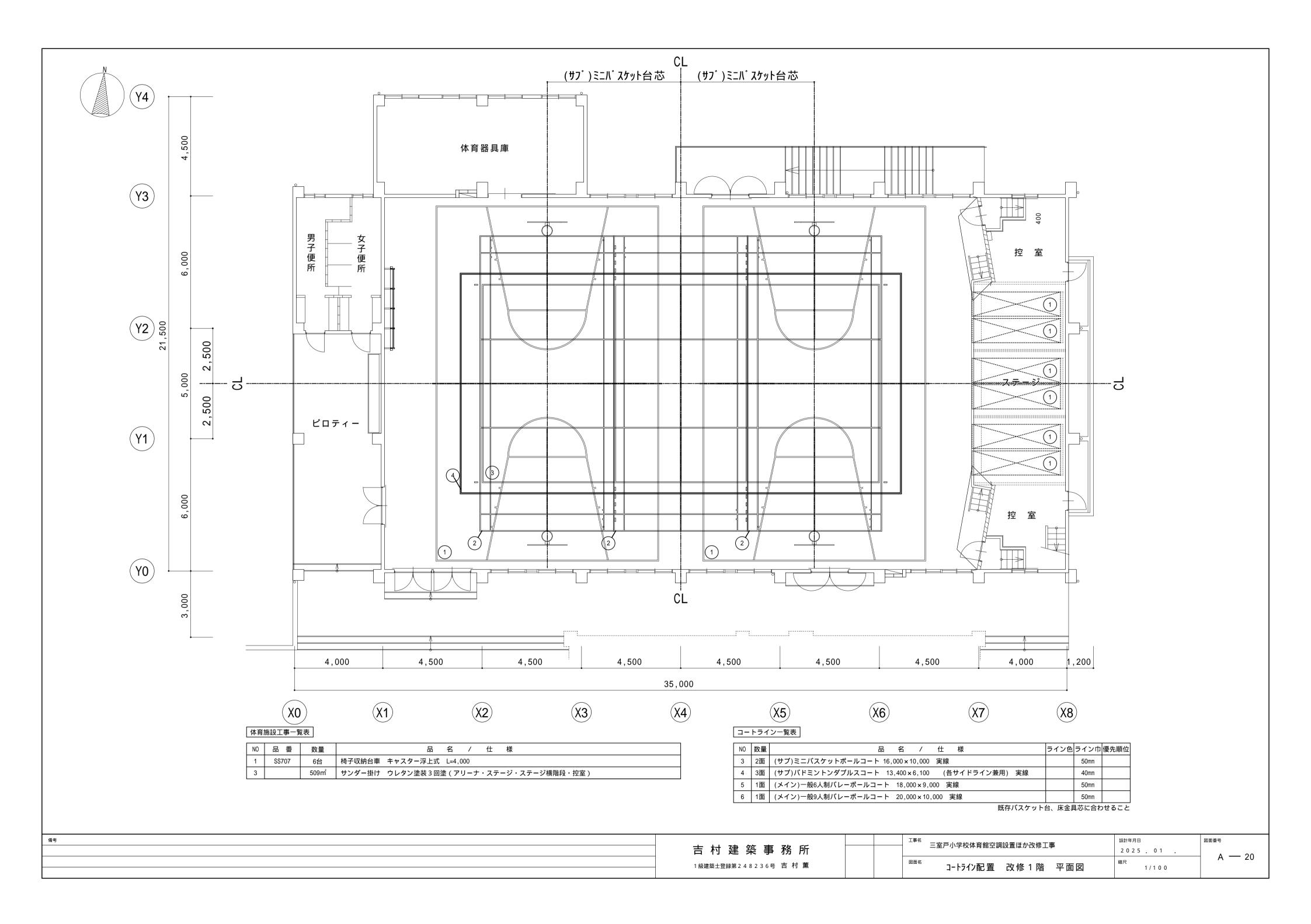


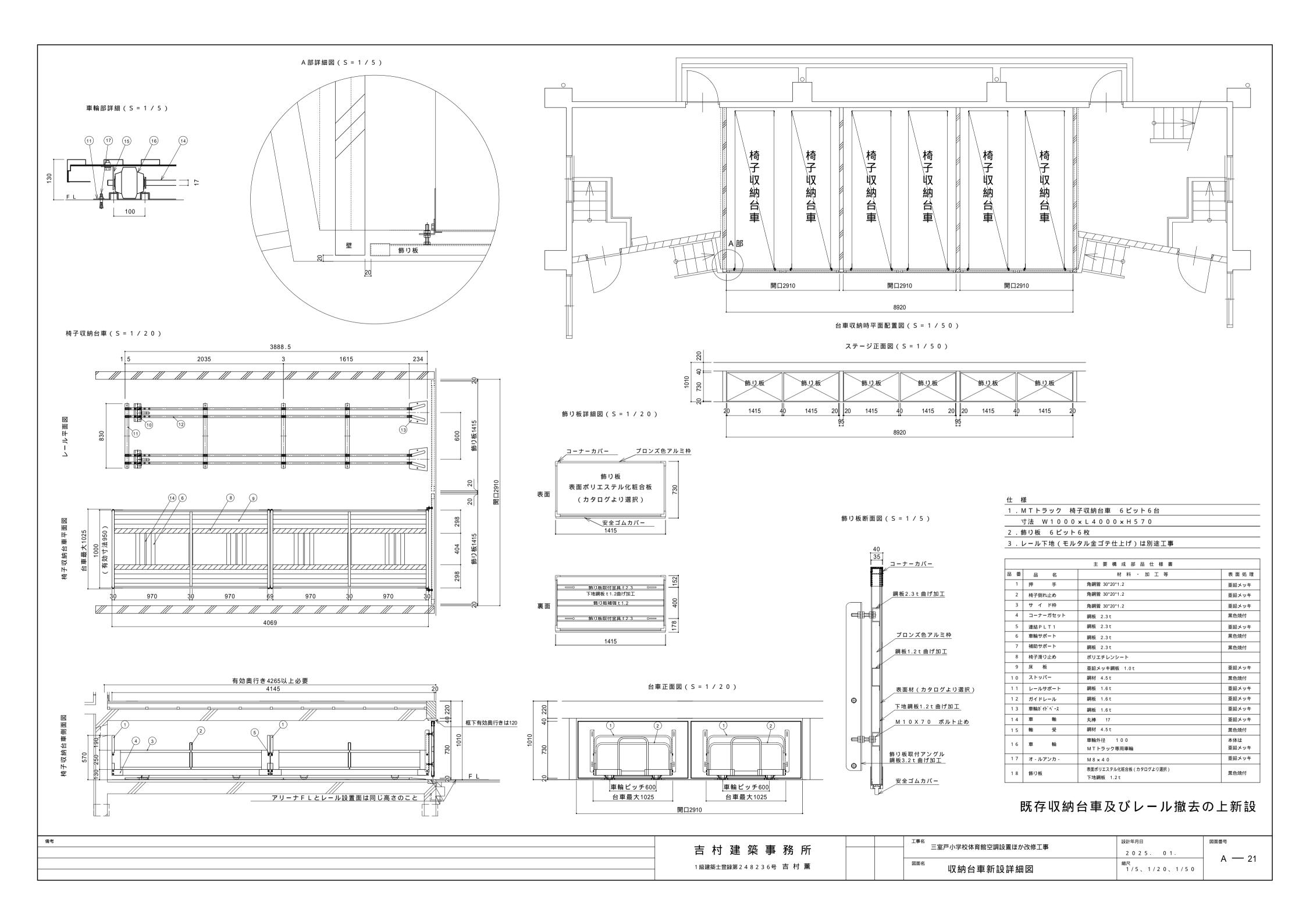


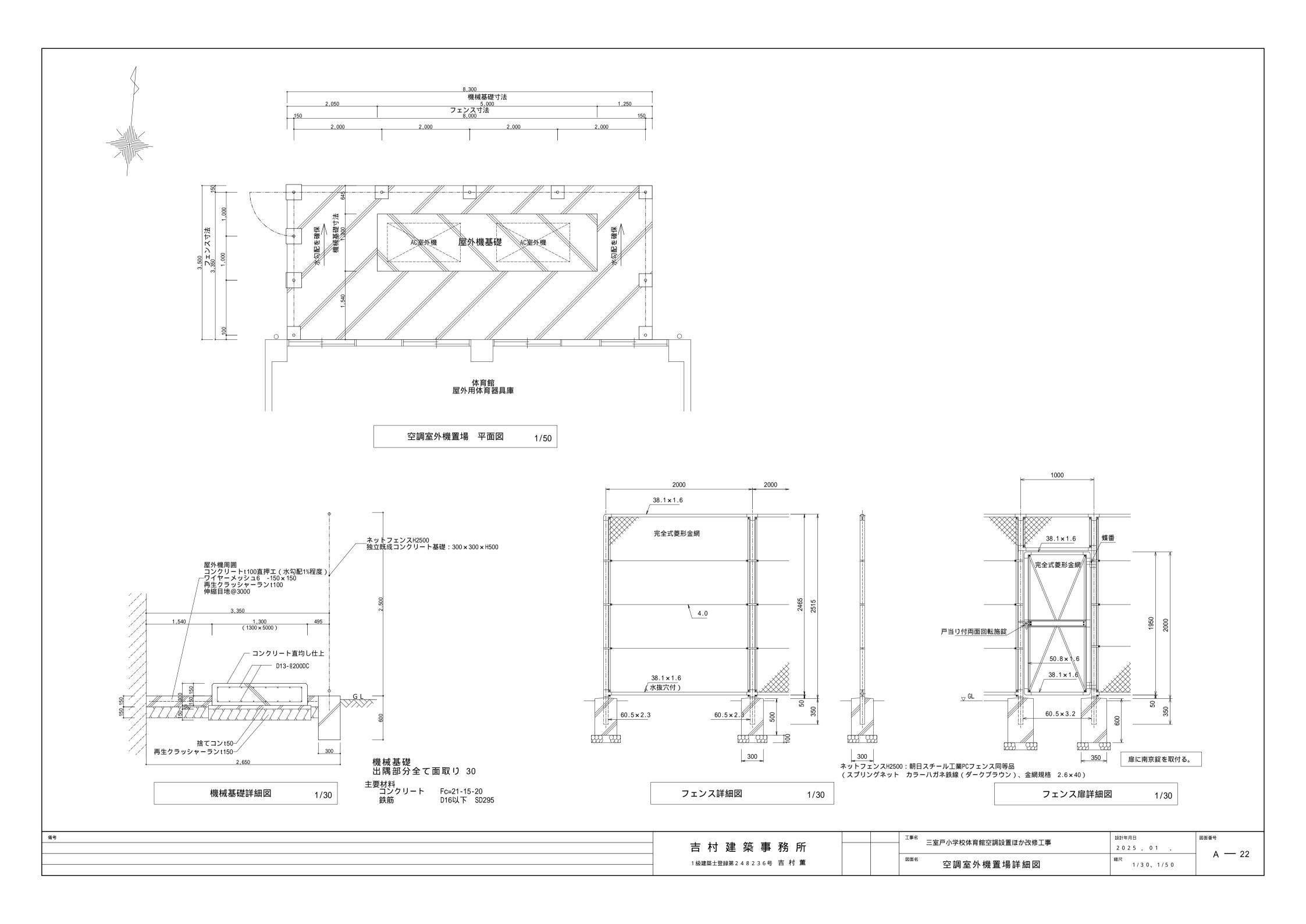


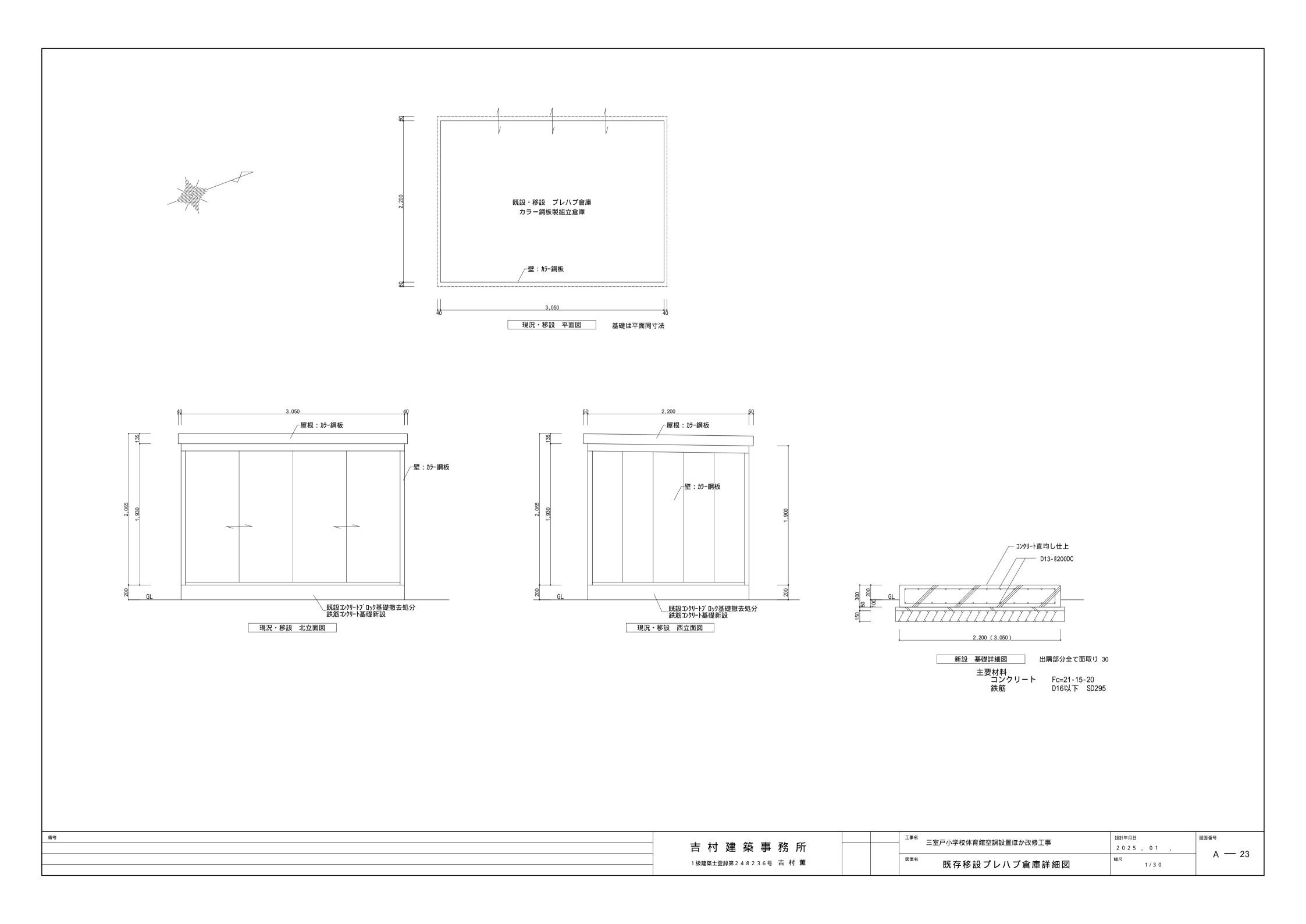


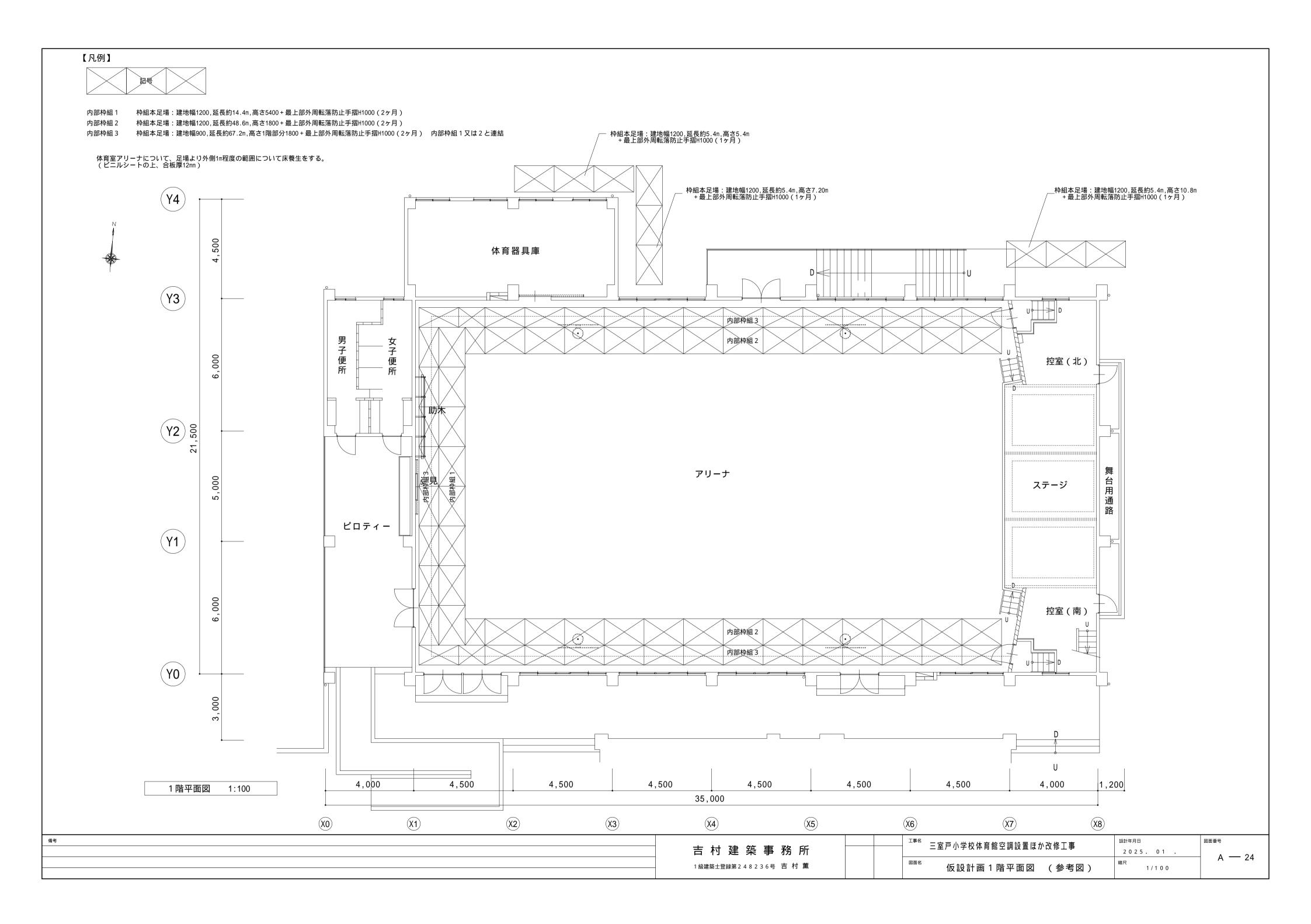


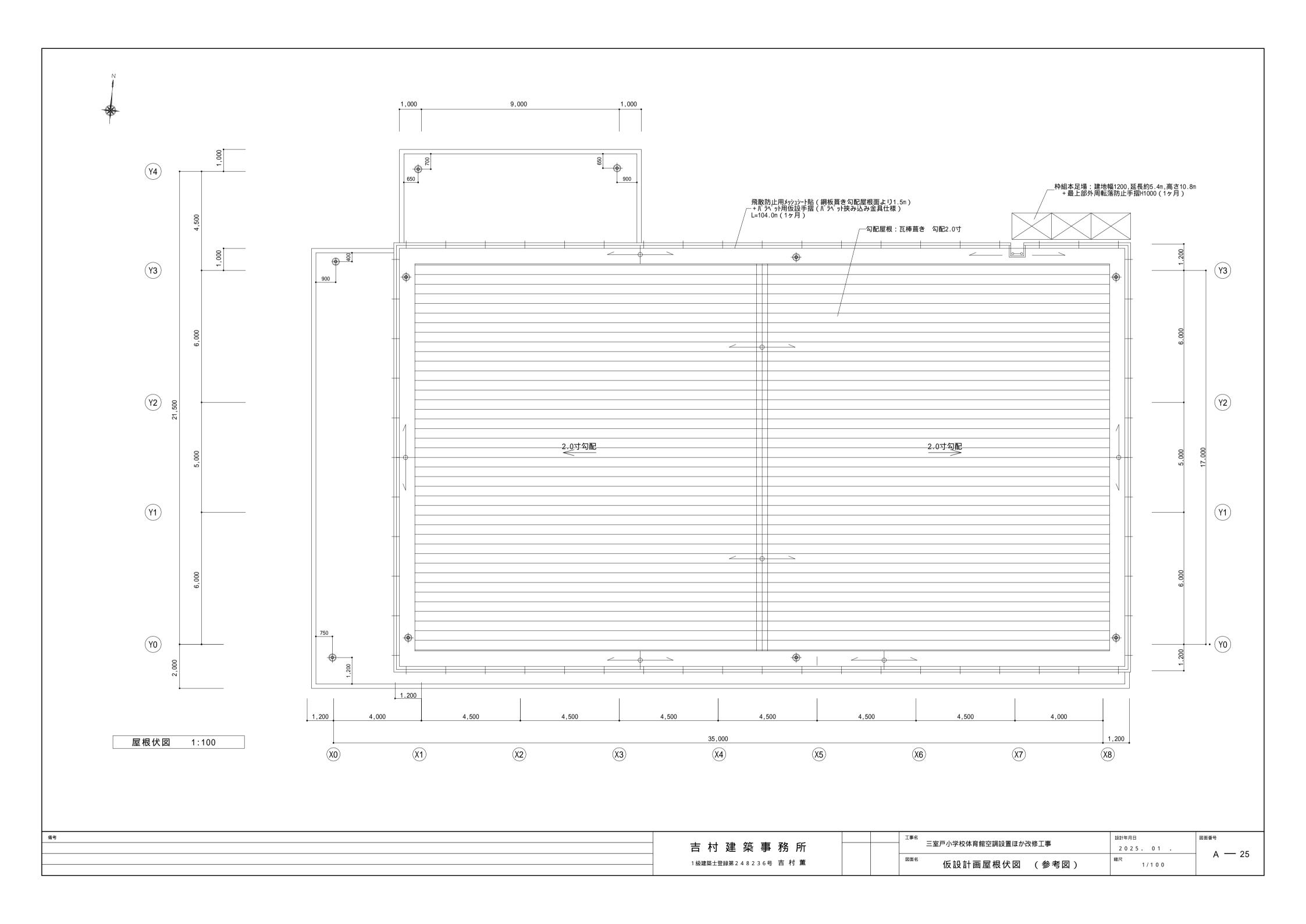


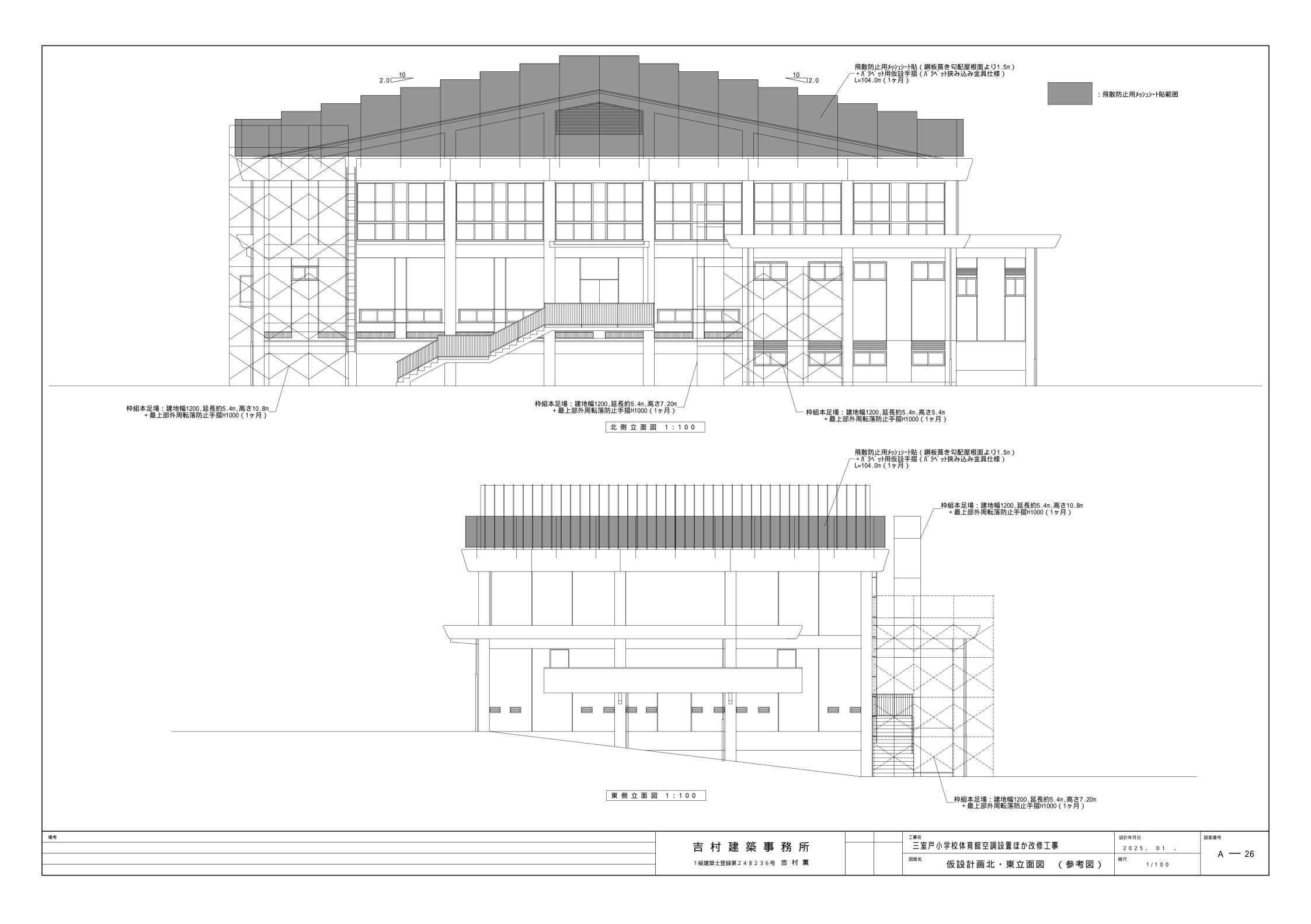












#### 電気設備工事特記仕様書-1 <u>特</u> 行う 行わない あと施工アンカー **工事**関係書類 【丁事概要】 宇治市莵道岡谷16-2 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築 履行報告 建物概要 改修工事標準仕樣書(建築工事編)(令和4年版)「8.12.7 施 数 延床面積(m2)消防法令別表第一耐震安全性の分類 備 )国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 申 乙 工事区分を記載 申 乙 例:新営 ・ 大工事完成時、整理の上、1部提出する。 確認強度 監督職員との協議による 3) 小黒板積報電子化については、現場説明書による。。 「記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 全館無人改修 機器内配線等 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 OA盤 実験盤 乙 執務並行改修 大きさ 部 数 A 4版 1 部 完成図書 称 金文字製本 3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。 キュービクル式配電盤 部 背貼り製本(版) 背貼り製本(版) 直流電源装置 体育館棟 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)) )既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッター A 4 ファイル止め 丁事科日 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め はつり 保守指導案内書(機器取説書を含む) を使用する。 重 ン復旧はモルタル補修までとする。 取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 再使用機器 受変電設備 電力貯蔵設備 原図 完成図 完成写真 アルバム綴り 電子納品については、現場説明書に 卦かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。 頂 その他 屋外の盤類・開閉器箱 屋外のプルボックス 構内情報通信網設備 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に 茎作盎等 委譲するものとする。 直流 2 線式 100 V 情報表示設備 標準仕様書によるほか、別表による。 1)設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の 2 0 0 V 直流 2 線式 1 0 0 V 拡声設備 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を 照明制御による効果の 一般社団法人日本照明器具工業会技術資料 1 3 0 「照明制御装置による消費電力削減効果の評 誘導支援設備 価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。 照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。 2 )下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う 監視カメラ設備 多重伝送制御システム 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる 駐車場管制設備 設 置 場 所 防犯・入退室管理設備 図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器 LED制御装置の種類 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1 .5 (1 .5 ) 1 .0 (1 .5 ) 1 .0 (1 .5 ) 0 .6 (1 .0 ) 1 .0 (1 .0 ) 0 .6 (1 .0 ) 0 .6 (1 .0 ) 0 .4 (0 .6 ) 具にあってはLX又はLZ、それ以外はLN又はLJとする。 中央監視制御設備 標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用 RP又はMP形照明 構内配電線罩 設 置 場 所 されている場合は、SUSを適用する。 非常田昭阳の形式 電波障害調査 上層階、屋上及び塔屋 撤去工事 <u>中間階</u> 1階及び地下階 フロアコンヤント 引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 OAフロアー用 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。 分電盤等 ) 本工事の分電盤、0 A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、 注 2 屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物 JISC8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」 JISC8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」 【特記事項】 と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 による1極サイズのものとする。 2)SPD分離器(配線用遮断機)は( 警報接点付 警報接点無)とする。 ) 内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 1)特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備 注4 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」 (以下、「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」による。 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上階2階。 3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 注6 重要機器(水槽類含む)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。 OA盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける | 開閉器を設ける( 配線用遮断器 カットアウトスイッチ) | 実施 する しない 電算用電源 白動火災報知装置 項目及び特記事項は、 印をついたものを本工事に適用する。ただし、 印のない場合は、 印を適用する。 操作卓は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものと し、卓上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。 設備機材等 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 つ工事範囲 〇配管 〇配線 〇機器取付 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 風圧力に対する性能 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Vo(30 32 34) 地表面粗度区分( ) 建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員 〇電気方式 幹線 〇三相 3 線式 2 0 0 V 分岐 三相3線式 200V 1)制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 風圧力(耐風力) 機材の品質・性能証明 使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設 制御盤 に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 動 備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章 受雷部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 2、インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 ○風力発電装置 テレビ共同シー・ハーム ハーム ハーム ハーム ハーム ハーム ハーム アンデナマスト 1)特記なきものは、EM - IEとする。 第4節1、4、2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することが 3) インパータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示( させる させない) 電線類 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。 本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監 監視方法 警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視 力 現場代理人 ない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で インターロック FM - アクセスフロア JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエ E調機を停止させる。 E相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 デレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル( インバータ装置の 官公書等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 構内につくることが できる できない 官公署への手続き 工事用仮設物 規約効率 EM-EE)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチ 構内に ることが できる できない 別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。 インパータ効率(%)8 6 . 0 8 8 . 5 9 2 . 0 9 3 . 0 9 4 . 9 4 . レン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE を示す。 JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格に 設置しない 設置する (本工事 別途) 下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 監督職員事務所 FM.MFFS インパータ効率(%)95.0 95.595.595.595.595 監督職員事務所に よるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの 備者) 1) 雷動機の供給雷圧は100V▽は200Vとする。 備え付ける図書 ·公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備丁事標準図(雷気設備丁事編) 2 ) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。 配線 機器即付 3)長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線(樹脂被覆鉄線等)を挿入する。 電 線 管 PF管 ただし、露出部分は銅製電線管とする。 ・電気設備工事施工チェックシート 工事範囲 雷線管 建築設備耐電設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 雷 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは( 鋼製電線管 PF管) ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 建設副産物の処理及び 建設副産物の処理 鋼製 突針支持管 ステンレス製 受雷部システム 建設発生土の処理 右記のほか、 ねじなし電線管 護 現場説明書による。 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管 特別管理産業廃棄物 PCB使用機器 SF6ガス使用機器 構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 垂直接地極 は、厚鋼雷線管とする。 接地システム A型接地極 ( 板状接地極 放射状接地極) 静 2)スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び(PF22)又は(E25) B型接地極( 環状接地極 網状接地極 相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるの 右記のほか. 備 構造体利用接地極(構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を 構内指示場所に敷き均し 現場説明書による。 ○設ける 設けない) 配線 機器取付 三相3線式 6 k V 三相3線式200V を原則とする。 下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 工事範囲電気方式 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 事 |屋外(屋上を除く)| 屋内居室 | 屋内PS・EPS | 屋内機械室・電気室 〇郎下 |分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員 単相3線式100V/200V 雷線本数、管路等 =和3線式 三相4線式 V/ の承諾を受けて変更することができる。 樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ポックスを使用する。 )「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 )関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理 開放形配電盤 ボックス 配電盤形式 屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 コンデンサ盤 変圧器盤 予備配管 分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を PW形 ) 報告書」により監督職員に報告する。 高圧スイッチギア( CX形 CW形 2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火費通部に(5 1)を 1 本以上立上げる。 和 室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) 床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 低圧スイッチギア( C X 形 C S 形 C W 形 F W 形 ) ) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH 絶縁材料を使用するもの、 変圧器の規格 〔グ〕 フラッシュプレート アスベスト成形板の処理等(以下のほか、現場説明書による) 雷 低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事剤の施工調査を次の事項 床配線器具等 満たすものとする。 インナー形 〇飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 )ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。 警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視 について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 監視方式 基礎 付属品等 ・アスベスト成形板使用部位の確認 警報盤による代表監視 アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 〇アルミ製とする。 設 ・アスベスト成形板使用数量の確認 施工範囲等の確認 機器 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 成形板の製造年等の確認 X線解析法 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 確認範囲 非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ 屋外・多湿室等 ( 溶融亜鉛メッキ SUS) その他 ( 一般品 SUS **処理方法** 盤内照明器具はLEDとする。 処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと 換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。(盤面警報ランプ共) 設計年月日 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事 吉村建築事務所 2025 · E - 01 1級建築士登録第248236号 吉 村 薫 電気設備工事特記仕様書 - 1

備老

項目	特 記 事 項	章	項目	特記事項
工事範囲	配管配線機器取付	\ \_E_	工事範囲	配管 配線 機器取付
直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用	設備メラ	画像	カラー 白黒
交流無停電電源装置	その他 過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。 用途 ( )	備分	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 O
(UPS)	方式 一般形 簡易形	اً ا		
工事範囲	配管配線機器取付	管射	工事範囲	配管配線機器取付
形式	オープン形 簡易形 キュービクル	管制設備	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
連続運転可能時間	1 0 時間(乙) 7 2 時間(甲)		工事範囲	配管 配線 機器取付
発電機	電気方式 三相 3 線式	防犯 管理設 設		
\	電 圧 2 1 0 V 6 . 6 k V 4 1 5 V 定格出力 k V A 以上 力率 0 . 8	設入備退	工事種類	機械警備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
原動機	種 別 ガスターピン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスターピン 燃料電池 コージェネレーション	室		工事範囲 配管 配線 機器取付
\	定格出力		自動火災報知装置	上争製曲 配昌 配線 (機能型)
\	始動方式 電気式 空気式 冷却方式 ラジエーター式 水槽循環式			受信機 形 級 回線 壁掛形 自立形
	現地負荷試験 行う 行わない			単独形 複合形
燃料	種類 重油 軽油 灯油 ガス( )   燃料小出槽 ポル			副受信機 窓 盤面に消火ポンブ運転表示灯を設ける。
F640 12	主燃料槽 烷	火		光警報装置
監視方式	警報盤による代表監視中央監視盤による監視	"	\	消火ポンプ始動 消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)
太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上	.   災	广 <b>●</b> ↓ □ □ ◇ ★ □ □	機器収容箱 消火栓一体形 単独形
	設置可能建築面積 m2以下(長辺 m×短辺 m)   系統連系 受動 能動	1	自動閉鎖装置	工事範囲         配管         配線         機器取付           運動制御器         回線         【予備電源(蓄電池)内蔵】
		報		単独 自火報受信機と一体
		]		防煙ダンパ用
	逆潮流 有 無	知		【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】
	交流出力電压 1 0 0 V 2 0 0 V	1		防火シャッター用
	出力電気方式   三相3線式 単相3線式 単相2線式	設	非常警報装置	【別途工事 DC24V 0.6A以下】   工事範囲
LI ADTA AD				電気方式 DC24V
外部移報	有無	備	ガス漏れ火災警報装置	電源装置   非常電源(蓄電池) 自動火災報知設備と兼用   工事範囲   配管 配線 機器取付
工事範囲	配管 一	]		受信機 単独形 自火報受信機と一体
施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線			ガスの種類 都市ガス(13A) 液化石油ガス
工事範囲	配管配線、機器取付		諸警報表示	
保安器用接地	本工事     別途工事	制中	工事範囲	配管 配線 機器取付
形式	電子交換機 ボタン電話装置	制中 御央 設監 備視	監視方式	警報盤 監視制御装置
工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備	res 17C	工事範囲	配管配線機器取付
工事範囲	配管 配線 機器取付 \	医	非接地電源用分電盤	キャピネット 銅製 ステンレス製
		療 関		
親時計及び付属装置	CR -P M CW -P M プログラムタイマ (カード式 +一式 )	係設	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 有線式 無線式 呼出押ポタン 防滴 防湿
		備	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。
子時計	特記なきものは SWA33-GP\B2		工事範囲 電気方式	配管   配線   機器取付
工事範囲	配管配線機器取付	]		低圧 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V
施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線	横		単2線式 ( 1 0 0 V 2 0 0 V )
工事範囲	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	"7	ふ設方式	地中線   管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)
増幅器	用途 全館放送用(一般放送 非常放送) ローカル放送用	内		埋設深さ 特記なきものは GL (舗装がある場合は、舗装下面) から300mm以上とする。
	自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	1	FT // 88 88 88	架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
スピーカ	特記なきものは SC6Hi-1V3-M		区分開閉器	高圧負荷開閉器 7 . 2 k V 3 0 0 A
工事範囲	配管 配線 機器取付	HG HG		横   耐中塩じん用   耐重塩じん用   形式   引外し装置付き(SOG形)   引外し装置なし 避雷器内蔵
				制御電源用変圧器内蔵
工事内容	音声誘導装置 検出方式 (磁気式 無線式 画像認識)	電	マンホール及び ハンドホール	構造・寸法 標準図による 図末による。 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。
	インターホン 電話式 相互式	1		ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。
	テレビインターホン 親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。		高圧ケーブル	ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
		線	<b>♦</b> E	600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に( よる Oよらない)
	呼出しがタン 壁付ボタン(ブルスイッチの長さは 0.2 m程度とする)		余長 碍子、高圧ケーブル	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。 - 般用 耐塩用 重耐塩用
	撃竹掘りボタン(握りボタンの長さは1.2 m程度とする) 通話機能	路	端末処理 避雷器	屋外形 耐塩形
	受付呼出し装置 誘導音	1	装柱材	一般用 耐塩形
工事範囲	配管 配線 機器取付		外灯	基礎 本工事 別途工事 外灯ポールの材質が銅製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メットとし、指定色塗
				装とする。
アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV		工事範囲 ふ設方式	配管
アンテナマスト	壁面取付形自立形	構		ポリエチレン被覆管(PLP)
	配管用ステンレス銅銅管 一般構造用炭素銅銅管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	内		埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)
	圧力配管用炭素綱鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	通		から300mm以上とする。
		信	73.+ 1175.78	架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール 構造・寸法 標準図による 図示による。
電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測		マンホール及び	
電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。	線	ハンドホール	蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。

章	項	目		特	記	事	項	
	調査範囲		測定のみ	対策工事実施	施設計書作成まて	<del>-</del>		
調変障害	測定時期 測定箇所 測定内容		工事前 箇所 受信可能な:	工事中 完成後 所 全チャンネルとし、糸	吉果報告書を提出	∃する。		

#### 付属品・予備品

イージーキャビネット 箱 キーボックス 工具箱(ドライパー、モンキーレンチ、組スパナー、ハンマー) 変電設備・盤 「ランブ及びヒューズの予備品は、20%とする。 テスター マンホールフック

#### ・検査一覧

完成に際しては,各種試験,検査に合格の責任を持つ。 及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。 変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの 事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。 事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督員の指示する箇所とする。) 工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 施工アンカ - の施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。 盤・ケ - ブルラック・ケ - ブルダクト等

COL
試験機器類の校正記録を提出する。
停電工事の必要な時は、当該高圧受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和4年度版)の資料5(P1119)に基づき施工する。
鉄筋コンクリ - トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
主要なプルボックス内にはクープル札を取り付ける。

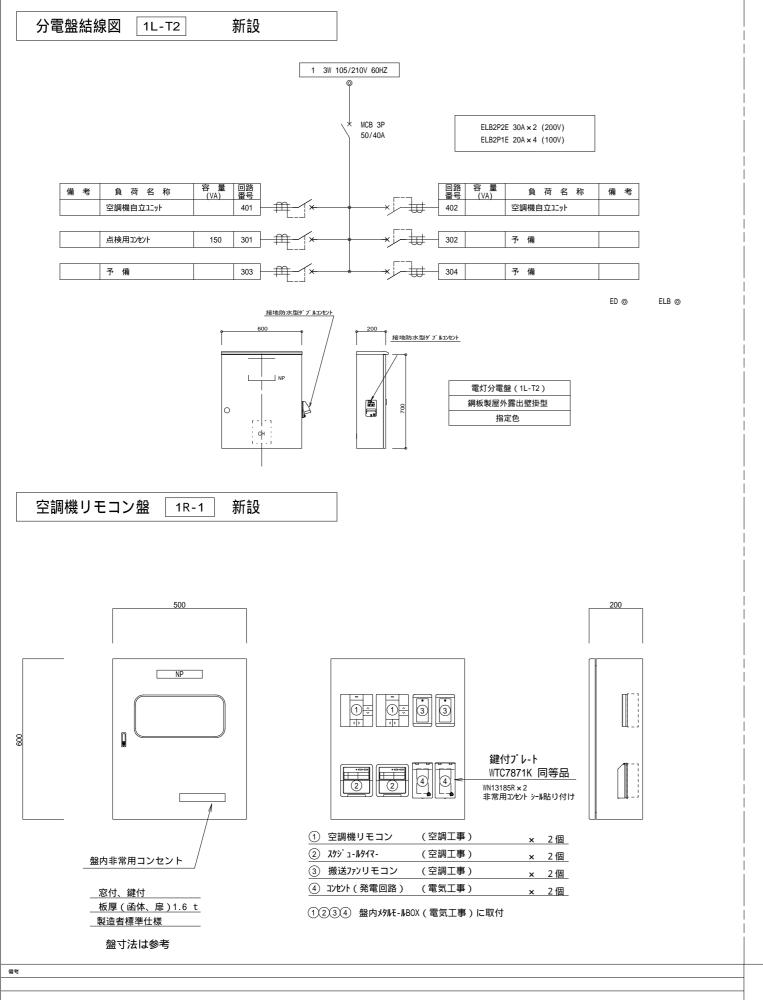
#### 取付高さ (参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

	名称	測点 取付高 (m			名称	測点	取付高(mm)
電	取引用計器	地上~上端	2,000		端子盤	床上~上端	1,900
電力共通	引込開閉器	"	1,800	電	保安器函	天井下~上端	2 0 0
通					壁付位置ボックス	床上~中心	3 0 0
	壁掛型制御盤	床上~上端	1,900	話	// (和室)	"	1 5 0
動	手元開閉器	床上~中心	1,500				
	操作スイッチ	"	1,300		壁掛スピーカー	天井下~上端	2 0 0
カ				拡声、	アッテネーター	床上~中心	1,300
					壁掛型親時計	床上~上端	1,900
	分電盤	床上~上端	1,900	時計	子時計	天井下~上端	2 0 0
	スイッチ (一般)	床上~中心	1,300				
	〃 (身障者便所)	"	900		壁掛インターホン	床上~中心	1,500
	コンセント (一般)	"	3 0 0	イン	// (身障者)	"	1,100
	// (和室)	"	1 5 0	ター	壁付位置ボックス	"	3 0 0
電	// (台上)	台上~中心	3 0 0	ホン	// (和室)	"	1 5 0
灯	// (土間)	床上~中心	1,300				
"	ブラケット (一般)	"	2,100		機器収納函	天井下~上端	200
	// (踊場)	"	2,500	テレ	直列ユニット	床上~中心	3 0 0
	// (鏡上)	鏡上端~中心	1 5 0	ビ共聴	// (和室)	"	1 5 0
L				聴			

1級建築士登録第248236号 吉村 薫

設計年月日 三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事 2025 · 1 · 電気設備工事特記仕様書 - 2

E — 02



既設分電盤 改修

盤名称		主回路		回路	A # A #	負荷容量		分	<b>支開</b>	閉器			備考	
盤形式		土凹路		回路   負荷名称		(VA)	MCB	ELB	Р	AF	AT	電圧	1佣 15	
	AC1 3W													
1L-T	100/200V			100	誘導灯	66	0		2	30	20	100		
屋内露出形	⊚		<u>-</u> -A	201	アリ - ナ電灯		0		2	50	20	200	R1	
	EM-CET 60°	ELB 3P 100/100A	<u>-</u> -A	202	アリ - ナ電灯		0		1	//	//	//	R2	
			<u>-</u> -A	203	アリ - ナ電灯		0		1	//	//	//	R3	
		=11.17 KVA	<u>-</u> -A	204	アリ - ナ電灯		0		2	//	//	//	R4	
				101	***電灯		0		2	//	//	100		
				102	控室1電灯		O		1	//	//	//		
				103	映写機		0		1	//	//	//		
				104	アリ-ナコンセント		O		2	//	//	//		
				105	便所•器具庫•玄関		O		2	//	//	//		
				106	放送室控室2電灯		0		2	//	//	//		
				107	放送室コンセント		0		1	//	//	//		
			  \\	108	ステージ電灯		0		1	//	//	//		
			<u></u>	109	外灯 1		0		1	//	//	//	R5	
				110	ステージコンセント		0		1	//	//	//	R6	
				111	ギャラリーコンセント		0		1	//	//	//		
			A	112	換気扇		0		1	//	//	//		
				113	エアー搬送ファン	1208	0		2	"	"	"	増設	品番 NLH 2PE20M
				A	1L-T2	3482	0		3	50	40	100/200	増設	
		ED ⊚												

		工事名		設計年月日	図面番号
吉 村 建 築 事 務 所			三室戸小学校体育館空調設置ほか改修工事	2025 · 1 ·	E — 03
1級建築土登録第248236号 吉村 薫		図面名	分電盤結線図	縮尺	03

